電子辞書

形名 PW-8200

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

よくあるご質問･････113ページ

安全にお使いいただくために

この取扱説明書は、安全にお使いいただくための表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり財産に損害を受ける場合があります。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号の意味 記号は、気をつける必要があることを表わしています。

⚠注　意

- 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。
  - プラス“＋”とマイナス“－”の向きを表示どおり正しく入れる。
  - 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
  - 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
  - もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐ医師の診断を受ける。
  - もれた液が体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。
  - 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
  - 充電池は使用しない。
  - 長期間使用しないときは、電池を取り外す。

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

初めてお使いになるときは

まず、乾電池を入れ、リセット（初期化）により製品の状態を一定に整えてからお使いください。

本体をリセット（初期化）する

1　本体裏面の電池ぶたスイッチを“解除”側にします。

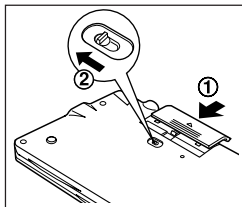
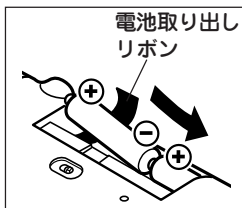
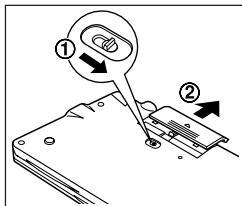
2　電池ぶたを矢印の方向に水平に引いて外します。

3　同梱されている乾電池を入れます。

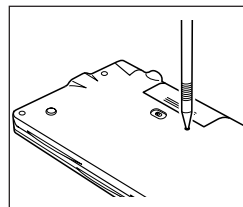
向きをまちがえないように入れてください。

●リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

4　電池ぶたをもとどおり水平に差しこんで取り付けます。

5　電池ぶたスイッチを“ロック”側にします。

6　ボールペンなどで、本体裏側のリセットスイッチを押します。

初期化の確認画面が表示されます。

●先のとがったもの、折れやすいものは使用しないでください。

7　本体を開き、(Y)（は）キーを押します。

画面に「初期化しました」と表示されます。

●もし、電源が入らないときは次の操作をしてください。

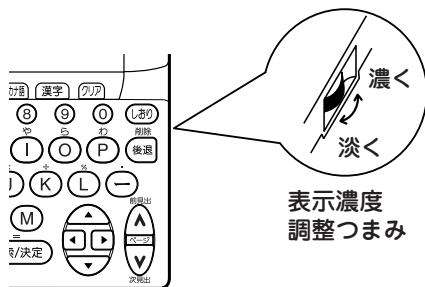
- 電池ぶたスイッチが“ロック”位置になっていることを確認して、もう一度リセットスイッチを押してください。
- それでも電源が入らないときは、手順1～7の方法で電池を入れ直してみてください。
- また、表示濃度が淡く（または濃く）なりすぎていることがありますので、次ページの方法で調整してみてください。

8　(検索/決定)（＝）キーを押します。

メインメニュー画面（機能選択画面：☞6ページ）が表示されます。

表示濃度を調整する

本体の右側にある表示濃度調整つまみを回して、表示が見やすくなるように調整してください。

本体裏側に記載のとおり、上方向に回せば濃くなり、下方向に回せば淡くなります。

この製品に収録されている内容は、

『広辞苑　第五版』岩波書店
（Copyright Ⓒ Iwanami Shoten, Publishers, 1998-2001)、
『逆引き広辞苑　第五版対応』岩波書店
（Copyright Ⓒ Iwanami Shoten, Publishers, 1998-2001)、
『ジーニアス英和辞典 第３版』大修館書店
（Copyright Ⓒ KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2002)、
『ジーニアス和英辞典』大修館書店
（Copyright Ⓒ T.Konishi & Taishukan, 1998)、
『パーソナルカタカナ語辞典』学研
（Copyright Ⓒ Gakken, 1999)、
『故事ことわざ辞典』学研
（Copyright Ⓒ Gakken, 1988)、
『四字熟語辞典』学研
（Copyright Ⓒ Gakken, 1994)、
『漢字辞典』学研
（Copyright Ⓒ Gakken, 1986-1997)、

にもとづき、編集しています。

『広辞苑』は岩波書店の登録商標です。

電源を入れる／切る

電源は、下記のキーで入れることができますが、それぞれのキーで電源を入れたときの画面が下記のようになります。

なお、電源を切るときは 入/切 を押します。

電源を入れるキー	電源が入ったときの画面
入/切	先に 入/切 で電源を切っていた場合などでは、先に使用していた機能の最初の画面(入力画面など)になります。 オートパワーオフ機能(次ページ参照)で電源が切れていた場合は、電源が切れたときの画面になります。 オープニング画面やデモを表示するように設定されている(☞11ページ)場合はそれぞれの画面が表示されます。
メニュー	メインメニュー画面(機能選択画面：☞6ページ)になります。
広辞苑 英和 和英 カタカナ語 漢字	それぞれの機能の入力画面になります。 (ダイレクトオン機能)

オートパワーオフ機能

この製品は、電池の消耗を防ぐため、一定の時間キー操作が行われないと自動的に電源が切れます。

この時間は、最初5分間に設定されていますが、10ページの方法で変更することができます。

なお、オートパワーオフ機能で切れた電源を 入/切 キーで入れたときは、電源が切れたときの画面に戻るレジューム機能が働きます。

本書でのキーの記載方法について

- 各キーは、基本的に枠(　)で囲んで表します。ただし電卓機能の計算例の数字は枠で囲まずに記載します。
- 多くのキーには2種類以上の働きがあります。入力状態や使用している機能によって、選択できる文字や機能が異なります。本書では、そのとき使用する機能のみを記載しています。

  例1：W(か) は、状況に応じて W または か と記載します。

  例2：検索/決定(=) は、状況に応じて 検索/決定 または = と記載します。
- 機能 キーと同じ色(緑)で書かれた機能は 機能 を押してから("機能"シンボルを表示：☞6ページ)、それぞれのキーを押します。

  例1：機能 削除 や 機能 ? のように記載します。

もくじ

各部のなまえとはたらき

表示シンボルについて

画面右側に表示される表示シンボルは、製品の状態や、働いている機能などを示します。

シンボル	意　　味
(電池)	電池が消耗したことを示しています。速やかに新しい電池と交換してください。
機能	(機能) が押されたことを示し、(機能) と同じ色(緑)で書かれた機能を選択できます。(状況により選択できない機能があります。)
♪	表示しているときキーを押すと「ピッ」というキータッチ音(入力確認音)が鳴ります。(キータッチ音を入れる／切る ☞9ページ)
⬆ ⬇	矢印の方向に、まだ表示されていないデータがあります。 (▼)、(▲)　　1行ずつ画面を送ります。 (∨)、(∧)　　1画面ずつ画面を送ります。

● この取扱説明書の画面例では、その説明に必要がないシンボルは記載を省略しています。

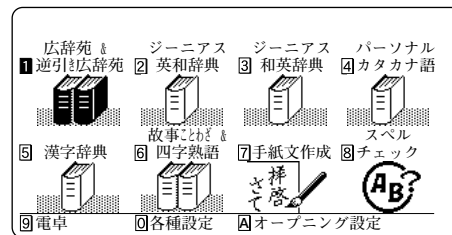
注：表示濃度が濃すぎると、表示されていないシンボルが表示されているように見えることがあります。その場合は、表示濃度を少し淡くしてご使用ください。(表示濃度を調整する ☞2ページ)

基本的な画面での操作のしかた

ここでは、各機能を使用するために必要な、基本的な画面送りや、項目などの選択の方法を説明します。

メインメニュー画面での項目の選択

(メニュー) を押してください。

メインメニュー画面(機能選択画面)が表示されます。

メインメニュー画面(機能選択画面)

各項目(機能)を選択する方法

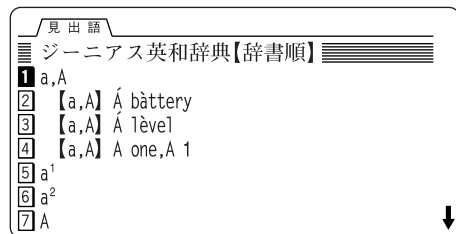
(1) 各項目の左側の数字・文字(1 ～ 0、A)に対応するキー((1) ～ (0)、 (A))を押すと、それぞれの機能の画面が表示されます。

(2) または、(▶)、(◀)、(▼)、(▲) でカーソル(項目左側の数字・文字の反転表示)を目的の項目へ移動させて選びます。その後、(検索/決定) を押すと選んだ機能の画面が表示されます。

● 本書では、説明をわかりやすくするため、(1)の、キーで選択する方法で説明します。

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

（メニュー）（2）と押し、（検索/決定）を押してください。

リスト(一覧表示)画面になり、英語の見出し語が表示されます。

見出し語**リスト画面**

各項目(各語)を選択する方法

前ページの(1)、(2)と同様の操作で選択、決定します。ただし、上記画面では（▶）、（◀）は働きません。

画面を送って別の内容を見る方法

画面の右側に"⬇"や"⬆"シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

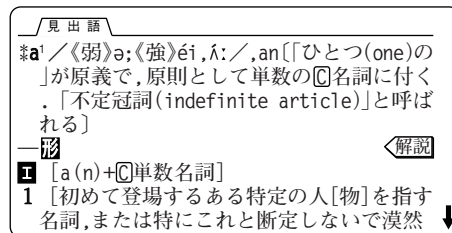
(1) （▼）、（▲）でカーソル(数字の反転表示)を移動させていくと、最下行(最上行)以降は画面が送られます。

(2) （∨）、（∧）で1画面分ずつ画面が送られます。

- （▼）、（▲）や（∨）、（∧）を押したままにすると、連続して画面が送られます。
- 自動的に1行ずつ送らせることもできます。(☞次ページ)

詳細画面などでの画面送り

左の見出し語リスト画面で（5）を押してください。

「a1」(見出し語)の詳細画面に訳語が表示されます。

詳細画面(1件表示画面)

画面を送って隠れている内容を見る

画面の右側に"⬇"や"⬆"シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容がありますので（▼）、（▲）または（∨）、（∧）で画面を送って内容を見ます。

- 自動的に1行ずつ送らせることもできます。(☞次ページ)

次(前)の見出し語の内容を見る

（機能）（∨）、(（機能）（∧）)と押すと並び順で次(前)の見出し語(広辞苑機能は複合語を含む)が表示されます。

その他の操作

（戻る）‥‥ 1つ前の画面に戻ります。

（クリア）‥‥ 各辞書の入力画面に戻ります。

（リスト）‥‥ 表示していた見出し語などから始まるリスト(一覧)表示画面になります。

AS(オートスクロール)機能での自動画面送り

画面の右側に“⬇”や“⬆”シンボルが表示されたときは ▼ 、 ▲ または ∨ 、 ∧ で画面を送って内容を見ることができますが、AS(オートスクロール)機能を使うと、自動的に画面を送ることができます。

右側に“⬇”や“⬆”シンボルが表示されている画面で、 ≡▼ または AS を押すと順方向に1行分ずつ画面(カーソル)が送られていきます。
順方向に送られているとき、 ≡▼ を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。

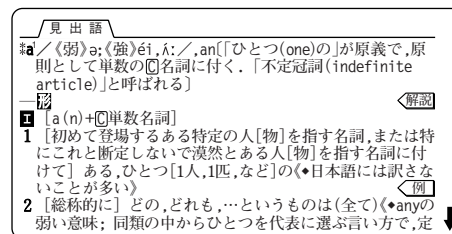
目的の語や内容が表示されたときは AS を押して、自動送りを止めます。

逆方向に送るときは ≡▲ を押します。
逆方向に送られているとき、 ≡▲ を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。

なお、送られている方向と逆のキーを押せば、送り方向を変更することができます。

画面の文字サイズを切り替えて見る

漢字辞書以外の詳細(1件表示)画面で 文字サイズ を押すと表示される文字の大きさが切り替わります。
例えば、前ページの詳細画面(英和辞書の画面)で 文字サイズ を押すと表示文字が小さくなり、1画面に多くの内容が表示できます。もう一度押せば戻ります。

見出語
*a¹／《弱》ə;《強》éi,ʌ́ː／,an〔「ひとつ(one)の」が原義で,原則として単数のⒸ名詞に付く.「不定冠詞(indefinite article)」と呼ばれる〕
―形 解説
エ［a(n)+Ⓒ単数名詞］
1 ［初めて登場するある特定の人[物]を指す名詞,または特にこれと断定しないで漠然とある人[物]を指す名詞に付けて］ある,ひとつ[1人,1匹,など]の《◆日本語には訳さないことが多い》 例
2 ［総称的に］どの,どれも,…というものは(全て)《◆anyの弱い意味; 同類の中からひとつを代表に選ぶ言い方で,定 ⬇

12ドット文字での表示例

各機能で、表示される文字サイズと切り替えられる画面は次のようになります。文字サイズは、次に切り替えるまで保持されます。なお、基本の文字サイズは16ドット文字です。

機　　能	切り替え可能画面 切り替え文字サイズ
広辞苑・成句検索・逆引き広辞苑機能 故事ことわざ・四字熟語辞書機能 手紙作成機能	詳細(1件表示)画面※ **16 ⟷ 24ドット文字**
英和辞書・英和成句検索機能 和英辞書機能 カタカナ語辞書機能	詳細(1件表示)画面※ **16 ⟷ 12ドット文字**
	リスト画面※ **16 ⟷ 12ドット文字**

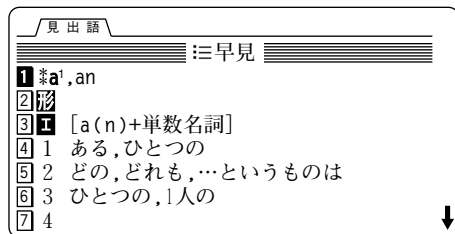
※ それぞれ文字サイズを保持します。

画面を箇条書きで見る（早見機能を使う）

早見機能を使えば、辞書の詳細画面の例文や補足説明などを省略して、意味などを箇条書きで表示させることができます。
意味などの概略だけを素早く見たいときなどに、便利な機能です。

【例題】7ページの詳細画面を早見表示させてみましょう。

1　7ページの詳細画面で 早見 を押します。

早見画面が表示されます。

2　見たい語（意味）を表示させて数字キーで選ぶと、その語（意味）を先頭に表示した詳細画面になります。

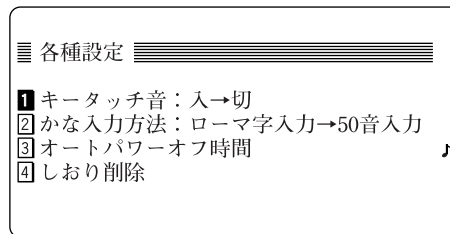
- 詳細画面および早見画面で 早見 を押すと、画面が交互に切り替わります。

早見機能が使えるのは

早見機能は、広辞苑、逆引き広辞苑、英和、和英、故事ことわざ、四字熟語の各機能の詳細画面で使用することができます。

各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

メニュー を押してメインメニュー画面を表示させ、0 を押してください。各種設定のリスト画面が表示されます。

各種設定のリスト画面

各項目を 1 ～ 4 キーで選んで設定や切り替えなどを行います。

キータッチ音を入れる／切る

キーを押したとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を切り替えます。

1　上記画面で 1 を押します。

キータッチ音が「入」から「切」へ、または「切」から「入」へ切り替わって、メインメニュー画面に戻ります。

キータッチ音が「切」になると、画面の“♪”シンボルが消えます。

かな入力方法の切り替え

ひらがなの入力方法をローマ字かな入力方式から50音かな入力方式に(またはその逆に)切り替えることができます。

1　各種設定のリスト画面で (2) を押します。

入力方法が切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「ローマ字かな入力方式」になっています。)

オートパワーオフ時間の設定

電池の消耗を防ぐため、キー操作が行われなかったときに自動的に電源を切る時間を設定します。(初期状態では「5分」に設定されています。)

1　各種設定のリスト画面で (3) を押します。

オートパワーオフ時間設定画面になります。

【オートパワーオフ時間】
キー操作をしなかったときは、自動的に電源が切れます
□ 3分後　□10分後
☑ 5分後　□20分後
●[▲][▼][◀][▶]キーで選んで[検索/決定]を押します

2　(▲)、(▼)、(◀)、(▶) で"✔"を移動させて時間を選び、(検索/決定) を押します。

時間が設定され、メインメニュー画面に戻ります。

しおりを削除する

記憶されているしおりの内容(辞書を引いたときの語など)を削除することができます。(☞42ページ)

電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する

（入/切）を押して電源を入れたときに一定時間表示される画面（オープニング画面）を設定することができます。
（初期の状態では、「表示なし」に設定されています。）

ことわざ･四字熟語：ことわざや四字熟語を表示します。※
表示なし：オープニング画面を表示しません。
デモ（商品紹介）：商品の紹介をデモ形式で表示します。

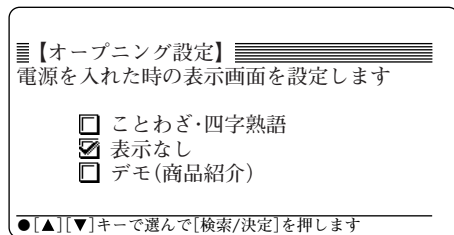
※「ことわざ・四字熟語」に設定した場合、電源を入れるたびに違ったことわざまたは四字熟語が表示されます。

1 （メニュー）（A）と押します。

オープニング設定画面になります。

【オープニング設定】
電源を入れた時の表示画面を設定します

☐ ことわざ･四字熟語
☑ 表示なし
☐ デモ（商品紹介）

●[▲][▼]キーで選んで[検索/決定]を押します

2 （▲）、（▼）で“✔”を移動させてオープニング画面を選び、（検索/決定）を押します。

「デモ（商品紹介）」を選んだ場合は、デモの開始確認画面が表示されます。その画面で（Y）を押すとデモが始まります。 また、（N）を押すとメインメニュー画面になり、次回（入/切）で電源を入れるとデモの開始確認画面が表示されるようになります。
「ことわざ･四字熟語」または「表示なし」を選んだ場合は、メインメニュー画面が表示されます。

オープニング画面を停止して辞書を使いたいときは

オープニング画面表示中に辞書キーや（クリア）キーなど、いずれかのキーを押します。

オープニング画面を表示しないようにするには

手順2で「表示なし」を選んで（検索/決定）を押します。

文字を入力する

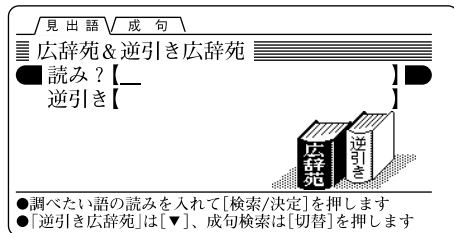
ここでは、基本的な文字の入力のしかたを説明します。

文字の入力と修正方法について

文字の入力方法

次の例題にしたがって、文字の入力のしかたを理解しましょう。入れまちがえたときは14ページを参照して直してください。

【例題】「ばんじゃく」と入れましょう。

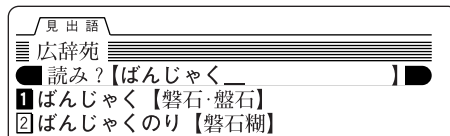
1 **メニュー 1 と押して広辞苑＆逆引き広辞苑機能にします。**（広辞苑 を押しても同じ）

2 **「ばんじゃく」と入れます。**

ローマ字かな入力：

B A N（N）Z Y A K U

50音かな入力：

は ゛ わ わ わ わ わ さ さ ゛
や や や や か か か ▶

- ゛ は C キーです。また、゜ は V キーです。

- 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、▶ を押して文字を確定させます。
- 新しい言葉を引くときは、クリア を押して前に入れた文字をすべて消去します。

ローマ字かな入力／50音かな入力の切り替え方法

メニュー 0 2 と押して切り替えます。（☞10ページ）
最初はローマ字かな入力方式になっています。

ローマ字かな入力方式での入力について

ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法については、「ローマ字→かな変換表」（☞109ページ）を参照してください。

50音かな入力方式での入力について

50音によるひらがなの入力は次の操作で行います。
例えば、(あ) を1回押すと“あ”が表示されます。続けて (あ) を押すと　あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ････　と表示が変わります。
入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、(▶) を押すと入力文字が確定されます。

1. 濁音は清音の後に (゛) を、半濁音は清音の後に (゜) を押して入れます。

   ざっぴ → (さ)(゛)(た)(た)(た)(た)(た)(た)
   （(さ)(゛)＝ざ、(た)×6＝っ）

   (は)(は)(゜)((▶))
   （(は)(は)(゜)＝ぴ）

2. 同じ行(あ行など)の文字を続けて入れるときは、(▶) で文字を確定させます。

   あいあい → (あ)(▶)(あ)(あ)(▶)(あ)(▶)(あ)(あ)(▶)
   （(▶)：文字を確定させる）

3. 拗(よう)音、促(そく)音は、それぞれの文字が含まれる行の後ろに収録されています。また、ゐ、ゑ および ん は、わ行に収録されています。

   (あ)････：あ → い → う → え → お → ぁ → ぃ → ぅ → ぇ → ぉ → あ･･･
   (た)････：た → ち → つ → て → と → っ → た･･･
   (や)････：や → ゆ → よ → ゃ → ゅ → ょ → や･･･
   (わ)････：わ → ゐ → ゑ → を → ん → ゎ → わ･･･

4. 長音符は、(ー) を押して入れます。

   （例） あーち → (あ)(ー)(た)(た)((▶))

スペルや読みの入力方法について

英和辞書などではアルファベットの大文字は入力できません(注)。小文字のスペルで入力すれば、大文字の英単語も検索することができます(☞21ページ「スペル入力時の参考」)。
また、広辞苑などでは読みにカタカナを入力することはできません(注)。ひらがなで入力して検索します(☞16ページ「読み入力時の参考」)。

(注)：パーソナルカタカナ語辞書で読みを入れる場合はカタカナのみ、アルファベット略語集でスペルを入れる場合は英大文字のみを入力することができます。

スペースやアポストロフィー(’)、ハイフン(ー)は入る？

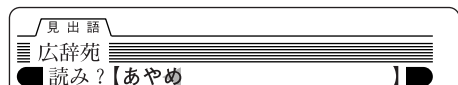
スペースやアポストロフィー(’)、ハイフン(ー)は入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

入力した文字を修正する

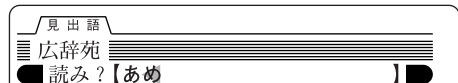
余分な文字を削除する

【例題】「あやめ」を「あめ」に直してみましょう。

1 (◀) **を押すなどして、"あやめ"の"め"にカーソルを移します。**

見出語
広辞苑
読み？【あやめ 】

2 (後退) **を押します。**

"や"が削除されます(カーソルの前の文字が削除されます)。

見出語
広辞苑
読み？【あめ 】

カーソル位置の文字を削除する

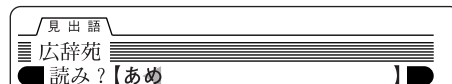
カーソル位置の文字は (機能)(削除) と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

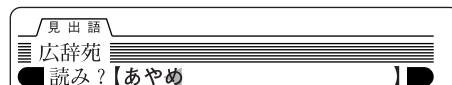
(クリア) を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

【例題】「あめ」を「あやめ」に直してみましょう。

1 (◀) **を押すなどして、"あめ"の"め"にカーソルを移します。**

- カーソルのある文字の前に新たな文字を追加できます。

2 **"や"を入力します。**

"や"が追加されます。

- 50音かな入力では文字が確定するまでカーソル (◀または_) が表示されません。(▶) で確定させてください。

広辞苑機能・逆引き広辞苑機能を使う

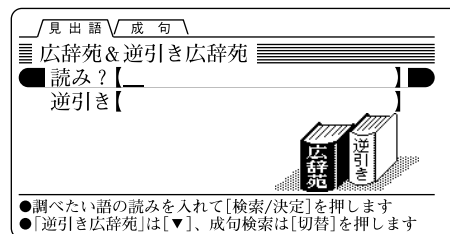
日本語の読みから、広辞苑に収録されている単語などを検索し、その意味（語義）や成句（慣用句）などを調べることができます。一部不明な語もワイルドカード、ブランクワードを使って探すことができます。（広辞苑機能）
また、読みの後ろの文字から目的の語を探すこともできます。（逆引き広辞苑機能）

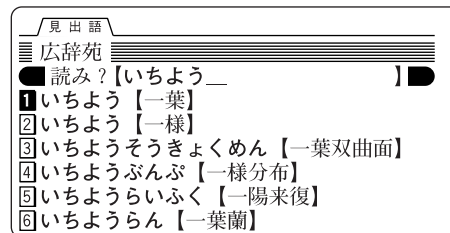
広辞苑機能を使う

読みを入力して検索する（絞り込み検索）

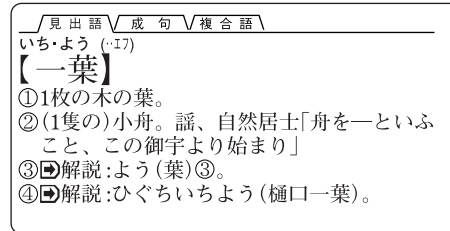
探したい語の読みを入れて、その語の意味などを調べます。

【例題】「一葉（いちよう）」を調べましょう。

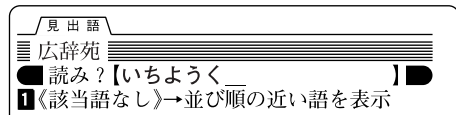
1 メニュー 1 と押して広辞苑＆逆引き広辞苑機能にします。（広辞苑 を押しても同じ）

2 読み「いちよう」を入れます。

1字入れるごとに、候補の語が絞り込まれていきます。

入力は13文字以内

3 目的の語を数字キー（ここでは 1）で選びます。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

- 画面上側に 成 句 や 複合語 が表示されているときは 切替 で成句(慣用句)や複合語を見ることができます(☞17ページ)。
- "➡"マークが示す語は、ジャンプして意味などを見ることができます(☞39ページ)。
- 戻る を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- リスト を押すと、辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのまま読みを入力するか、クリア を押して入力画面にします。
- 説明の中に"➡表、図"と記載されているときは、関連した表または図が本書に掲載されています(☞61ページ)。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2で読みを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

このとき、1 または 検索/決定 を押すと、50音順(辞書順)で、入力した読みよりも後の語がリスト表示されます。
戻る を押したときは、読みの入力画面に戻ります。

読み入力時の参考

1. 外来語などのカタカナも、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
   (例) アパート → 「あぱーと」と入れる。または
   「あぱあと」と入れる。

読みの一部を省略して検索する("？"や"～"を使う)

読みの一部を"？"(ワイルドカード)または"～"(ブランクワード)に置き換えて検索することで、はっきりしない語を探したり、見出し語を絞り込んで探したりできます。

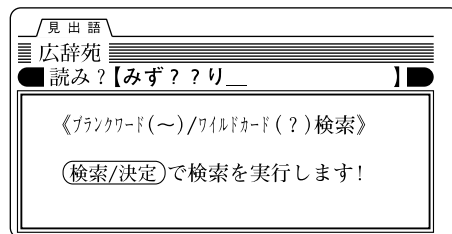
ワイルドカード： "？"は、文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します(最大12個)。
(例) 「う？？？ざくら」

ブランクワード： "～"は、文字数がわからないとき、複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
(例) 「う～ざくら」

- "？"は先頭には使えません。
- "～"は最後には使えません。
- "？"と"～"を同時に使うことはできません。
- "？"は 機能 ？ (X)、"～"は 機能 ～ (Z)と押して入れます。

【例題】「みず？？り」と入れて検索してみましょう。

1 **クリア を押して、入力画面に戻ります。**

2 **読み「みず？？り」を入れます。**

3 検索/決定 を押して検索します。

- 「候補数が多すぎます　入れ直してください」と表示されるときは、"？"や"～"で隠れている文字を減らしてから、再度検索してください。

4 目的の語を数字キーで選択します。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

- 戻る を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- リスト を押すと、50音順のリスト表示になります。

検索した語の成句（慣用句）や複合語を見る

検索した語の詳細画面で、上側に 成　句 や 複合語 が表示されているときは、その語に関連した成句（慣用句）や複合語が収録されています。このときは、切替 で画面を切り替えて見ることができます。

【例題】「一葉（いちよう）」の成句や複合語を見ましょう。

1 「一葉」の詳細画面を表示させます（☞15ページ）。

2 切替 を押します。

成句のリスト（一覧）が表示されます。

見出語 / 成　句 / 複合語
いちよう【一葉】
1 一葉落ちて天下の秋を知る

3 目的の成句を数字キーで選びます。

成句の意味・説明（詳細画面）が表示されます。

見出語 / 成　句 / 複合語
一葉落ちて天下の秋を知る
［淮南子（説山訓）「見一葉落、而知歳之将暮」］梧桐は早く落葉するが、それを見て秋の来たことが分るように、前兆によって後に来るものを予知することができる。

- 成句のリスト表示に戻るときは 戻る を押します。

4 もう一度 切替 を押します。

複合語リストが表示されます。

- 手順3と同様の操作で複合語の意味・説明を見ます。
- もう一度 切替 を押すと見出し語（「一葉」）の画面に戻ります。
- 複合語は、読みを入力して直接検索することもできます。

広辞苑成句検索機能を使う

広辞苑に収録されている成句(慣用句)を読みまたはキーワードから探すことができます。

読み検索： 成句の読みの先頭2文字から検索

キーワード検索： 成句の読みに含まれる語(10文字以内)を3種類まで指定して検索

【例題1】 読み「なま」で成句を調べましょう。

1 (メニュー) (1) と押し、(切替) を押して成句検索の入力画面にします。

2 読み「なま」を入れます。

3 (検索/決定) を押します。

「なま」から始まる成句(慣用句)を50音順にリスト(一覧)表示します。

- 清音、濁音、半濁音の区別、大きい文字、小さい文字の区別はしないで検索します。
- 該当する見出し語がないときは、50音順で次の語が表示されます。

4 目的の成句を数字キーで選びます。

成句(慣用句)の詳細画面が表示されます。

- (戻る) を押すと、リスト表示に戻ります。

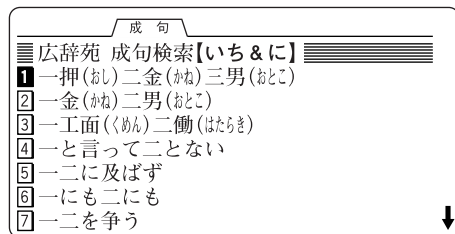
【例題2】 キーワード「いち」と「に」で成句を調べましょう。

1 (クリア) を押して成句検索の入力画面にします。

2 (▼) を押して、キーワードの入力欄へカーソルを移します。

3 「いち」を入れ、(▼) で次の欄へカーソルを移して「に」を入れます。

4　(検索/決定) を押します。

キーワードを含む成句(慣用句)をリスト(一覧)表示します。

5　目的の成句を数字キーで選びます。

成句(慣用句)の詳細画面が表示されます。

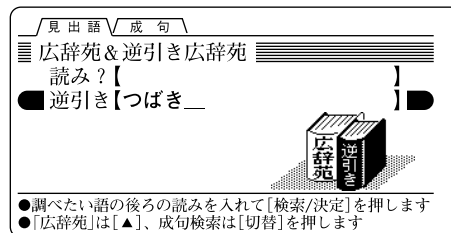
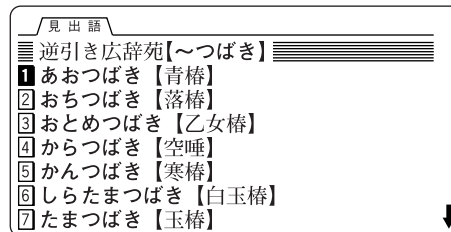
- (戻る) を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- (リスト) を押すと、50音順のリスト表示になります。

逆引き広辞苑機能を使う

単語などの読みの後ろからの文字が一致する語を探し出します(抽出します)。

【例題1】 後ろに「つばき」がつく語を調べましょう。

1　(メニュー) (1) と押したあと、(▼) を押して逆引きの入力欄へカーソルを移します。

2　「つばき」を入れます。

3　(検索/決定) を押して検索します。

4　目的の語を数字キーで選びます。

詳細画面が表示されます。

- 戻る または リスト を押すと、抽出した語のリスト表示に戻ります。
- 詳細画面で 機能 ∨ （機能 ∧ ）と押したときは、抽出した語の中で、次（前）の並びの語が表示されます。

“？”や“～”は使える？

逆引き広辞苑では、ワイルドカード“？”やブランクワード“～”を使用することはできません。

<逆引き広辞苑　第五版対応について>

- 書籍版『逆引き広辞苑　第五版対応』（岩波書店辞典編集部編）収録の「囲み記事」は、この製品には収録されていません。
- この製品は、書籍版『広辞苑　第五版』の全項目について「逆引き（後方一致検索）」が行えます。
- 逆引き広辞苑機能で表示される見出し語の配列は、書籍版とは異なります。

英和辞書機能・英和成句検索機能・スペルチェック機能を使う

単語のスペルを入力して、その単語の意味を調べることができます。また、スペルがはっきりしないときでも検索できます。
成句（熟語）を直接検索したり、スペルをチェックすることもできます。

単語を検索する

英単語のスペルから検索する（絞り込み検索）

単語のスペルを入れて、その単語の訳語などを調べます。

【例題】「clean」を調べましょう。

1　メニュー 2 と押して英和辞書機能にします。

（英和 を押しても同じ）
スペル入力画面になります。

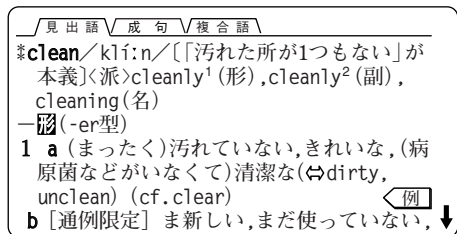
2　「clean」と入力します。

１文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

入力は20文字以内

3　目的の語を数字キー(ここでは 1)で選びます。

見出し語(clean)の詳細画面が表示されます。

見出語 / 成句 / 複合語
‡clean／klíːn／〔「汚れた所が1つもない」が本義〕〈派〉cleanly¹(形),cleanly²(副),cleaning(名)
—形(-er型)
1 a (まったく)汚れていない,きれいな,(病原菌などがいなくて)清潔な(⇔dirty,unclean) (cf.clear)　例
b [通例限定] ま新しい,まだ使っていない,

- 戻る を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- リスト を押すと、辞書順のリスト表示になります。
- 別の語を調べるときは、そのままスペルを入力するか、クリア を押して入力画面にします。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2でスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

このときは、 数字キーで実行したい項目を選びます。

並び順の近い語を表示： アルファベット順で、入力したスペルよりも後の単語がリスト表示されます。

スペルチェックへ： スペルチェック機能（☞25ページ）へジャンプし、スペルチェックが行われます。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、ハイフン「－」、アポストロフィ「 ’ 」がある場合、これらは省いて入力し、検索します。

（例） fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let’s → lets で検索する

2. 見出し語が大文字の場合、小文字にして検索します。

（例） Ac, AC → ac で検索する
USA → usa で検索する

3. 数字は英語のスペルで検索します。

（例） 18 → eighteen で検索する

スペルの一部を省略して検索する（“？”や“～”を使う）

スペルの一部を“？”（ワイルドカード）または“～”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない単語も探すことができます。

ワイルドカード： “？”は、文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します（最大19個）。
（例）「se????y」

ブランクワード： “～”は、文字数もわからないとき、複数の文字の代わりに１個だけ入力します。
（例）「se～y」、「～men」

- “？”は先頭には使えません。
- “～”は最後には使えません。
- “？”と“～”を同時に使うことはできません。
- “？”は（機能）（？）（（X））、“～”は（機能）（～）（（Z））と押して入れます。

【例題】「so???r」と入れて検索してみましょう。

1 （クリア）を押して、入力画面に戻ります。

2 「so???r」を入れます。

3 （検索/決定）を押して検索します。

見出し語の候補をリスト表示（一覧表示）します。

- 「候補数が多すぎます　入れ直してください」と表示されるときは、“？”や“～”で隠れている文字を減らしてから、再度検索してください。

4 目的の単語を数字キーで選択します。

詳細画面になり、訳語などが表示されます。

検索した単語をくわしく調べる

例や解説を調べる

詳細画面に〈例〉マークが表示されている場合、例(用例)を調べることができます。また、〈解説〉マークが表示されている場合、語法などの解説を調べることができます。

【例題】「as」の例(用例)や解説を見てみましょう。

1 「as」の詳細画面を表示させます。

「as」を入力し、(検索/決定) を押します。

2 (例/解説) を押します。

最初の〈例〉マークが選ばれ(反転表示になり)、**例／解説ウィンドウ**(窓)が表示されます。

- ウィンドウ内の内容で、表示されていない部分がある場合は、画面右側に“⬇”や“⬆”が表示されるので (∨)(∧) や (▼)(▲) で送って確認します。

3 次や前の例、解説を見るときは、(▶)((例/解説))や (◀) を押します。

4 終了するときは (戻る) を押します。

例／解説ウィンドウが閉じ、詳細画面に戻ります。

成句(熟語)や分離複合語を調べる

見出し語に関連した成句(熟語)や分離複合語(2語以上からなる見出し語)がある場合は、詳細画面の上部に /成 句\ や /複合語\ が表示されます。

【例題】「close」の成句や分離複合語を見てみましょう。

1 「close¹」の詳細画面を表示させます。

2 (切替) を押します。

成句リストが表示されます。

3　目的の成句を数字キー(ここでは 3)で選択します。

その成句の訳語などを見ることができます。

● 成句のリスト表示に戻るときは 戻る を押します。

4　もう一度 切替 を押します。

分離複合語の訳語画面が表示されます。

● さらに 切替 を押すと、見出し語の詳細画面に戻ります。

● 成句や分離複合語の訳語にも 解説 マークがある場合は 例/解説 で調べることができます。

◆成句は右の英和成句検索機能で、分離複合語や派生語は見出し語の検索(絞り込み検索)で直接検索することができます。

英和成句検索機能を使う

英語の成句(熟語)を調べたいときには、3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句だけを検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べましょう。

1　メニュー 2 と押して英和辞書機能にし、切替 を押します。

成句検索のスペル入力画面になります。

2　「take」と入れ、▼ を押してから「care」を入れます。

スペルを複数入れるときは ▼ ▲ で入力欄を移動します。それぞれ、16字まで入れられます。

3　検索/決定 を押します。

成句の候補のリストが表示されます。

4　目的の成句を数字キーで選択します。

その成句の訳語などが表示されます。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなど、スペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

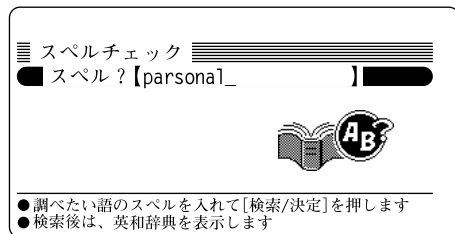
はっきりわからないスペルで検索

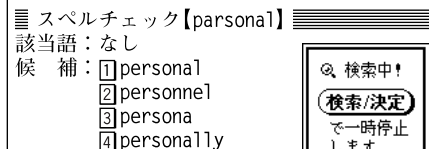
はっきりわからないスペルを入れて、チェックします。

【例題】「personal」を「parsonal」と、“e”を“a”とまちがえた場合。

1 (メニュー) (8) と押してスペルチェック機能にします。

スペル入力画面になります。

2 「parsonal」と入れます。

3 (検索/決定) を押します。

検索が開始され、入力したスペルに類似した単語のリストが表示されます。

- 検索が終了すると「スペルチェックを終了しました」と一時表示をします。

4 (1) を押します。

(目的の単語(と思われるもの)を数字キーで選択します。)

英和辞書機能に移り、選択した単語の詳細画面が表示されます。

- (戻る) を押すと前の画面に戻ります。
- (リスト) を押すと、英和辞書の辞書順のリスト表示になります。

メモ スペルチェック機能について

- 入力したスペルと同じスペルの単語がある場合は、リスト内の「該当語：」欄に表示されます。また、類似した単語がある場合は「候補：」欄に表示されます。
- 単語の候補は、該当語を含めて最大30件まで検索されます。

検索中に目的の単語を見つけたときは

- 検索中に (検索/決定) を押すと検索を一時止めることができます。このとき、表示されている候補を数字キーで選択すれば、その訳語(詳細画面)を表示させることができます。
  詳細画面で (戻る) を押せば、候補のリスト画面に戻ります。
- 候補のリスト画面(検索停止中の画面)で (リスト) を押すと、検索を再開します。
  中止するときは (クリア) を押します。

思った単語がなかなか出てこない

- 入力したスペルによっては検索に時間がかかることがあります。
- 該当語および類似した候補が1件もない場合は「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。
  スペル(入力したアルファベット)を変更して、再度検索をしてみてください。

和英辞書機能を使う

日本語の読みなどから英単語などを調べることができます。

単語を検索する

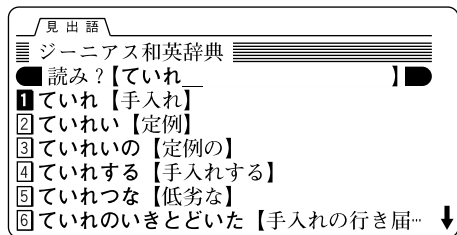
読みを入力して検索する (絞り込み検索)

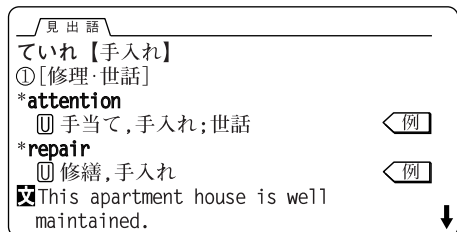
日本語の読みを入れて、その語の訳語や派生語、複合語などを調べます。

【例題】「手入れ(ていれ)」を調べましょう。

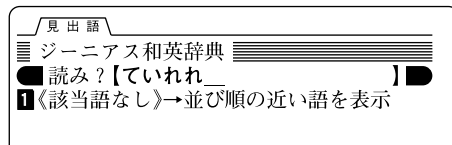
1 (メニュー) (3) と押して和英辞書機能にします。
((和英) を押しても同じ)
読みの入力画面になります。

2 「ていれ」と入力します。
1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

入力は13文字以内

3 目的の語を数字キー（ここでは 1 ）で選びます。

見出し語（手入れ）の詳細画面（訳語画面）が表示されます。

- 戻る を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- リスト を押すと、50音順のリスト表示になります。

絞り込んで、候補がなくなったときは

手順2で読みを入れていったとき、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

このとき、 1 または 検索/決定 を押すと、50音順で、入力した読みよりも後の語がリスト表示されます。
戻る を押したときは、読みの入力画面に戻ります。

読み入力時の参考

1. カタカナの言葉も、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
   （例） アパート → 「あぱーと」と入れる。または
   「あぱあと」と入れる。

読みの一部を省略して検索する（“？”や“～”を使う）

読みの一部を“？”（ワイルドカード）または“～”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない語を探したり、見出し語を絞り込んで探したりできます。
16ページや22ページと同様の操作で利用することができますので、ご参照ください。

検索した語をくわしく調べる

例や解説を調べる

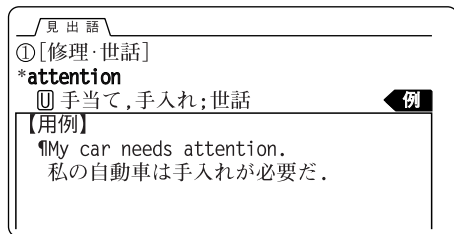
詳細画面に 例 マークが表示されている場合、例(用例)を調べることができます。また、解説 マークが表示されている場合、語法などの解説を調べることができます。

【例題】「手入れ(ていれ)」の例(用例)を見てみましょう。

1 **「手入れ」の詳細画面を表示させます(☞27ページ)。**

☞27ページ

2 **例/解説 を押します。**

最初の 例 マークが選ばれ(反転表示になり)、**例/解説ウィンドウ**(窓)が表示されます。

- ウィンドウ内の内容で、表示されていない部分がある場合は、画面右側に"⬇"や"⬆"が表示されるので ⋁ ⋀ や ▼ ▲ で送って確認します。

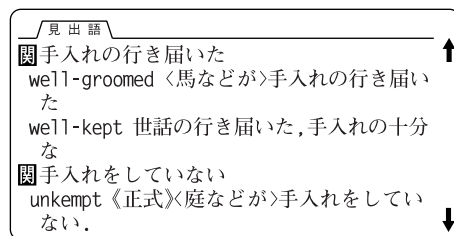
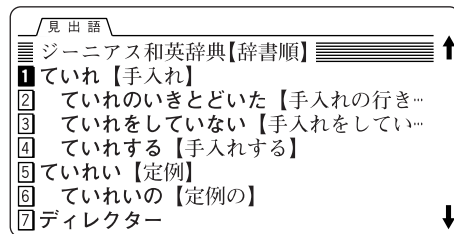
3 **次や前の例、解説を見るときは、 ▶ (例/解説)や ◀ を押します。**

4 **終了するときは 戻る を押します。**

例/解説ウィンドウが閉じ、詳細画面に戻ります。

派生語や複合語・慣用表現を調べる

見出し語に関連した派生語や複合語·慣用表現を調べることができます。

派生語や複合語·慣用表現は詳細画面で見ることができます。 複合語・慣用表現は前に 関 、派生語は前に 派 を付けて示しています。

また、 リスト を押してリスト表示させたとき、派生語や複合語・慣用表現は１字分右寄せして表示されます。

- リストに表示される派生語、複合語・慣用表現は、絞り込み検索で直接検索することができます。

パーソナルカタカナ語辞書機能を使う

外来語などのカタカナ語の意味などを調べることができます。また、アルファベット略語の意味などを調べることもできます。

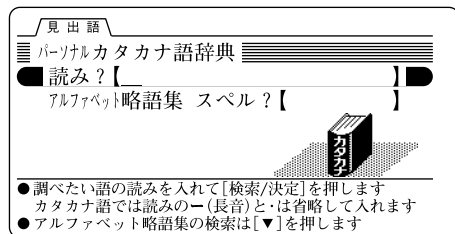
カタカナ語／略語を検索する

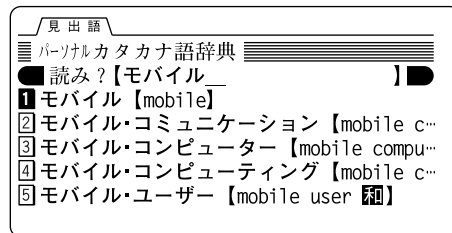
カタカナ語を検索する（絞り込み検索）

読み(カタカナ)を入れ、意味などを調べます。

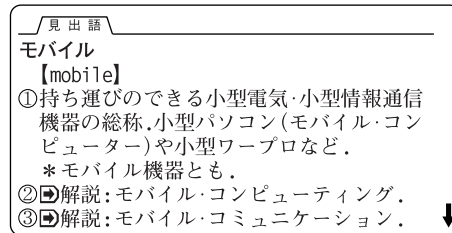
【例題】「モバイル」を調べましょう。

1 **メニュー 4 と押します。（カタカナ語 を押しても同じ）**

カタカナ語辞書機能の入力画面が表示されます。

2 **「モバイル」と入力します。**

１文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

読みの入力は13文字以内

3 **目的の語を数字キー（ここでは 1 ）で選びます。**

カタカナ語(見出し語)の詳細画面が表示されます。

- 戻る を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- リスト を押すと、辞書順のリスト表示になります。

読み入力時の参考

1. 中点「・」は省略して入れます（ア・カペラ → アカペラ）。
2. 長音符「ー」は、ないものと見なして検索を行います。

アルファベット略語を検索する（絞り込み検索）

略語のスペル(英大文字)を入れて、その略語の意味などを調べます。

【例題】「DVD」を調べましょう。

1 (メニュー) (4) と押してカタカナ語辞書機能にし、(▼) を押します。

略語集 スペル入力欄へカーソルが移ります。

2 「DVD」と入力します。

1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

スペルの入力は10文字以内

3 目的の語を数字キー(ここでは (1))で選びます。

略語(見出し語)の詳細画面が表示されます。

- (戻る) を押すと、検索した語のリスト表示に戻ります。
- (リスト) を押すと収録順のリスト表示になります。

スペル入力時の参考

1. 英字の大文字を入れることができます。見出し語が小文字のときは大文字を入力して検索します。
   数字、「ー」、「’」、「，」、「．」、「／」、スペース、かな、漢字などは省略して入れます。（例　Co.,Ltd. → COLTD）
2. 「＆」は「AND」と入力してください。（例　M&A → MANDA）

読みやスペルの入力を省略して検索する(“？”や“～”を使う)

カタカナ語および略語を検索する場合は、広辞苑機能や英和機能と同じように、“？”や“～”を使って、入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます。
くわしくは、16ページ、22ページをご覧ください。

漢字辞書機能を使う

漢字そのものが読めなくても、使われている「部品」の読みや画数などから漢字を調べることができます。また、その漢字を使った熟語についても調べることができます。

漢字を検索する

漢字の検索条件を入力する

漢字の部品読み、音訓読み、部首画数、総画数の４種類の条件のうちの１つ、またはそれぞれの組み合わせで漢字を検索することができます。

部品読みについて

例えば「辞」は「舌」「辛」あるいは「舌」「立」「十」などの部品に分けることができます。これらの部品の読みから漢字を探すことができます。

【例】「舌」　した、ぜつ、したへん
　　　「辛」　からい、つらい、しん、かのと
　　　「立」　たつ、りつ、りゅう、りっとる
　　　「十」　じゅう、とお、と
　　　（どれを入れても検索できます。）

【例題】「軽（けい）」を探してみましょう。

1　**(メニュー) (5) と押して漢字辞書機能にします。**

(（漢字）を押しても同じ)

漢字辞書機能の入力画面が表示されます。

2　**(▼)、(▲) でカーソル（および条件項目）を移動させて、条件を入力します。**

（4つの条件項目すべてに入力する必要はありません。）

● **部品読みで検索する場合**

軽の一部「つち」（土）を入れます。（複数の読み（「くるま」や「また」など）を入れるときは (▼) でカーソルを下の欄に移して入れます。）

● **音訓読みで検索する場合**

(1) (▼) を1～2回押して条件項目を移動します。

(2)「けい」と入れます。(複数の読みを入れるときは ▼ でカーソルを下の欄に移して入れます。)

部品読み
【つち 】
【 】
【 】
【 】
音訓読み
【けい_ 】
【 】
部首画数 【 】
総画数 【 】
●漢字1字の読みや画数を入れて[検索/決定]を押します

●**部首画数で検索する場合**

(1) ▼ を1〜2回押して条件項目を移動します。

(2)車の画数「7」を入れ、検索/決定 を押します。

- 7画の部首がリスト表示されます。

(3)画面を送り(ここでは ∨ を1回押す)、数字キー(ここでは 4)で「車」を選択します。

- 「車」が入力されます。

●**総画数で検索する場合**

(1) ▼ を押して条件項目を移動します。

(2)「**12**」を入れます。

3 条件を入力し終わったら 検索/決定 を押します。

条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。

- 候補が10個を超える場合は、右側に"↓"シンボルが表示されますので、∨ で画面を送って目的の漢字を探します。

4 目的の漢字を数字キー(ここでは 1)で選択します。

漢字(見出し語)の詳細画面が表示されます。

- ▶ ◀ で目的の漢字にカーソル(数字の反転)を移して 検索/決定 を押しても、その漢字の詳細画面を表示できます。

- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。
- クリア を押すと入力画面になります。

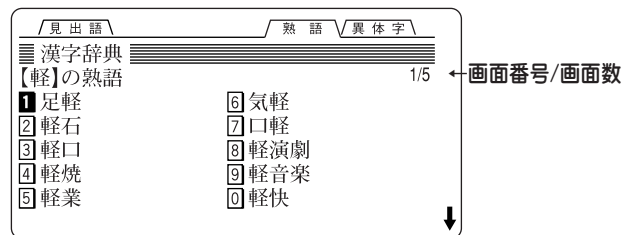
検索した漢字の熟語や異体字を調べる

画面の上部に 熟　語 や 異体字 が表示されているときは、漢字に関連した熟語や異体字を調べられます。

【例題】「軽」(ケイ)の熟語や異体字を調べましょう。

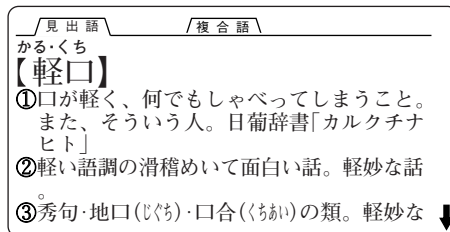
1　漢字「軽」の詳細画面を表示させます。

2　切替 を押します。

熟語のリスト(一覧)が表示されます。

3　目的の熟語を数字キー(ここでは 3)で選びます。

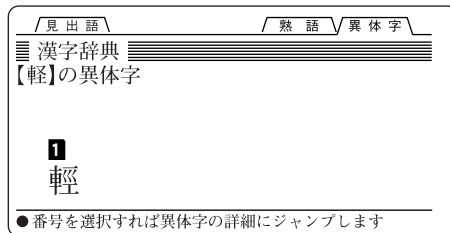
熟語の1件表示になります。

4　ジャンプ を押します。

広辞苑へジャンプします。

● ジャンプ先から戻るときは 戻る を押します。

5　戻る を押して熟語の画面に戻ります。

6　もう一度 切替 を押します。

異体字リストが表示されます。

7　目的の異体字を数字キーで選びます。

異体字の詳細画面が表示されます。

● 戻る を押すと異体字リストに戻り、続いて 切替 を押すと漢字(見出し語)の詳細画面へ戻ります。

故事ことわざ辞書機能＆四字熟語辞書機能を使う

故事ことわざや四字熟語をグループ別に探したり、読みなどから探したりして、その意味などを調べることができます。

故事ことわざ＆四字熟語辞書を使う

使用シーン／内容から探す

故事ことわざや四字熟語を使用シーンや内容によるグループから探します。

- グループからの検索では、全データを調べることはできません。また、同じ語が複数のグループに収録されている場合があります。

【例題】使用シーン／内容から探してみましょう。

1　（メニュー）（6）と押して故事ことわざ＆四字熟語辞書機能にします。

検索方法選択画面が表示されます。

検索方法選択画面

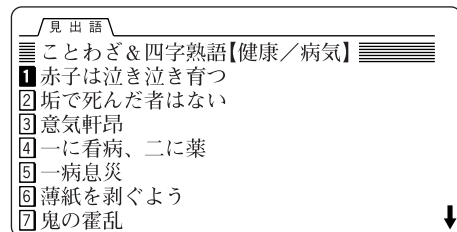
2　（1）を押して「使用シーン/内容から探す」を選びます。

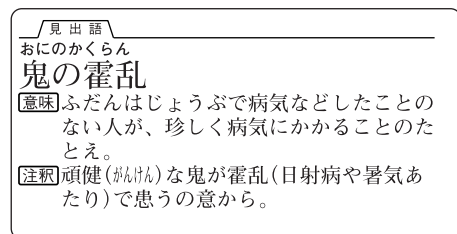
使用シーン/内容選択画面が表示されます。

3　ここでは（4）を押して「人生・生活」を選びます。

人生・生活のタイトルがリスト表示されます。

4　健康/病気に関する内容を見るときは（3）で選択します。

故事ことわざ／四字熟語がリスト(一覧)表示されます。

5　目的の語を数字キー(ここでは（7）)で選びます。

詳細画面が表示されます。

●「使用シーン/内容」別タイトル一覧：☞103ページ

読みから探す

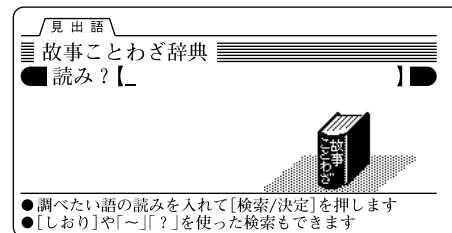
故事ことわざや、四字熟語の読みを入力して探します。

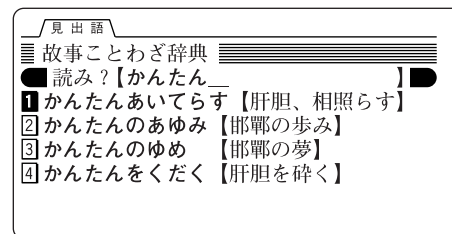
【例題】故事ことわざの「邯鄲の夢」(かんたんのゆめ)を「かんたん」から探してみましょう。

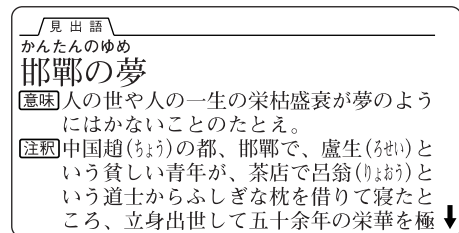
1　（クリア）を押して検索方法選択画面に戻ります。

2　（2）を押して「読みから探す」を選びます。

読み入力画面が表示されます。

- 四字熟語を調べる場合は（2）の代わりに（3）を押します。

3　「かんたん」を入れます。

1字入れるごとに、候補の語が絞り込まれていきます。

4　目的の語を数字キー（ここでは 3 ）で選びます。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

- 戻る を押すと、候補のリスト画面に戻ります。
- リスト を押すと、辞書順のリストになります。

四字熟語を漢字１字から探す

漢字１字から、その漢字が含まれる四字熟語を探します。

【例題】「華胥之夢」（かしょのゆめ）を「夢」から探してみましょう。

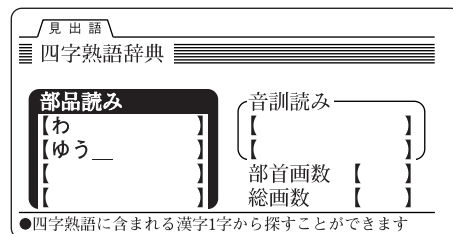
1　クリア クリア と押して検索方法選択画面に戻ります。

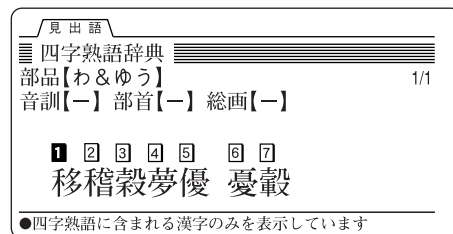
2　4 を押して「漢字１字から探す」を選びます。

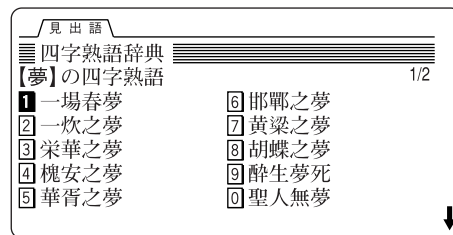
条件の入力画面が表示されます。

3　条件を入れます（ここでは部品読みに「わ」と「ゆう」を入れます）。

入力項目を変えるときは ▼ （ ▲ ）を押します。

- 漢字を探す、くわしい方法は31ページをご覧ください。

4　条件を入力し終わったら 検索/決定 を押します。

条件に合った漢字（候補）がリスト表示されます。

5　数字キーで「夢」を選択します。

「夢」を含んだ四字熟語が表示されます。

6　数字キーで「華胥之夢」を選択します。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

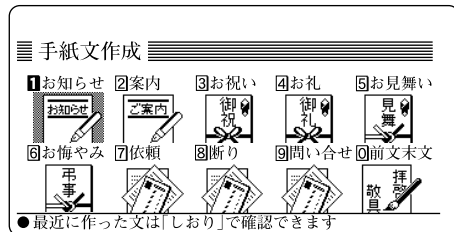
手紙文作成機能を使う

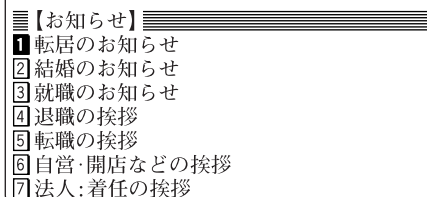
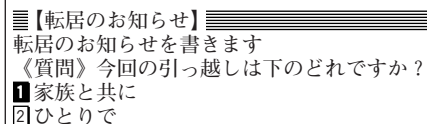
手紙文作成機能を使えば、質問に答えていくだけで手紙の文例を作成することができます。
実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

手紙文を作成する

文例を作る

【例題】転居を知らせるはがきの文例を作ってみましょう。

1 （メニュー）（7）と押して手紙文作成機能にします。
文例の種類選択画面が表示されます。

注）
画面のイラストは文例の種類を表すイメージとして使用しています。

2 （1）を押して「お知らせ」を選びます。
タイトルの選択画面が表示されます。

3 （1）を押して「転居のお知らせ」を選びます。
質問が表示されます。

4 数字キーで答えを選びます。

5 順番に表示される質問の答えを数字キーで選んでいきます。
ただし、時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下のメッセージにしたがって、（∨）、（∧）で採用する挨拶文を表示させ、（検索/決定）を押して採用します。

最後の質問と答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

【転居のお知らせ】
拝啓　長らくご無沙汰いたしておりますが、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。
　さて、このたび私こと、転勤のため下記の住所へ転居いたしましたのでお知らせ申し上げます。
　付近にお越しの節は、ぜひお立ち寄りくださいますようお待ちいたしております。

- 隠れている内容は（∨）、（∧）や（▼）、（▲）で画面を送って確認してください。
- 質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、（**戻る**）を押すと１つ前の質問に戻ります。
- 作成終了後、（**クリア**）を押すと文例の種類選択画面に戻ります。
- 文章中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文（文例）の保存は

作成した手紙文は「しおり」として、最新のものから30件まで記憶されます。
呼び出すときは、手紙文作成の画面で（**しおり**）を押し、表示されるリスト（一覧）画面で、見たい文例のタイトルを数字キーで選びます。（☞41ページのしおりの説明）

手紙文の作成を中止するときは

- 手紙文作成中に（**クリア**）を押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止を確認する画面が表示されます。このとき、（Y）を押すと手紙文の作成が中止されます。（N）を押すと、手紙文作成の画面に戻ります。
  なお、（**入/切**）を押して電源を切ったときは、その時点で作成が中止されます。

ジャンプ機能・しおり機能を使う

この製品には、詳細画面などに表示されている語の意味や訳語を調べる**ジャンプ機能**があります。また、前に調べた語を簡単に引き出して再度調べることができる**しおり機能**があります。

ジャンプ機能の使いかた

広辞苑などの詳細画面で "➡" で示される語や、和英辞書などの詳細画面に表示されている英単語を探してジャンプし、その意味などを調べることができます。

【操作例】和英辞書でジャンプをしてみましょう。

1　和英辞書を引いて詳細画面にします。

2　(ジャンプ) を押します。

ジャンプできる最初の語が反転表示されます。

見出語
さいてきの【最適の】
(➡てきした)
⁑best
Ⓢ〚good,well の最上級〛最もよい,最善の(⇔worst)　例
optimum
[限定]最適の;最善の,最高の　例

3　▼ ▲ ▶ ◀ を押して、反転表示を移して調べたい語を選びます。

見出語
さいてきの【最適の】
(➡てきした)
⁑best
Ⓢ〚good,well の最上級〛最もよい,最善の(⇔worst)　例
optimum
[限定]最適の;最善の,最高の　例

4　(検索/決定) を押してジャンプします。

ジャンプする旨表示した後、選択した語の詳細画面が表示されます。

見出語
op·ti·mum／áptəməm／《正式》名(複-·ma／-mə／,~s) Ⓒ 最適の度合[量];〔生〕(成長の)最適条件.
—形[限定] 最適の;最善の,最高の(optimal).

● (戻る) を押すと、ジャンプ元に戻ります。

ジャンプについて

- ジャンプした後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- ジャンプした先に、スペルや読みの同じ語が複数ある場合、ジャンプするとリスト表示になります。
- ジャンプした先の画面で クリア を押したときは、ジャンプを始める前に使用していた機能の入力画面などに戻ります。
- １回の検索でジャンプは最大10回までできます。11回目のジャンプはできません。

広辞苑、広辞苑成句検索、逆引き広辞苑でのジャンプ

それぞれの詳細画面で“➡”マークの後に示される語は、広辞苑へジャンプして意味などを調べることができます。

漢字辞書でのジャンプ

熟語の詳細画面(１件表示)で ジャンプ を押すと、広辞苑へジャンプして、その熟語の記述を見ることができます。

英和辞書でのジャンプ

英和辞書の詳細画面の説明内にある英単語および“➡”マークの後に示される語について、英和辞書内でジャンプして意味などを調べることができます。

- 見出し語など、一部ジャンプできないものもあります。

和英辞書でのジャンプ

和英辞書の詳細画面で、“➡”マークの後に示される語は和英辞書内でジャンプします。
説明内にある英単語については、英和辞書へジャンプして意味などを調べることができます。

- 一部ジャンプできないものもあります。

故事ことわざ辞書でのジャンプ

詳細画面で、“➡”マークの後に示される語は故事ことわざ辞書内でジャンプします。

四字熟語辞書でのジャンプ

詳細画面で、“➡”マークの後に示される語は四字熟語辞書内でジャンプします。

パーソナルカタカナ語辞書でのジャンプ

詳細画面で、“➡”マークの後に示されるカタカナ語はパーソナルカタカナ語辞書内でジャンプします。
“➡”マークの後に示される英単語はカタカナ語辞書のアルファベット略語集へジャンプします。
説明内にある英単語については、英和辞書へジャンプして意味などを調べることができます。

- 一部ジャンプできないものもあります。

しおり機能の使いかた

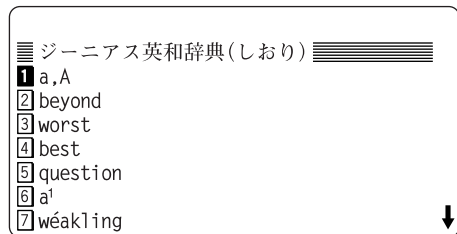
一度調べた語は、自動的に記憶されています。
しおり機能は、その語をもう一度調べたいときに簡単に引き出して調べることができる機能です。

また、手紙文作成機能で作成した手紙文もしおりとして記憶され、後で引き出して見ることができます。

【操作例】英和辞書でしおりを使ってみましょう。

1　英和辞書の画面にします。

2　(しおり) を押します。

しおり表示画面になり、英和辞書やスペルチェック機能で調べた語が、新しいものから順にリスト表示されます。

● しおりは、新しいものから30件まで記憶されます。画面の右側に“⬇”や“⬆”シンボルが表示されているときは、(∨)(∧) で画面を送ることができます。

3　目的の語を数字キーで選びます。

選択した語の詳細画面が表示されます。

しおりがある機能

- 広辞苑＆逆引き広辞苑機能
- 広辞苑成句検索機能
- 英和辞書(スペルチェック)機能
- 英和成句検索機能
- 和英辞書機能
- 漢字辞書機能
- パーソナルカタカナ語辞書機能
- 故事ことわざ＆四字熟語辞書機能
- 手紙文作成機能(しおり画面ではタイトルを表示)

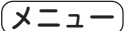
それぞれの機能の画面で、左記の手順2、3を行うことで調べることができます。なお、しおり表示画面の表示のされかたは機能により異なる場合があります。

しおり機能について

● しおり表示で、語の後ろに“…”と表示されているときは、その語が1行で表示できないため省略して表示していることを示します。

● しおりは、各機能別に30件まで記憶されます。30件を超えるときは、古いものが消されます。

しおりを削除する方法

しおりは、１件ずつ削除する方法と、機能別にすべてを削除する方法、あるいは製品内のすべてのしおりを削除する方法があります。

しおりを１件ずつ削除する方法

次の手順で削除します。

1　しおり表示画面に削除したい語を表示させます。

2　▼、▲（▶、◀）で、削除したい語の番号にカーソル（反転表示）を移します。

3　後退（または 機能 削除 ）と押します。

削除の確認画面が表示されます。

4　Y キーを押します。

選択した語が削除されます。

しおりをすべて、または機能ごとにすべて削除する方法

次の手順で削除します。

1　メニュー 0 と押して、各種設定画面にします。

2　4 を押して、「しおり削除」を選びます。

【しおり削除】

1 全部	6 漢字
2 広辞苑（逆引き）	7 広辞苑成句
3 英和	8 英和成句
4 和英	9 故事ことわざ＆四字熟語
5 カタカナ語	0 手紙文作成

3　数字キーでしおりを削除する機能または「全部」を選びます。

削除の確認画面が表示されます。

4　Y キーを押します。

選択した機能またはすべてのしおりが削除されます。

電卓を使う

メニュー を押してメニュー画面にし、9 を押して電卓機能にして計算します。

計算をする

12桁までの加減乗除算、メモリー計算、パーセント計算などができます。

計算を始める前に

- 計算を行う前に、 R·CM R·CM クリア と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
- 負の数を使った計算は、負の数が最初にくるときに限り、減算記号(−)を負数シンボル(マイナス)として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは C·CE を押して、もう一度入れ直してください。
  また、▶ を押せば表示数値が右側から１桁ずつ削除されますので、まちがえた所までを消して、入れ直すことができます。

計算の途中や結果を示すため、画面に“＝”、“M＋”、“M−”、“＋”、“−”、“×”、“÷”が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。
“＝”は ＝ または ％ を押したとき、その他の“M＋”、“＋”などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

	計算例	キー操作	表示(答)
加減乗除	(−24)÷ 4−2 ＝	クリア − 24 ÷ 4 − 2 ＝	−8.
定数計算	34 ＋ 57 ＝	34 ＋ 57 ＝ (加数が定数となります)	91.
	45 ＋ 57 ＝	45 ＝	102.
	68 × 25 ＝	68 × 25 ＝ (被乗数が定数となります)	1’700.
	68 × 40 ＝	40 ＝	2’720.
パーセント計算	200の10%は？	200 × 10 %	20.
	9は36の何%	9 ÷ 36 %	25.
割増 割引	200の10% 増しは？	200 ＋ 10 % (または200 × 10 % ＋ ＝)	220.
	500の20% 引きは？	500 − 20 % (または500 × 20 % − ＝)	400.
べき乗	$4^6 = (4^3)^2 =$	4 × ＝ ＝ × ＝	4’096.
逆数計算	1 / 8 ＝	8 ÷ ＝	0.125

	計算例	キー操作	表示(答)
メモリー計算	(累計)	計算の前にメモリーを消去します → R·CM R·CM	※
	25 × 5＝	25 × 5 M＋	M 125.
	−) 84 ÷ 3＝	84 ÷ 3 M−	M 28.
	＋) 68 ＋17＝	68 ＋ 17 M＋	M 85.
	(計) ＝	R·CM	M 182.
	(定数記憶)	R·CM R·CM	
		12 ＋ 14 M＋	M 26.
	135×(12＋14)＝	135 × R·CM ＝	M 3'510.
	(12＋14)÷5＝	R·CM ÷ 5 ＝	M 5.2

※ メモリーに0以外の数値が入ると、"M"が表示されます。
M＋ 、M− は ＝ の働きもかねています。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。
C·CE を押してエラー状態を解除してください。
次のような概数が表示されているとき、小数点は兆の位を示します。

例： 4567890123 × 4560 ＝ 　E 20.8295789608
C·CE 　20.8295789608
↑ 兆の位

辞書のデータについて

ジーニアス英和辞典 第3版

1．見出し語

A．見出し語の並べ方

① アルファベット順に並べてある。

② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし，右肩に番号をつけた。

bill[1]　bill[2]　Bill

B．重要語の表示（重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。）

記号	ランク	内容	語数
⁑	Aランク	中学学習語	（約1100語）
⁎	Bランク	高校学習語	（約3400語）
†	Cランク	大学生・社会人に必要な語	（約5100語）
無印	Dランク	その他の語	（約69400語）

C．いろいろなつづりがある場合

① 米国式と英国式のつづりがあるときは，米国式を優先し，英国式つづりは参照見出しとした。

⁑col·or,《英》ー·our ... 名

② （　）は省略可能の部分，ーは最初のつづりとの共通部分を示す。

③ (ー) はハイフンつきまたはハイフンなしの１語となることを示す。

D．分節

① 音節の切れ目は，・(小さい中点)で表示した。

② 発音によって切り方が違うときは，最初に掲げた発音による切り方を示した。１語化した複合語(非分離複合語)では，構成要素の間だけを・で表示し，他の分節の表示は省略した。

E．分離複合語(２語見出し)

２語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は，最初の語の複合語として，アルファベット順に掲げた。
ただし，Newのつく地名はnewの末尾でなく独立の見出し語とした。

F．派生語の扱い

① 派生語は，Ｄランクの場合には，見出し語の末尾(すべての品詞の後)に続けて掲げることがある。

② ～は見出し語まるごとの代用である。

2．発音

① 発音記号は/　/に入れて示した。省略可能な音は（　）に入れて示した(省略可能な ə は *ə* とした)。
第１強勢(ストレス)は ´ ，第２強勢は ` をつけた。複数の発音が併記してある場合は，最初に示したものが最も一般的な発音である。

② 発音の一部を省略するときは，省略部分をハイフン(ー)で示した。

③ 品詞によって発音が違うときは，見出し語の直後に一括して掲げた(重要語についてはそれぞれの品詞のところにも示した)。

動＋は「動詞の場合はこの発音もある」という意。

④ 米国式と英国式の発音が異なるときは，米音・英音の順で示し，間に｜を入れた。

《米＋》は「米国ではこの発音もある」の意。

《英＋》は「英国ではこの発音もある」の意。

● 次の音については米音と英音が異なっていて、次のように対応している。

/ɑ/	→ 米 /ɑ/	英 /ɔ/	(英音を特に示すときは/ɔ/を用いた)
/ɔ(ː)/	→ 米 /ɔː/	英 /ɔ/	
/(j)uː/	→ 米 /uː/	英 /juː/	
/ər/	→ 米 /ɚ/	英 /ə/	
/əːr/	→ 米 /ɚː/	英 /əː/	
/əːr\ʌr/	→ 米 /ɚː/	英 /ʌr/	
/ou/	→ 米 /ou/	英 /əu/	(英音を特に示すときは/əu/を用いた)
/ɑːr/	→ 米 /ɑɚ/	英 /ɑː/	
/ɔːr/	→ 米 /ɔɚ/	英 /ɔː/	
/iər/	→ 米 /iɚ/	英 /iə/	
/eər/	→ 米 /eɚ/	英 /eə/	
/uər/	→ 米 /uɚ/	英 /uə/	
/ーiərー/	→ 米 /ーirー/	英 /ーiərー/	
/ーeərー/	→ 米 /ーerー/	英 /ーeərー/	
/ーuərー/	→ 米 /ーurー/	英 /ーuərー/	
/hwー/	→ /wー,《米+》hwー/		

⑤ **接頭** **接尾** **連結形** の発音は代表的な発音だけを示した。

⑥ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には《発音注意》《アクセント注意》(これは「強勢の位置に注意」の意)と注記した。発音との関係などでつづりを誤りやすい語には《つづり注意》と注記した。

⑦ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を「類音」として掲げた。

fork /fɔ́ː(r)k/ (類音 folk)

3．本義(中核的意味)・原義(語源的意味)・由来

① その語の語義全体の基本となる「本義(中核的意味)」，もしくは「原義(語源的意味)」を〔　〕に入れて示した。時には必要により語義の派生的・発展的意味をも示した。

② 外来語(完全に英語化しているものも含む)は，その由来する言語名を〔フランス〕〔スペイン〕などとして示した。

③〔聖〕は聖書，〔Shak.〕はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。

4．品詞

① 品詞は次のように示した。

名 名詞	**代** 代名詞	**動** 動詞	**自** 自動詞
他 他動詞	**助** 助動詞	**前** 前置詞	**形** 形容詞
副 副詞	**間** 間投詞	**接** 接続詞	**接頭** 接頭辞
接尾 接尾辞	**連結形** 連結形	**略** 略語	**記号** 記号

② 重要な派生語を〈派〉として品詞表示の前に掲げた。

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

① 名詞，動詞，形容詞，副詞の語形変化は，品詞表示のすぐ後に（　）に入れて示した。

② ～は見出し語まるごとの代用，ーは見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/～/ は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

（複　　）と表示した。

C. 動詞の語形変化

（三人称単数現在形；過去形, 過去分詞形；現在分詞形）のように示した。

但し，

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は１回だけ表示した。
- ２つ以上の形があるときは or で示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

① Ａ，Ｂランクの１，２音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示した。

- (ーer型) とあるのは原級に ーer を付加するものである。
- 他の場合は (ー・i・er[est]) のように明記した。
- ３音節以上で表示のないものは more 型である。

② Ｃランク以下の語では，表示のない場合，

- １音節の語では ーer 型，
- ２音節以上の語では more 型である。
- ーy を i に変えて ーer をつけるものも単に (ーer型) と表示した。
- (or ーer型) は more 型と ーer 型の両方が用いられることを示す。
- ーer, ーest をつけるとき語尾の子音を重ねるものは (-tt-) (《英》-ll-) などと示した。

③ Ａ，Ｂランクの語を中心に，形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には，(φ比較)と表示した。

6. 語義・文型表示・語法・用例

A. 語義の区分・順序

語義は 1, 2, 3 ...の数字で区分し，さらに必要に応じて a, b, c ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では，Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 文型インデックス

重要な動詞については，文型インデックス([INDEX]の表示)を設け，文型から意味をすばやく検索できるようにした。

C. 語義の示し方

① 訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は（　）に入れた。

② [　]は直前の語句と交換ができる語句を示す。

decolorize ... 動 ...脱色[漂白]する

[「脱色する」または「漂白する」の意になる]

③ 語義の定義や内容説明は《　》に入れて示した。

D. 用法の指示，文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を［　］に入れて示した。

例

語形［P～］　見出し語は小文字だが，大文字で用いる。

　　　［p～］　見出し語は大文字だが，小文字で用いる。

名詞の用法

[the ～] [a ～] [an ～]　それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ～]　所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。

[～s] [～es]　複数形で用いる。(子音＋ y で終る音については [～ies]と示した。)

形容詞の用法

[叙述]　叙述用法 (predicative use)(be, remain など連結動詞(copulative verb) の補語となる用法)で用いる。

[限定]　限定用法 (attributive use)(名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法)で用いる。

[他動詞的に]　他動詞に由来し,「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ～ed]　受身形で用いる。

[be ～ing]　進行形で用いる。

そのほか

[俗用的に] は, 専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

E. 文型表示(S, V, O (または O_1, O_2), C, M)

① 記号の意味　S＝主語　V＝動詞　O＝目的語　C＝補語
M＝副詞的修飾語(句)(前置詞句, 副詞など)

② 不定詞, 動名詞, that節, wh節などを伴う場合や, ある前置詞を決まって用いる場合などは, それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は (　)に入れた。
/は, その両側が交換可能であることを示す。
[SV to do/SV doing]

③ "to do" "doing" という表示は to be, beingを含む。to be, being だけのときは "to be" "being" とする。

F. スピーチレベル

語の使われる地域, 文体, 時代的差異などに関するスピーチレベルは,《　》に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異

《非標準》　非標準英語(標準英語には特に表示しない。)

レジスター(標準英語内における機能的差異・スピーチレベル)

《正式》 堅い書き言葉・話し言葉(時に《文》に通じる。)

《略式》 くだけた書き言葉・話し言葉

《俗》　俗語, 非常にくだけた話し言葉

《性俗》 性的な俗語(下品な語, タブーとされる語も含む。)

《文》　文語, 堅い書き言葉(時に《古》《詩》に通じる。)

《詩》　詩で用いる言葉

《まれ》 使用頻度のきわめて低い言葉

年齢的・人種的・性的差異

《学生語》《小児語》

《黒人語》　米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》　ある地域でだけ用いる。(《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉)
《米》　米国でのみ用いる。
《英》　英国でのみ用いる。
《カナダ》　カナダでのみ用いる。
《豪》　オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
ニュージーランドだけで用いる場合は特に《ニュージーランド》と表示した。
《南ア》　南アフリカ共和国でのみ用いる。
《イング》　イングランド方言
《北イング》　北部イングランド方言
《スコット》　スコットランド方言
《アイル》　アイルランド方言
その他，必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異　《やや古》《古》《廃》

その他　《愛称》《掲示》《Eメール》　など

G.《PC》・《侮蔑》

① 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には，非差別的表現を，《PC》という表現をつけて掲げた。
(PC＝politically correct)

assemblyman　議員（《PC》assembly member）

② 特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ，侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて，特に使用上の注意を促した。

H. 専門語

専門的な語，決まった分野で用いられる語では，分野を〔　〕で示し，多くは略号を用いた(10. 専門分野略語表参照)。

I. 選択制限・連語関係

① 主語・目的語などにどういう内容の語がくるかを〈　〉で示した。また，その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を，語義の後に〔　〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔　〕で示した。

fire... **動** ...1〈人が〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕発射する，発砲する〔at, into, on, upon〕

② 動詞にしばしば伴う副詞辞は，語義の後に＋印をつけて（　）に入れて示した。

figure... **動** ... 1 …を計算する，合計する(+up)

J. いろいろな注記・記号

① 語義の後の（　）内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

② 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは《◆　》に入れて示した。

●「次の句」とあれば、同じ語義の用例(例)に句があることを示す。

③ 必要に応じて，次のような表示を用いた。

［関連］　［語法］　［文化］　［事情］
［類］類義語　［比較］日本語と英語の比較
［表現］主に英語で表現する場合に役立つ知識

cf. …を参照せよ
→ …を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)

⇔ 反意語・対になる語
《外来形容詞》主にラテン語・ギリシア語からの外来語による形容詞形。学術語として用いるものが多い。

K. 用例

① 見出し語と同じものを～で示した。
② 語形変化した形については ～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es をつけるものは ～ies とした。
③ [ ] は，直前の語(句)と交換が可能であることを示す。
④ 英語とその訳の両方に [ ] があるときは，[ ] の前の語(句)同士，[ ] の中の語(句)同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。
(**eclipse**の項で) a sólar [lúnar] ～ 日[月]食
⑤ 用例の言い換えを(＝)を用いて示した。
言い換えに用いた等号(＝)はまったく等しいという意味ではなく，むしろ ≒ということで，だいたいこのようにも言える，といったかなり幅のある記号である。

L. イントネーション強勢など

① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など，必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
(1) ↘(下降調)　通例平叙文で用いられ，文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
(2) ↗(上昇調)　通例疑問文で用いられ，質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で，文が未完結であることを示す。
(3) ↘↗(下降上昇調)　通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
(4) ↘(部分下降調)　中途半端な下降で，未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
② ⁝によって，若干の休止があることを示した。

7. C と U

名詞には，数えられるものに C (countable), 数えられないものに U (uncountable) の記号をつけた。

A. C U の意味

① C 名詞は，単数形では a, an (または the, my, any) などの決定詞が必要であり，複数形にすることができる。
② U 名詞は，冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ，複数形にならない。いわゆる物質名詞，抽象名詞，集合名詞などがこれに含まれる。
特に a, an がつくときは [a ～]， また [しばしば a ～] [しばしば ～s] は[or a ～]，[or ～s] などと示した。
③ C U は C 性の方が強いことを表している。
④ U C は U 性の方が強いことを表している。
⑤ U名詞の注記([種類] C)
U 名詞であっても，その種類を問題にするときに C 扱いになることがある。これを「**chalk** 名 ...1 U ([種類] C) チョーク」のように注記した。この場合，チョークの種類を問題にするときは C となり，chalks of different colors (異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。
⑥ U C はつけない場合
[the ～] [a ～] [～s] [the ～s] [one' s ～] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 U C はつけない。

8. 成句・句動詞

A.成句の掲げ方

① 成句は各品詞ごとに掲げた。
② 配列はアルファベット順である。

B.成句に用いた記号

① O は動詞・前置詞の目的語を示す(ただし，目的語ではなくても便宜上O を用いた場合がある)。
② one' s は成句の主語と同一指示のものが人称代名詞(my, your, her, their など)になって入ることを示す。
その他の場合はO' sとする。oneself は再帰代名詞(myself, yourself, herselfなど)が入ることを示す。
③〈　〉〔　〕(　)[　] の意味は単語の語義の場合(6.C，6.I)と同じである。
[　] が成句見出しと訳の両方にあるときは，用例の場合(6.K ④参照)と同じように，英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
④ 重要語に相当する成句には ＊印をつけた。

C. 成句を扱う場所

① 原則として，その成句に含まれる名詞のところで扱う。名詞を含まない場合は成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
② 成句は，「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

①「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる句動詞には成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。
[自]　自動詞＋副詞辞：目的語をとらない。
[他]　他動詞＋副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる
(〜 O up / 〜 up O のいずれも可)。
ただし O が代名詞の場合は通例 〜 O up のみ可。
◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。
[自⁺] [〜 on O] 自動詞＋前置詞：目的語は前置詞の目的語である。他動詞に近づき、しばしば受け身が可能。
② 句動詞以外でも，形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは＝を用いて示した。
(top の項で)
from tóp to tóe ＝from HEAD to foot.
[from head to foot と同じ意味であり，それは head (スモールキャピタルなっている)の項に説明があることを示す]

9．専門分野略語表

〔アメフト〕アメリカンフットボール
〔アングリカン〕アングリカンチャーチ

〔医〕 医学	〔印〕 印刷	〔映〕 映画
〔英史〕 英国史	〔音〕 音楽	〔音声〕 音声学
〔化〕 化学	〔絵〕 絵画	〔化工〕 化学工業
〔カトリ〕 カトリック		〔機〕 機械（工業）
〔ギ神〕 ギリシア神話		〔魚〕 魚類
〔漁〕 漁業	〔軍〕 軍事	〔経〕 経済（学）
〔建〕 建築（学）	〔言〕 言語学	〔工〕 工業・工学
〔鉱〕 鉱物学	〔古生〕古生物	〔史〕 歴史（学）
〔歯〕 歯科（学）	〔社会〕 社会学	〔狩〕 狩猟
〔宗〕 宗教（学）	〔商〕 商業・商学	〔植〕 植物（学）
〔織〕 紡織	〔神〕 神学	〔心〕 心理学
〔人類〕 人類学	〔数〕 数学	〔生〕 生物（学）
〔政〕 政治（学）	〔生化〕 生化学	〔聖書〕 聖書（学）
〔精神医〕 精神医学		〔地〕 地学・地質学
〔虫〕 昆虫	〔鳥〕 鳥類	〔哲〕 哲学
〔天〕 天文学	〔電気〕 電気（工学）	
〔電子工〕 電子工学		〔動〕 動物（学）
〔土木〕 土木（工学）		〔農〕 農業・農学
〔バスケ〕 バスケットボール		〔美〕 美術・美学
〔美史〕 美術史	〔物〕 物理（学）	
〔プロテ〕 プロテスタント		〔米史〕 米国史
〔法〕 法律・法学	〔薬〕 薬学	〔郵〕 郵便
〔林〕 林業・林学	〔倫〕 倫理（学）	〔ロ神〕 ローマ神話
〔論〕 論理学		

◇このほかの分野については省略しない形で，または「学」だけを省略して示してある（例：〔教育〕＝ 教育（学））。

ジーニアス和英辞典

1. ジーニアス和英辞典のしくみ

A. 見出し語とその並べ方

① かな見出し(ひらがな・カタカナ)で，国語辞典式の五十音順に並べた。

② 清音，濁音，半濁音の順。「っ」(促音)，「ゃ」「ゅ」「ょ」(拗音)は，それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の次に置いた。
カタカナ見出し中の長音符(ー)は，その直前の音の母音を重ねたものとして配置した。

スープ　「スウプ」の位置　　**キーパー**　「きいぱあ」の位置
セーフ　「セエフ」の位置　　**コーヒー**　「こおひい」の位置

③ かな表記・漢字表記とも同じ見出しが2つ以上あるとき(これは主として対応する英語の品詞によって分けたもの)は，肩に数字をつけ，後ろに＜＞で区別の手掛りを記した。カタカナの同音語も同様である。

あいする1[愛する]＜動＞
あいする2[愛する]＜形＞
ライト1＜明り＞
ライト2＜野球＞

英語の品詞が見出し語から推測しにくいときにも，＜形＞などで英語の品詞を示した。
助詞・助動詞・接尾辞など独立では用いられない語は，ハイフンをつけて見出しにした。

-に　**-すぎ[-過ぎ]**　**-たい**

B. 派生語見出し

① 派生語見出しは，主見出しの後に 派 印の下に掲げた。
ただし，派生語の記述が長いときは，独立の見出しとした。

② 記述が短いものなどは，後述の「複合語・慣用表現(関 印)」で扱った。

C. 記述の構成要素

① 本辞典の記述内容は次のような要素からなる。

あたま「頭」　［見出し語］
③ [頭脳]〚知力，思考力，判断力...〛 [意味の区分] [類語]
⁑**head** C 頭脳，理性...
*__brain__ U C 《略式》[しばしば～s] 頭脳，知能...
⁑**mind** U C ...心，精神；U 知力，知性；
C U 考える力，頭脳
［英語中見出し］
文 mix up [他]《略式》[be～ed]〔…について〕頭が混乱する〔about〕
［英語中見出し以外の語を用いた英語用例・成句］
関 **頭を悩ます**puzzle...　頭の回転が早い...
［複合語・慣用表現］

小さな項目では，適宜簡単な書き方をした。

D. 意味による区分

必要に応じ，見出し語を意味によって大きく区分して，①②…で示した。

あたま〔頭〕　①〔頭部〕　②〔頭髪〕　③〔頭脳〕

E．類語

主要な見出し語については，日本語の類義語・関連語を，見出し語の直後（意味の区分があるときはその区分の直後）に〖　〗に入れて掲げた。ここに掲げた語を参考にして他の日本語による表現・言い換えを知ることにより，求める英語表現への多様なアプローチが可能になる。

2．英語中見出し

A．英語中見出し

① 見出し語にほぼ対応する英語があるときは，「英語中見出し」を置き，その発音（わかりにくいもののみ）・文型・語義・用法・用例などを英和辞典と同じ方式で掲げた。
配列は，その見出し語を含む文・句を英語で表現する場合の有用性を考慮して並べた。

② 成句も，見出し語にほぼ対応するものは「英語中見出し」として掲げた。

B．記述の方法

① 記述の方法や記号類の用法などは，『ジーニアス英和辞典』とほぼ同様である。（ジーニアス英和辞典の項参照）

② 英語の品詞は，日本語との対応がわかりにくいものについて表示した。
英語中見出しの語義のうち，見出し語と同じものは，まぎらわしくない場合省略した（先の「あたま」の例では，「頭」という語義を省略）。

③ 英語の句・成句などで，動詞・前置詞の目的語をOで示した。また，目的語でなくても，便宜上，名詞にOを用いた場合がある。

④ 動詞・形容詞には，必要により，[S] [D] の別を示した。

[S]（stative）　人が自分の意志でコントロールできない状態・出来事を表す。

[D]（dynamic）　人が自分の意志でコントロールできる状態・出来事を表す。

[S] と [D] で，原則として，次のような用法の区別がある。

1）人を主語にした [S] 動詞・形容詞：通例進行形・命令形を用いない。

2）人を主語にした [D] 動詞・形容詞：通例進行形・命令形で用いることができる（形容詞では“... is being ...”のような進行形，“Be ... ”のような命令形）。

3）無生物主語の [S] 動詞・形容詞は，永続的な状態を表す場合，進行形を用いない。一時的な状態を表す場合は，しばしば進行形を用いる。命令形は用いない。

⑤《NS》　男女両性を含めて用いられる男性名詞（-man のつく語など），ことさらに男女の違いを強調する語などに対して，男性に偏しない両性に使える語を示す（NS=Non-sexism）。

3．英語用例・成句

英語中見出しとは別に，見出し語を含む文・句を英語で表現する場合に役に立つ英語用例（英語中見出し以外の語を用いたもの）・成句を **文** 印の下に掲げた。

4．複合語・慣用表現

① 見出し語を含む複合語・慣用表現・慣用表現を含む文などと，それにあたる英語を **関** 印の下に掲げた。

② 英語の単語（または分離複合語，短い句）が対応する場合は，まずそれを英語中見出しと同様に掲げ，必要によって用例を付した。

岩波書店　広辞苑（凡例）

編集方針

1、この辞典は、国語辞典であるとともに、学術専門語ならびに百科万般にわたる事項・用語を含む中辞典として編修したものである。ことばの定義を簡明に与えることを主眼としたが、語源・語誌の解説にも留意した。収載項目は約23万である。

2、国語項目は、現代語はもとより、古代・中世・近世にわたってわが国の古典にあらわれる古語を広く収集し、その重要なものを網羅した。漢語・外来語のほか、民俗語・方言・隠語・慣用句・俚諺の類についても、その採録に意を用いた。

3、わが国語のうち最も基礎的と思われる語約1000を選んで、その語義・用法などを特に詳述した。

4、国語項目の解説に当っては、つとめて古典から文例を引用し、また、現代語の作例を多く掲げ、語の用法を実地に示した。また、仮名遣いや発音を定めるに当っては、古辞書・訓点本の類に照らして正確を期した。

5、現代一般に用いられる、造語能力を有する漢字約3200を項目として掲げ、意味とそれぞれの熟語例を示した。

6、語源・語誌は、編者の説を中心にして諸家の説をも参酌し、要約して注記した。必要に応じて、漢語にはその出典を、外国語の訳語にはその原語を掲示した。

7、百科的事項の収載範囲は、哲学・宗教、歴史・地理、政治・法律・経済、教育、数学・自然科学・医学、産業・技術・交通、美術・芸能・体育・娯楽、語学・文学などの万般にわたり、地名・人名・書名・曲名・年号などの固有名詞にも及

ぶ。わが国の人名は物故者に限った。
8、系図・組織図・一覧表など約100表を掲げ、解説文の理解を助けるよう配慮した。
(61～100ページの「広辞苑(付表・図)」に収録)

見出し語

＜仮名遣い＞

原則として『現代仮名遣い』(1986年7月内閣告示)の方式に従った。

(1) 和語・漢語には平仮名を、外来語には片仮名を用いた。
例) ま-ぢか【間近】
つづ・く【続く】
クラブ【club・倶楽部】

(2) 歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものは、その相違する部分を見出し語の横に片仮名で記し、相違しない部分は「‥」で略した。
例) うわ-ぢょうし【上調子】ウハデウ‥

(3) 外来語の片仮名表記については『外来語の表記』(1991年6月内閣告示)を参考とした。中国の地名・人名は一般に漢字音によったが、現代地名・人名は、原語音のローマ字表記を解説の冒頭に記した場合がある。
※ 長音を表すには「ー」を用いた。
※ 外国の固有名詞、および、外国語の感じが多分に残っている語に限って〔v〕の音は「ヴ」の仮名で表した。

＜見出し語の区切り＞

(1) 語構成を示すため、語源上からこれを二つの基本部分に分け、「-」でつないだ。語によっては、三つ以上に区分したものもある。
例)う-の-はな【卯の花】
語源を確定しがたい場合、また、語形の変化によって区分しがたい場合は、「-」を付さなかった。
例)やよい【弥生】ヤヨヒ(イヤオヒの転)

(2) 人名は姓氏と名との間で区切り、地名は「山」「川」「橋」などが付く場合、その直前で区切ったが、その他の地名・作品名・年号などの固有名詞は原則として区切らなかった。

(3) 活用する語は、原則としてその終止形を見出し語とし、語幹と語尾との間に「・」を付した。その位置が語構成を示す「-」と合致する時は、「・」のみを付した。
例)うれし・い【嬉しい】《形》

＜表記形＞

【　】の中に、見出し語の仮名に相当する漢字または外国語の綴りを示した。

・漢語・和語

(1) 相当する漢字がいくつかある場合は、現代標準的と思われるものをもって代表させた。この際、『同音の漢字による書きかえ』(1956年7月　国語審議会報告)などを参照した。
※「弘報」(コウホウ)と「広報」(クヮウホウ)のように、字音仮名遣いが異なるものは、別項として扱った。

(2) 送り仮名は、現代語は現代仮名遣い、古語は歴史的仮名遣いに従って施した。『送り仮名の付け方』(1981年10月　内閣告示)に示された原則に準拠しつつ、旧来の慣行をも考慮して送った。

例) おもい【思い】オモヒ
　　おもい - わた・る【思ひ渡る】オモヒ‥

・外来語

(3) 外来語については、わが国に直接伝来したと考えられる原語を掲げ、その言語名を注記した。英語の場合は一般にその注記を省略した。また、ギリシア語・ペルシア語・ロシア語などは適宜ローマ字綴りに直した。漢字を当てる慣行の定着している語にはこれを並記した。

例)ガス【gas オランダ・イギリス・瓦斯】

中国語および漢字の当たる梵語・朝鮮語などの場合は、【　】内にその漢字を掲げ、適宜、原語音をローマ字で注記した。

例)チョンガー【総角】(朝鮮語ch'onggakの転)

(4) 外国語の固有名詞には原則として言語名を注記せず、解説の叙述で分るようにした。人名の場合は姓だけでなく名をも示し、また、原語における冠詞の類は多く省略した。

例)カント【Immanuel Kant】ドイツの哲学者。

(5) 原語音からいちじるしく転訛した外来語、または外国語に擬してわが国で作られた語には、その綴りを【　】内に入れず、(　)内に注記した。

例)ミシン(sewing machine の略訛)

(6) 片仮名で表記した外来語と平仮名で表記した和語・漢語との複合した語は、その片仮名に相当する部分を「—」で示し、必要に応じてその複合語に相当する外国語を注記した。

例)エーゲ - かい【ー海】(Aegean Sea)

＜品詞の表示＞

品詞の別は、略語をもって《　》内に示した。
略語については後述の“品詞略語表”“活用の種類略語表”を参照のこと。

(1) 名詞および連語には、原則として品詞の表示を省略した。

(2) 動詞には自動詞・他動詞の別ならびに活用の種類を、文語形容詞には活用の種類を示した。

※ 動詞の四段活用・五段活用については、文語としての用法しか認められない語に限って、四段活用とした。

[品詞略語表]

略語	品詞
《名》	名詞
《代》	代名詞
《自》	自動詞
《他》	他動詞
《形》	形容詞
《連体》	連体詞
《副》	副詞
《助動》	助動詞
《助詞》	助詞
《接続》	接続詞
《接頭》	接頭語
《接尾》	接尾語
《感》	感動詞
《枕》	枕詞

[活用の種類略語表]

略語	活用の種類
五	五段活用
四	四段活用
上一	上一段活用
上二	上二段活用
下一	下一段活用
下二	下二段活用
カ変	カ行変格活用
サ変	サ行変格活用
ナ変	ナ行変格活用
ラ変	ラ行変格活用
ク	ク活用
シク	シク活用

＜文語形と口語形＞

活用語は、口語形見出しの下に、文語の用法をも併せて解説した。文語形のみあって、口語形が普通には行われない語については、その限りでない。

(1) 口語形項目には、解説の冒頭に、対応する文語形を文として示した。ただし、文語・口語同形の場合は省いた。
　例)し・いる【強いる】シヒル
　《他上一》文 し・ふ(上二)

(2) 文語形・口語形の見出しが排列上相並ぶ場合は、文語形見出しを立てなかった。また、口語形サ変動詞についても、その文語形見出しを省略した。

見出し語の排列

＜五十音順＞

現代仮名遣いの五十音順により排列した。

(1) 清音・濁音・半濁音の順に置いた。
　例) へん‐き【騙欺】
　　べん‐き【便器】
　　べん‐ぎ【便宜】
　　ペンキ【番瀝青】

(2) 促音(そくおん)・拗音(ようおん)は、直音の前に置いた。
　例) さっ‐き【撮記】
　　さ‐つき【五月】
　　ざっ‐き【雑器】
　　ざ‐つき【座付】

(3) 長音符「ー」は、すぐ上の片仮名の母音(ア・イ・ウ・エ・オのいずれか)を繰り返すものと見なして、その位置に排列した。
　例)コーヒーはコオヒイの位置に置く。

＜同音の語の排列＞

見出し語の仮名表記が全く同じである場合は、順次つぎの基準に従って排列した。

(1) 品詞の順ー名詞、代名詞、動詞、形容詞、連体詞、枕詞、副詞、助動詞、助詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞の順に排列した。
　連語は、体言相当のものは体言の、用言相当のものは用言の後に置いた。

(2) 和語・漢語・外来語の順ー品詞を同じくする場合は、一般に和語を前に、字音語を後に置いた。外来語は、その原語の品詞にかかわりなく、名詞の末尾に排列した。
　同音の語は、【　】内の首字の字画数の順に並べた。

(3) 普通名詞・固有名詞の順ー地名・人名・作品名・年号など固有の名称は、原則として同音同字の他の名詞と項目を併せず、別に見出しを立ててその次に並べた。これら二つの項目が排列順位の上で離れる場合には、普通名詞の項目の解説末尾に(地名別項)(書名別項)などと注記した。

＜親項目と複合語＞

複合語は、語構成上の最初の部分が見出し語として掲げてある場合には、それを親項目としてその中にまとめた。ただし、一語意識のつよい語は独立した見出し語とした。

(1) 親項目は、見出し語の仮名が三字以上(促音・拗音などを表す仮名も字数に算入)から成る語に限った。ただし、漢字一字の字音語は親項目としない。

※ わが国の姓氏の項目に限り、二字以下の場合も親項目とした。

(2) 固有名詞を冠した複合語は、それが普通名詞であっても、その固有名詞を親項目とした複合語とした。人名の場合は、姓氏を親項目としてまとめた。

例) おうみ【近江】アフミ…旧国名。
おうみ - あきんど【近江商人】アフミ‥
おうみ - おんな【近江女】アフミヲンナ

＜成句＞

その最初の一単語を見出しとする項目の中にまとめた。

(1) 見出しは、漢字・仮名まじり、現代仮名遣いで表記し、その五十音順に並べた。

解　説

＜本文の表記＞

(1) 説明の本文は現代仮名遣いに従って表記した。動植物名・外来語、また、発音や語形を示す場合は、適宜に片仮名を用いた。

(2) 漢字の字体は、常用漢字ならびに人名用漢字はいわゆる新字体を、他は広く通用している字体を採用した。

＜語釈の区分＞

語義がいくつかに分れる場合には、原則として語源に近いものから列記した。

(1) 区分を明らかにするため、①②③…　の番号を付した。さらに大きく分類する場合は❶❷❸…　の番号を、細かく区分する場合は㋐㋑㋒…の符号を用いた。

(2) 一つの項目を二つ以上の品詞あるいは活用の種類に分けて解説する時は、それぞれの品詞・活用表示の前に 一 二 三 …の番号を付した。

＜術語の分類＞

専門学術用語には、その分野を明らかにするため、必要に応じて、解説の冒頭に〔　〕でかこんでその語の分類略語を標示した。

[学術語・専門語略語表]

略語	分野	略語	分野
〔哲〕	哲学	〔数〕	数学
〔論〕	論理学	〔理〕	物理
〔心〕	心理学	〔化〕	化学
〔宗〕	宗教	〔天〕	天文
〔仏〕	仏教	〔気〕	気象
〔神〕	神話	〔地〕	地学
〔史〕	歴史	〔生〕	生物
〔法〕	法律	〔植〕	植物
〔経〕	経済	〔動〕	動物
〔教〕	教育	〔医〕	医学・薬学
〔社〕	社会学	〔機〕	機械工学
〔美〕	美学・美術	〔電〕	電気工学
〔言〕	言語・音韻	〔農〕	農林
〔文〕	文学	〔建〕	建築・土木
〔音〕	音楽		

＜漢語の出典＞

漢語または諺(ことわざ)の類には、必要と認めた場合、漢籍の出典を[　]でかこんで解説の冒頭に掲げた。原典名の横に篇・章名を付した。

例）ふ‐わく【不惑】…②［論語(為政)「四十而不惑」］年齢40歳をいう。

＜字音の注記＞

見出し項目に掲げた一字の漢字について、その字音が一般に二種以上用いられているものには、(呉音)などと字音の種類を注記した。漢音の場合は原則としてこれを省略した。

＜漢字の使い分け＞

【　】内に二つ以上の漢字表記があって、語義によって使い方が異なる場合は、語義区分の直後に《　》で囲んで、該当する漢字を掲げた。また、項目末尾に◇を付して、現代よく使う漢字の使い分けを説明した場合がある。

＜季　語＞

基本的な季語約3500を選び、解説末尾に＜季 春＞のように、新年・春・夏・秋・冬の季節を示した。

＜用　例＞

語義の理解を助けるため、つとめて用例を掲げた。

(1) 古典からの引用に当っては、原典の仮名を漢字に、または漢字を仮名に改め、漢文を読み下しにするなど、かならずしも原文のままではない。

(2) 用例中、語句の一部を省略した場合は、「…」で示した。また、難解の語句には、(　)でかこんで注釈を施した。

(3) 引用古典の書名の巻名・章段名などは(　)でかこんで付記した。

(4) 引用古典には、下記のようにジャンル名を略称で記したものがある。

浮、	浮世草子
伎、	歌舞伎
黄、	黄表紙
狂、	狂言
幸若、	幸若舞曲
滑、	滑稽本
洒、	洒落本
浄、	浄瑠璃
新内、	新内節
伽、	御伽草子
人、	人情本
謡、	謡曲

(5) 見出し語に相当する部分は「ー」で略した。活用語の場合は、語幹を「ー」で表し、「・」をつけて活用語尾を送った。ただし、語幹と語尾とを分けにくい場合は「ー・」を用いなかった。

＜典拠＞

(1) 仮名遣いや清濁その他発音などに関して、古辞書・訓点本の類を典拠として掲げる場合は、原文のまま引用した。「日葡辞書」「和英語林集成」(略称「ヘボン」)のローマ字書きは片仮名にうつした。原文を引く必要のない時は＜　＞にかこんで単に書名のみを示した。

(2) 類書その他に説くところに依拠して解説を施した場合には、解説末尾に、(　)でかこんでその書名を注記した。

＜その他＞

(1) (　)内に示した西暦紀年は、人名の場合は生没年、年号の場合はその行われた期間、その他、在位・在職期間などを表す。原則として1872年(明治5)以前の西暦と和暦(旧暦)との月・日のずれは無視した。

(2) 国・都道府県・都市の人口は、必要と思われるものにのみ記した。わが国に関するものは、自治省行政局編『平成9年住民基本台帳人口要覧』による数字である。外国に関するものは、国際連合編『世界人口年鑑』1995年版により、調査年次を(　)内に注記した。中国の場合など、これ以外の資料を参照したものも若干ある。

(3) 外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を(　)でかこんで解説の冒頭に掲げた。

(4) ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者については、解説末尾に「ノーベル賞」「文化勲章」と記した。

(5) 参照記号

➡解説:　解説はその項目を見よ

➡　その項目を参照せよ

↔　対語・反義語

(6) 解説末尾に▽を付して、現代語の用法についての注記をした場合がある。

広辞苑（付表、図）

広辞苑の詳細画面で「➡表、図」と表示された場合は、下記のさくいんを参考にして該当する見出し語の付表や図を参照してください。

【例】「うんきゅう【雲級】」の詳細画面

見出語
うん・きゅう (‥キフ)
【雲級】
雲の分類。表のように10種の雲級に分けられる。➡表、図

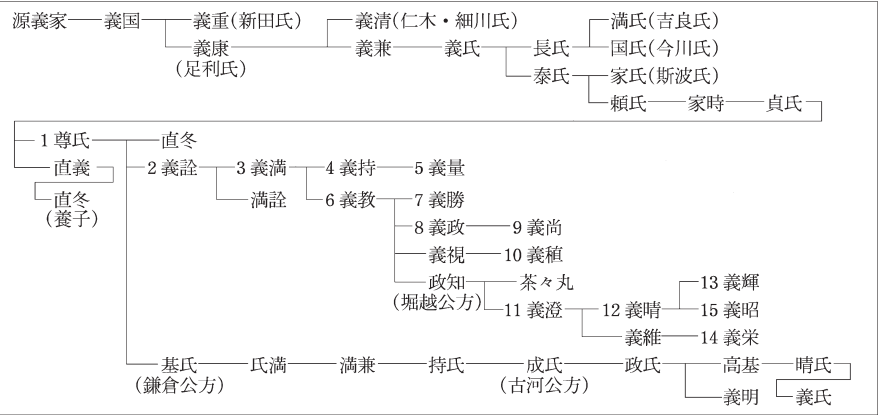
さくいん

【アイビーリーグ】

アイビー-リーグ

大　学　名	所　在　地	創立年
ハーヴァード	マサチューセッツ州ケンブリッジ	1636
イェール	コネチカット州ニュー-ヘブン	1701
ペンシルヴァニア	ペンシルヴァニア州フィラデルフィア	1740
プリンストン	ニュー-ジャージー州プリンストン	1746
コロンビア	ニュー-ヨーク州ニュー-ヨーク	1754
ブラウン	ロード-アイランド州プロヴィデンス	1764
ダートマス	ニュー-ハンプシャー州ハノーヴァー	1769
コーネル	ニュー-ヨーク州イサカ	1865

【足利】

足利(略系図)

数字は将軍の代数

【位階】

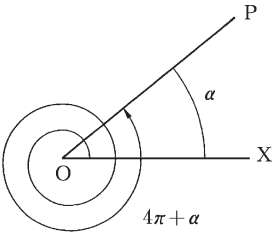
位階(大宝令・養老令)

親王	諸王・諸臣	勲位	親王	諸　臣	勲位
一品	正一位			正六位上	
	従一位			正六位下	勲七等
二品	正二位			従六位上	
	従二位			従六位下	勲八等
三品	正三位	勲一等		正七位上	
	従三位	勲二等		正七位下	勲九等
四品	正四位上			従七位上	
	正四位下	勲三等		従七位下	勲十等
	従四位上			正八位上	
	従四位下	勲四等		正八位下	勲十一等
	正五位上			従八位上	
	正五位下	勲五等		従八位下	勲十二等
	従五位上			大初位上	
	従五位下	勲六等		大初位下	
				少初位上	
				少初位下	

ほかに正五位上〜少初位下の各階に外位がある．
例，外正五位上

【一般角】

【遺伝暗号】

遺伝暗号

塩基の第一文字	U（塩基の第二文字） コドン	アミノ酸	C コドン	アミノ酸	A コドン	アミノ酸	G コドン	アミノ酸	塩基の第三文字
U	UUU	フェニルアラニン	UCU	セリン	UAU	チロシン	UGU	システイン	U
	UUC		UCC		UAC		UGC		C
	UUA	ロイシン	UCA		UAA	†	UGA	†	A
	UUG		UCG		UAG		UGG	トリプトファン	G
C	CUU	ロイシン	CCU	プロリン	CAU	ヒスチジン	CGU	アルギニン	U
	CUC		CCC		CAC		CGC		C
	CUA		CCA		CAA	グルタミン	CGA		A
	CUG		CCG		CAG		CGG		G
A	AUU	イソロイシン	ACU	トレオニン	AAU	アスパラギン	AGU	セリン	U
	AUC		ACC		AAC		AGC		C
	AUA		ACA		AAA	リジン	AGA	アルギニン	A
	AUG	メチオニン，＊	ACG		AAG		AGG		G
G	GUU	バリン	GCU	アラニン	GAU	アスパラギン酸	GGU	グリシン	U
	GUC		GCC		GAC		GGC		C
	GUA		GCA		GAA	グルタミン酸	GGA		A
	GUG		GCG		GAG		GGG		G

U：ウラシル，C：シトシン，A：アデニン，G：グアニン，
＊：読取り始め（開始コドン），†：読取り終り（終止コドン）

【雲級】

雲　級

類	略号	雲のよくあらわれる高さ	
巻雲	Ci	上層	極地方 3〜8 km
巻積雲	Cc		温帯地方 5〜13 km
巻層雲	Cs		熱帯地方 6〜18 km
高積雲	Ac	中層	極地方 2〜4 km
			温帯地方 2〜7 km
			熱帯地方 2〜8 km
高層雲	As	普通中層に見られるが，上層までひろがっていることが多い．	
乱層雲	Ns	普通中層に見られるが，上層および下層にもひろがっていることが多い．	
層積雲	Sc	下層	極地方 地面付近〜2 km
層雲	St		温帯地方 地面付近〜2 km
			熱帯地方 地面付近〜2 km
積雲	Cu	雲底は普通下層にあるが，雲頂は中・上層まで達していることが多い．	
積乱雲	Cb		

【印度】

インドの主な王朝

北西部・北部		中央部		南部	
（マガダ国）	紀元前6世紀〜	（カリンガ国）	？〜前3世紀		
マウリヤ朝	前324頃〜前187頃				
シュンガ朝	前184頃〜前72頃	サータヴァーハナ朝	前1世紀？〜後3世紀	チョーラ朝(1)	前3世紀〜後3世紀
クシャーナ朝	後1世紀〜3世紀				
グプタ朝	320頃〜550頃			パッラヴァ朝	4〜9世紀
ヴァルダナ朝	606頃〜647頃				
ラージプート系				チョーラ朝(2)	9〜13世紀
諸王朝	8世紀〜13世紀				
ゴール朝	12世紀頃〜1206				
デリー王朝					
1奴隷王朝	1206〜1290				
2ハルジー朝	1290〜1320				
3トゥグルク朝	1320〜1413			ヴィジャヤナガル朝	1336〜1649
4サイイド朝	1414〜1451				
5ロディー朝	1451〜1526				
ムガル帝国	1526〜1858	マラーター王国（同盟）	1674〜1819		

【干支】

干　支 1

1	甲子	かっし•こうし	きのえね	31	甲午	こうご	きのえうま
2	乙丑	いっちゅう•おっちゅう	きのとうし	32	乙未	いつび•おつび	きのとひつじ
3	丙寅	へいいん	ひのえとら	33	丙申	へいしん	ひのえさる
4	丁卯	ていぼう	ひのとう	34	丁酉	ていゆう	ひのととり
5	戊辰	ぼしん	つちのえたつ	35	戊戌	ぼじゅつ	つちのえいぬ
6	己巳	きし	つちのとみ	36	己亥	きがい	つちのとい
7	庚午	こうご	かのえうま	37	庚子	こうし	かのえね
8	辛未	しんび	かのとひつじ	38	辛丑	しんちゅう	かのとうし
9	壬申	じんしん	みずのえさる	39	壬寅	じんいん	みずのえとら
10	癸酉	きゆう	みずのととり	40	癸卯	きぼう	みずのとう
11	甲戌	こうじゅつ	きのえいぬ	41	甲辰	こうしん	きのえたつ
12	乙亥	いつがい•おつがい	きのとい	42	乙巳	いっし•おっし	きのとみ
13	丙子	へいし	ひのえね	43	丙午	へいご	ひのえうま
14	丁丑	ていちゅう	ひのとうし	44	丁未	ていび	ひのとひつじ
15	戊寅	ぼいん	つちのえとら	45	戊申	ぼしん	つちのえさる
16	己卯	きぼう	つちのとう	46	己酉	きゆう	つちのととり
17	庚辰	こうしん	かのえたつ	47	庚戌	こうじゅつ	かのえいぬ
18	辛巳	しんし	かのとみ	48	辛亥	しんがい	かのとい
19	壬午	じんご	みずのえうま	49	壬子	じんし	みずのえね
20	癸未	きび	みずのとひつじ	50	癸丑	きちゅう	みずのとうし
21	甲申	こうしん	きのえさる	51	甲寅	こういん	きのえとら
22	乙酉	いつゆう•おつゆう	きのととり	52	乙卯	いつぼう•おつぼう	きのとう
23	丙戌	へいじゅつ	ひのえいぬ	53	丙辰	へいしん	ひのえたつ
24	丁亥	ていがい	ひのとい	54	丁巳	ていし	ひのとみ
25	戊子	ぼし	つちのえね	55	戊午	ぼご	つちのえうま
26	己丑	きちゅう	つちのとうし	56	己未	きび	つちのとひつじ
27	庚寅	こういん	かのえとら	57	庚申	こうしん	かのえさる
28	辛卯	しんぼう	かのとう	58	辛酉	しんゆう	かのととり
29	壬辰	じんしん	みずのえたつ	59	壬戌	じんじゅつ	みずのえいぬ
30	癸巳	きし	みずのとみ	60	癸亥	きがい	みずのとい

【江戸幕府】

江戸幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	徳川家康	松平広忠	水野氏お大	1603～1605	1616
2	徳川秀忠	徳川家康	西郷氏お愛	1605～1623	1632
3	徳川家光	徳川秀忠	浅井氏お江	1623～1651	1651
4	徳川家綱	徳川家光	増山氏お楽	1651～1680	1680
5	徳川綱吉	徳川家光	本庄氏お玉	1680～1709	1709
6	徳川家宣	(甲府)徳川綱重	田中氏おほら	1709～1712	1712
7	徳川家継	徳川家宣	勝田氏おきよ	1713～1716	1716
8	徳川吉宗	(紀伊)徳川光貞	巨勢氏おゆり	1716～1745	1751
9	徳川家重	徳川吉宗	大久保氏おすま	1745～1760	1761
10	徳川家治	徳川家重	梅渓氏お幸	1760～1786	1786
11	徳川家斉	一橋治済	岩本氏おとみ	1787～1837	1841
12	徳川家慶	徳川家斉	押田氏お楽	1837～1853	1853
13	徳川家定	徳川家慶	跡部氏おみつ	1853～1858	1858
14	徳川家茂	(紀伊)徳川斉順	松平氏みさ	1858～1866	1866
15	徳川慶喜	(水戸)徳川斉昭	有栖川宮吉子	1866～1867	1913

【オリンピック競技】

オリンピック夏季大会

回	開催年	開　催　地	回	開催年	開　催　地
1	1896	アテネ	18	1964	東京
2	1900	パリ	19	1968	メキシコ-シティー
3	1904	セント-ルイス	20	1972	ミュンヘン
4	1908	ロンドン	21	1976	モントリオール
5	1912	ストックホルム	22	1980	モスクワ
6	1916	ベルリン（中止）	23	1984	ロサンゼルス
7	1920	アントワープ	24	1988	ソウル
8	1924	パリ	25	1992	バルセロナ
9	1928	アムステルダム	26	1996	アトランタ
10	1932	ロサンゼルス	27	2000	シドニー
11	1936	ベルリン			
12	1940	東京（中止）			
13	1944	ロンドン（中止）			
14	1948	ロンドン			
15	1952	ヘルシンキ			
16	1956	メルボルン			
		ストックホルム			
17	1960	ローマ			

オリンピック冬季大会

回	開催年	開　催　地
1	1924	シャモニー-モンブラン
2	1928	サン-モリッツ
3	1932	レーク-プラシッド
4	1936	ガルミッシュ-パルテンキルヘン
5	1948	サン-モリッツ
6	1952	オスロ
7	1956	コルチナ-ダンペッツォ
8	1960	スコー-ヴァレー
9	1964	インスブルック
10	1968	グルノーブル
11	1972	札幌
12	1976	インスブルック
13	1980	レーク-プラシッド
14	1984	サラエヴォ
15	1988	カルガリー
16	1992	アルベールヴィル
17	1994	リレハンメル
18	1998	長野

【音名】

音　名

国　名	本　位　音							変位音(ハの場合)	
日本	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	嬰ハ	変ハ
英米	C	D	E	F	G	A	B	C–sharp	C–flat
ドイツ	C	D	E	F	G	A	H	Cis	Ces
イタリア	do	re	mi	fa	sol	la	si	do diesis	do bemolle
フランス	ut	ré	mi	fa	sol	la	si	ut dièse	ut bémol

【オリンポス】

オリンポスの十二神

神　名	ローマ名
ゼウス	ジュピター
ヘラ	ジュノー
ポセイドン	ネプチューン
アポロン	アポロ
アルテミス	ダイアナ
ヘファイストス	ウルカヌス
アフロディテ	ヴィーナス
アレス	マース
アテナ	ミネルヴァ
ヘルメス	マーキュリー
デメテル	ケレス
ヘスティアまたはディオニュソス	バッカス

【階級】

生物の分類階級

階　級	英語**	階　級	英語**
界	kingdom	上科	
亜界		科	family
門	phylum(動), division(植)	亜科	
		連(族)	tribe
亜門		亜連(族)	
上綱		属	genus
綱	class	亜属	
亜綱		節	section
下綱		系	series
コホート	cohort	種	species
上目*		亜種	
目	order	変種	variety
群*	group	品種(型)	form
亜目			

* 動物のみ.　** 亜は sub, 上は super, 下は infra をそれぞれの語頭に付す.

【楽器】

楽 器 の 種 類

打楽器	金属製	シンバル・トライアングル・ボナン・銅鑼(どら)・鐘・鉄琴・鈴・びやぼん
	木・竹製	カスタネット・拍子木・木琴(シロホン)・マリンバ・木魚・びんざさら・ムックリ・マラカス
	膜打楽器	太鼓・ドラム・タンバリン・ティンパニ・コンガ・ボンゴ・タブラ・ムリダンガム・大鼓・小鼓
弦楽器	擦弦楽器	バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ラバーブ・胡弓・二胡・馬頭琴・サーランギ
	撥弦楽器	三味線・月琴・バラライカ・琵琶・リュート・ウード・シタール・ギター・マンドリン・ウクレレ・ハープ・箜篌(くご)・サウン・リラ・キタラ・チター・瑟(しつ)・箏・カーヌーン
	打弦楽器	ツィンバロム・洋琴(ヤンチン)
管楽器	横 笛	フルート・ピッコロ・竜笛(りゅうてき)・高麗笛(こまぶえ)・神楽笛・能管・篠笛(しのぶえ)
	縦 笛	オーボエ・クラリネット・サキソフォン・リコーダー・ケーナ・スールナイ・チャルメラ・尺八・簫(しょう)・篳篥(ひちりき)
	らっぱ	トランペット・コルネット・ホルン・トロンボーン・チューバ
	その他	オカリナ・塤(けん)
鍵盤楽器	アコースティック(音響的)	オルガン・ハープシコード・ピアノ・アコーディオン・チェレスタ
	エレクトロニック(電子的)	電子オルガン・シンセサイザー・オンドマルトノ
その他		ハーモニカ・オルゴール・大正琴・ハーディ-ガーディ

【鎌倉幕府】

鎌倉幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	源　頼朝	源　義朝	熱田大宮司季範娘	1192～1199	1199
2	源　頼家	源　頼朝	北条政子	1202～1203	1204
3	源　実朝	源　頼朝	北条政子	1203～1219	1219
4	藤原頼経	九条道家	西園寺公経娘掄子	1226～1244	1256
5	藤原頼嗣	藤原頼経	藤原親能娘近子	1244～1252	1256
6	宗尊親王	後嵯峨天皇	平　棟基娘棟子	1252～1266	1274
7	惟康親王	宗尊親王	近衛兼経娘宰子	1266～1289	1326
8	久明親王	後深草天皇	三条公親娘房子	1289～1308	1328
9	守邦親王	久明親王	惟康親王娘	1308～1333	1333

【紙】

紙(JIS 仕上げ寸法)

番号	A 列(㎜)	B 列(㎜)
0	841×1189	1030×1456
1	594× 841	728×1030
2	420× 594	515× 728
3	297× 420	364× 515
4	210× 297	257× 364
5	148× 210	182× 257
6	105× 148	128× 182
7	74× 105	91× 128
8	52× 74	64× 91
9	37× 52	45× 64
10	26× 37	32× 45

【カンバス】

カンバス 1 の号数基準(単位:㎝)

号	F	P	M
0	17.9×13.9 (18×14)	17.9×11.7 (18×12)	17.9×10.0
1	22.1×16.6 (22×16)	22.1×13.9 (22×14)	22.1×11.7 (22×12)
2	24.0×19.0 (24×19)	24.0×16.1 (24×16)	24.0×13.9 (24×14)
5	35.0×27.0 (35×27)	35.0×24.3 (35×24)	35.0×22.7 (35×22)
10	53.0×45.5 (55×46)	53.0×40.9 (55×38)	53.0×33.3 (55×33)
50	116.7×90.9 (116×89)	116.7×80.3 (116×81)	116.7×72.7 (116×73)
100	162.1×130.3 (162×130)	162.1×112.1 (162×114)	162.1×97.0 (162×97)

F＝Figure(人物型), P＝Paysage(風景型), M＝Marine(海景型)
上段＝日本, 下段＝欧米

【九卿】

九　卿 1

周　代	職　務	六官
少師(しょうし)	太師の副	
少傅(しょうふ)	太傅の副	
少保(しょうほ)	太保の副	
冢宰(ちょうさい)	宰相	天官
司徒(しと)	戸口・財政・教育	地官
宗伯(そうはく)	礼楽・祭祀	春官
司馬(しば)	軍政	夏官
司寇(しこう)	刑罰・警察	秋官
司空(しくう)	土地・民事	冬官

九　卿 2

漢　代	別　称	唐代	職　務
太常(たいじょう)	奉常	太常	宗廟の祭祀・礼楽
光禄勲(こうろくくん)	郎中令	光禄	宮中の警護
衛尉(えいい)		衛尉	宮門の警護
太僕(たいぼく)		太僕	車馬・牧畜
廷尉(ていい)	大理	大理	訴訟・刑罰
大鴻臚(だいこうろ)	典客	鴻臚	外客の応接
宗正(そうせい)		宗正	皇族の管理
少府(しょうふ)		太府	帝室の財政
大司農(だいしのう)	治粟内史	司農	国家の財政

【九星】

九　星

名　称	五行	方位	八卦
一白(いっぱく)	水星	北	坎(かん)
二黒(じこく)	土星	西南	坤(こん)
三碧(さんぺき)	木星	東	震(しん)
四緑(しろく)	木星	東南	巽(そん)
五黄(ごおう)	土星	中央	
六白(ろっぱく)	金星	西北	乾(けん)
七赤(しちせき)	金星	西	兌(だ)
八白(はっぱく)	土星	東北	艮(ごん)
九紫(きゅうし)	火星	南	離(り)

【強弱記号】

強弱記号の例

記　号	標　語		意　味
ppp	ピアニッシッシモ	pianississimo	*pp*より弱く
pp	ピアニッシモ	pianissimo	*p*より弱く
p	ピアノ	piano	弱く
mp	メゾ-ピアノ	mezzo piano	やや弱く
mf	メゾ-フォルテ	mezzo forte	やや強く
f	フォルテ	forte	強く
ff	フォルティッシモ	fortissimo	*f*より強く
fff	フォルティッシッシモ	fortississimo	*ff*より強く
fp	フォルテピアノ	fortepiano	強く，ただちに弱く
sf, *sfz*	スフォルツァンド	sforzando	その音を特に強く
>, ∧	アクセント	accent	その音を強く
cresc.	クレッシェンド	crescendo	次第に強く
dim.	ディミヌエンド	diminuendo	次第に弱く
decresc.	デクレッシェンド	decrescendo	次第に弱く

【行政】

【共役角】

【結婚記念日】

結婚記念日(記念式)

1 年目	紙婚式	15 年目	水晶婚式
2 年目	綿婚式	20 年目	磁器婚式
3 年目	革婚式	25 年目	銀婚式
4 年目	花婚式	30 年目	真珠婚式
5 年目	木婚式	35 年目	珊瑚婚式
6 年目	鉄婚式	40 年目	ルビー婚式
7 年目	銅婚式	45 年目	サファイア婚式
8 年目	青銅婚式	50 年目	金婚式
9 年目	陶器婚式	55 年目	エメラルド婚式
10 年目	錫婚式	75 年(または 60 年)目	ダイヤモンド婚式

【ギリシア文字】

ギ リ シ ア 文 字

大文字	小文字	名　称	大文字	小文字	名　称
A	α	アルファ	N	ν	ニュー
B	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー(グザイ)
Γ	γ	ガンマ	O	o	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー(パイ)
E	ε	エプシロン(イプシロン)	P	ρ	ロー
Z	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς	シグマ
H	η	エータ(イータ)	T	τ	タウ
Θ	θ	テータ(シータ)	Υ	υ	ユプシロン
I	ι	イオータ(イオタ)	Φ	ϕ	フィー(ファイ)
K	κ	カッパ	X	χ	キー(カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー(プサイ)
M	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

括弧内は自然科学での慣用読み

【甲州街道】

甲州街道(宿駅一覧)

〔 〕内は交代または片道継立ての宿

【酵素】

酵素の分類

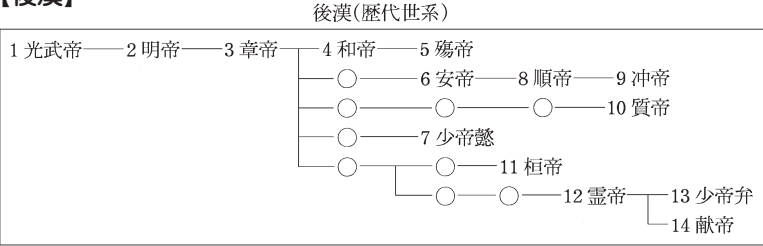
大分類•作用	主な酵素	大分類•作用	主な酵素
1 酸化還元酵素(オキシドレダクターゼ) 酸化，還元	脱水素酵素(デヒドロゲナーゼ)，酸化酵素(オキシダーゼ)，酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)	4 脱離酵素(リアーゼ) 基質から特定の官能基を取除く	脱カルボキシル酵素(デカルボキシラーゼ)，カルボキシル化酵素(カルボキシラーゼ)，アルドラーゼ
2 転移酵素(トランスフェラーゼ) 基質の特定の官能基を他の基質に移す	アミノ基転移酵素(トランスアミナーゼ)，アセチル基転移酵素(トランスアセチラーゼ)，キナーゼ	5 異性化酵素(イソメラーゼ) 特定の分子を異性体に変換する	ラセミ化酵素(ラセマーゼ)，エピ化酵素(エピメラーゼ)，ムターゼ
3 加水分解酵素(ヒドロラーゼ) 加水分解	蛋白質分解酵素(プロテアーゼ)，リパーゼ，ホスファターゼ，アミダーゼ	6 合成酵素(リガーゼ•シンテターゼ) 二つの基質を結合させる	アセチル CoA 合成酵素，ピルビン酸カルボキシル化酵素，アミノアシル tRNA 合成酵素

【皇朝十二銭】

皇朝十二銭

名称	発行年
1 和同開珎(わどうかいちん)	708
2 万年通宝(まんねんつうほう)	760
3 神功開宝(じんこうかいほう)	765
4 隆平永宝(りゅうへいえいほう)	796
5 富寿神宝(ふうじゅしんぽう)	818
6 承和昌宝(じょうわしょうほう)	835
7 長年大宝(ちょうねんたいほう)	848
8 饒益神宝(じょうえきしんぽう)	859
9 貞観永宝(じょうがんえいほう)	870
10 寛平大宝(かんぴょうたいほう)	890
11 延喜通宝(えんぎつうほう)	907
12 乾元大宝(けんげんたいほう)	958
開基勝宝(かいきしょうほう)	760(金銭)
大平元宝(たいへいげんぽう)	760(銀銭)

【後漢】

後漢(歴代世系)

【五行】

五行配当

五行	時季	方位	色	十干	十二支	星
木	春	東	青	甲•乙	寅•卯	歳星(木星)
火	夏	南	赤(朱)	丙•丁	巳•午	熒惑(火星)
土	土用	中央	黄	戊•己	辰•未•戌•丑	鎮星(土星)
金	秋	西	白(素)	庚•辛	申•酉	太白(金星)
水	冬	北	黒(玄)	壬•癸	亥•子	辰星(水星)

【国際収支】

国際収支

経常収支	貿易・サービス収支
	所得収支
	経常移転収支
資本収支	投資収支
	その他資本収支
外貨準備高増減	
誤差脱漏	

【国際単位系】

SI 基本単位

量	名　称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
光度	カンデラ	cd
物質量	モル	mol
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

SI 接頭語

名　称	記号	倍数
ヨタ (yotta-)	Y	10^{24}
ゼタ (zetta-)	Z	10^{21}
エクサ (exa-)	E	10^{18}
ペタ (peta-)	P	10^{15}
テラ (tera-)	T	10^{12}
ギガ (giga-)	G	10^{9}
メガ (mega-)	M	10^{6}
キロ (kilo-)	k	10^{3}
ヘクト (hecto-)	h	10^{2}
デカ (deca-)	da	10^{1}
デシ (deci-)	d	10^{-1}
センチ (centi-)	c	10^{-2}
ミリ (milli-)	m	10^{-3}
マイクロ (micro-)	μ	10^{-6}
ナノ (nano-)	n	10^{-9}
ピコ (pico-)	p	10^{-12}
フェムト (femto-)	f	10^{-15}
アト (atto-)	a	10^{-18}
ゼプト (zepto-)	z	10^{-21}
ヨクト (yocto-)	y	10^{-24}

【国民の祝日】

国 民 の 祝 日

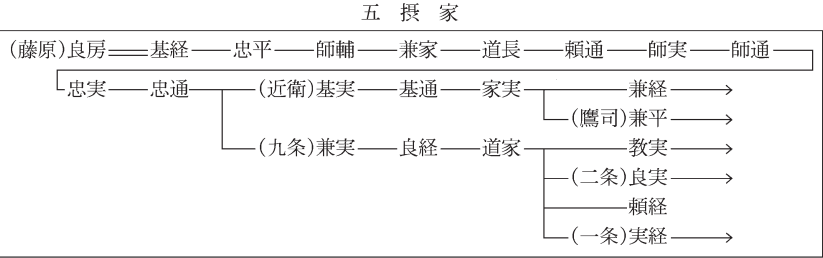
名　称	月　日	備　考
元日	1月　1日	
成人の日	1月第2月曜日	
建国記念の日	2月11日	1966年制定
春分の日	3月21日頃	
みどりの日	4月29日	1989年制定
憲法記念日	5月　3日	
こどもの日	5月　5日	
海の日	7月20日	1995年制定
敬老の日	9月15日	1966年制定
秋分の日	9月23日頃	
体育の日	10月第2月曜日	1966年制定
文化の日	11月　3日	
勤労感謝の日	11月23日	
天皇誕生日	12月23日	1989年制定

【五胡十六国】

五胡十六国

五　胡	十 六 国	年代
匈奴(きょうど)	前趙(漢)	304〜329
	北涼	397〜439
	夏(大夏)	407〜431
羯(けつ)	後趙	319〜351
鮮卑(せんぴ)	前燕	337〜370
	後燕	384〜409
	西秦	385〜431
	南涼	397〜414
	南燕	398〜410
氐(てい)	成(大成・漢)	304〜347
	前秦	351〜394
	後涼	386〜403
羌(きょう)	後秦	384〜417
(漢族)	前涼	301〜376
	西涼	400〜421
	北燕	409〜436

【五摂家】

【五代】

五 代

王朝名	年代
後梁	907～923
後唐	923～936
後晋	936～946
後漢	947～950
後周	951～960

【五代十国】

十国

国名	年代
呉	902～937
南唐	937～975
前蜀	907～925
後蜀	934～965
荊南	907～963
楚	907～951
呉越	907～978
閩(びん)	909～945
南漢	917～971
北漢	951～979

【西国三十三所】

西国三十三所

府県名	寺　名	府県名	寺　名
和歌山県	1 青岸渡寺	京都府	18 頂法寺(六角堂)
	2 紀三井寺(金剛宝寺)		19 行願寺(革堂)
	3 粉河(こかわ)寺		20 善峰(よしみね)寺
大阪府	4 施福寺(槙尾寺)		21 穴太(あなお)寺
	5 葛(藤)井寺(剛琳寺)	大阪府	22 総持寺
奈良県	6 壺坂寺(南法華寺)		23 勝尾(かつお)寺
	7 岡寺(竜蓋寺)	兵庫県	24 中山寺
	8 長谷寺(初瀬寺)		25 清水寺
	9 興福寺南円堂		26 一乗寺
京都府	10 三室戸寺		27 円教寺
	11 上醍醐寺	京都府	28 成相(なりあい)寺
滋賀県	12 正法(しょうぼう)寺(岩間寺)		29 松尾(まつのお)寺
	13 石山寺	滋賀県	30 宝厳(ほうごん)寺
	14 三井寺(園城寺)		31 長命寺
京都府	15 観音寺(今熊野)		32 観音正寺
	16 清水(きよみず)寺	岐阜県	33 華厳寺
	17 六波羅蜜寺		

【三角関数】

【錯角】

【四国八十八箇所】

四国八十八箇所

県名	寺院名	県名	寺院名
徳島県	1 霊山寺	愛媛県	45 岩屋寺
	2 極楽寺		46 浄瑠璃寺
	3 金泉寺		47 八坂寺
板野	4 大日寺		48 西林寺
	5 地蔵寺		49 浄土寺
	6 安楽寺		50 繁多寺
	7 十楽寺		51 石手寺
	8 熊谷寺		52 太山寺
	9 法輪寺		53 円明寺
	10 切幡寺		54 延命寺
	11 藤井寺		55 南光坊
	12 焼山寺		56 泰山寺
徳島市	13 大日寺		57 栄福寺
	14 常楽寺		58 仙遊寺
	15 国分寺		59 国分寺
	16 観音寺		60 横峰寺
	17 井戸寺		61 香園寺
	18 恩山寺		62 宝寿寺
	19 立江寺		63 吉祥寺
	20 鶴林寺		64 前神寺
	21 太竜寺		65 三角寺
	22 平等寺	徳島県	66 雲辺寺
	23 薬王寺	香川県	67 大興寺
高知県	24 最御崎寺		68 神恵院
	25 津照寺		69 観音寺
	26 金剛頂寺		70 本山寺
	27 神峰寺		71 弥谷寺
	28 大日寺		72 曼荼羅寺
	29 国分寺		73 出釈迦寺
	30 善楽寺		74 甲山寺
	安楽寺		75 善通寺
	31 竹林寺		76 金蔵(倉)寺
	32 禅師峰寺		77 道隆寺
	33 雪蹊寺		78 郷照寺
	34 種間寺		79 高照院
	35 清滝寺		80 国分寺
	36 青竜寺		81 白峰寺
	37 岩本寺		82 根香寺
	38 金剛福寺		83 一宮寺
	39 延光寺		84 屋島寺
愛媛県	40 観自在寺		85 八栗寺
	41 竜光寺		86 志度寺
	42 仏木寺		87 長尾寺
	43 明石寺		88 大窪寺
	44 大宝寺		

【十干】

十干

甲	こう	きのえ	木の兄
乙	おつ	きのと	木の弟
丙	へい	ひのえ	火の兄
丁	てい	ひのと	火の弟
戊	ぼ	つちのえ	土の兄
己	き	つちのと	土の弟
庚	こう	かのえ	金の兄
辛	しん	かのと	金の弟
壬	じん	みずのえ	水の兄
癸	き	みずのと	水の弟

【執権】

執権3

代数	氏名	在職期間	没年
1	北条時政	1203～1205	1215
2	北条義時	1205～1224	1224
3	北条泰時	1224～1242	1242
4	北条経時	1242～1246	1246
5	北条時頼	1246～1256	1263
6	北条長時	1256～1264	1264
7	北条政村	1264～1268	1273
8	北条時宗	1268～1284	1284
9	北条貞時	1284～1301	1311
10	北条師時	1301～1311	1311
11	北条(大仏)宗宣	1311～1312	1312
12	北条熙時	1312～1315	1315
13	北条基時	1315	1333
14	北条高時	1316～1326	1333
15	北条(金沢)貞顕	1326	1333
16	北条(赤橋)守時	1326～1333	1333

【四等官】

四等官

	長官（かみ）	次官（すけ）	判官（じょう）	主典（さかん）
神祇官	伯	副	祐	史
太政官	(太政大臣), 左大臣, 右大臣	大納言, 中納言	少納言, 弁	外記, 史
省	卿	輔	丞	録
坊・職	大夫	亮	進	属
寮	頭	助	允	属
台	尹	弼	忠	疏
五衛府	督	佐	尉	志
大宰府	帥	弐	監	典
国	守	介	掾	目
郡	大領	少領	主政	主帳
司	正	(佑)	佑	令史
内侍司	尚侍	典侍	掌侍	
監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
家令	令	扶	従	書吏

【尺貫法】

長さ

1尺		30.30 cm
1間	6尺	1.818 m
1町	60間	109.1 m
1里	36町	3.927 km

体積

1合		180.4 mℓ
1升	10合	1.804 ℓ
1斗	10升	18.04 ℓ
1石	10斗	180.4 ℓ

面積

1坪		3.306 ㎡
1反	300坪	991.7 ㎡
1町	10反	9917 ㎡

質量

1匁		3.75 g
1斤	160匁	600 g
1貫	1000匁	3.75 kg

【私年号】

私年号(日本の主な私年号)

名　称	使　用　例	名　称	使　用　例
法興(ほうこう)	6年(596)•31年(621)	延徳(えんとく)	2•3•5年　2年壬午•3年壬午(1462)など
白鳳(はくほう)	4(653)•5(654)•12(661)•13(662)•16(665)年 白雉の異称	正亨(しょうこう)	2年(1490)
		永伝(えいでん)	元年(1490)
朱雀(すざく)	元年(686)　朱鳥の異称	福徳(ふくとく)	元•2•3•4年　辛亥年(1491)ほかに使用
保寿(ほうじゅ)	元年　1166〜69年頃使用	徳応(とくおう)	元年(1501または1441)
和勝(わしょう)	元年(1190)	子平(しへい)	5年(1506)
迎雲(げいうん)	元年　1190年もしくはそれ以前使用	弥勒(みろく)	元•2•3年　丁卯年(1507)ほかに使用
建教(けんきょう)	元年(1225)	加平(かへい)	元年(1517)
白鹿(はくろく)	元年(1345)•2年(1346)	永喜(えいき)	2年(1527)
応治(おうじ)	元年(1345)	宝寿(ほうじゅ)	2年(1534)
至大(しだい)	元年　1375〜79年,または84〜87年頃使用	命禄(めいろく)	元•2•3年(1540〜42)
永宝(えいほう)	元年(1388)	光永(こうえい)	2年(1577または81または90)
興徳(こうとく)	元年(1395)	大道(だいどう)	元•2•10年　1609年頃以降使用,大筒とも書く
天靖(てんせい)	元年(1443)	正中(しょうちゅう)	2年(1622)
享正(きょうせい)	2(1455)•3(1456)•4(1457)年	神治(しんじ)	元年(1867)
永楽(えいらく)	元年(1461)		

( )内は相当する西暦年次．年次判定の困難なものは注記した．

【周期表】

元素の周期表

周期＼族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1H 水素																	2He ヘリウム
2	3Li リチウム	4Be ベリリウム											5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素	10Ne ネオン
3	11Na ナトリウム	12Mg マグネシウム											13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素	18Ar アルゴン
4	19K カリウム	20Ca カルシウム	21Sc スカンジウム	22Ti チタン	23V バナジウム	24Cr クロム	25Mn マンガン	26Fe 鉄	27Co コバルト	28Ni ニッケル	29Cu 銅	30Zn 亜鉛	31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素	36Kr クリプトン
5	37Rb ルビジウム	38Sr ストロンチウム	39Y イットリウム	40Zr ジルコニウム	41Nb ニオブ	42Mo モリブデン	43Tc テクネチウム	44Ru ルテニウム	45Rh ロジウム	46Pd パラジウム	47Ag 銀	48Cd カドミウム	49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素	54Xe キセノン
6	55Cs セシウム	56Ba バリウム	57〜71 ランタノイド	72Hf ハフニウム	73Ta タンタル	74W タングステン	75Re レニウム	76Os オスミウム	77Ir イリジウム	78Pt 白金	79Au 金	80Hg 水銀	81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン	86Rn ラドン
7	87Fr フランシウム	88Ra ラジウム	89〜103 アクチノイド	104Rf ラザホージウム	105Db ドブニウム	106Sg シーボーギウム	107Bh ボーリウム	108Hs ハッシウム	109Mt マイトネリウム									

元素記号の左の数字は原子番号

ランタノイド	57La ランタン	58Ce セリウム	59Pr プラセオジム	60Nd ネオジム	61Pm プロメチウム	62Sm サマリウム	63Eu ユウロピウム	64Gd ガドリニウム	65Tb テルビウム	66Dy ジスプロシウム	67Ho ホルミウム	68Er エルビウム	69Tm ツリウム	70Yb イッテルビウム	71Lu ルテチウム
アクチノイド	89Ac アクチニウム	90Th トリウム	91Pa プロトアクチニウム	92U ウラン	93Np ネプツニウム	94Pu プルトニウム	95Am アメリシウム	96Cm キュリウム	97Bk バークリウム	98Cf カリホルニウム	99Es アインスタイニウム	100Fm フェルミウム	101Md メンデレビウム	102No ノーベリウム	103Lr ローレンシウム

【十三経注疏】

十三経注疏

十三経	巻数	注・伝・箋・解	疏
周易(易経)	10	王弼(おうひつ)(魏) 注 韓康伯(晋) 注	孔穎達(くえいたつ)(唐)
尚書(書経)	20	孔安国(漢) 伝	孔穎達(唐)
毛詩(詩経)	70	毛亨(もうこう)(漢) 伝 鄭玄(じょうげん)(漢) 箋	孔穎達(唐)
周礼	42	鄭玄(漢) 注	賈公彦(かこうげん)(唐)
儀礼	50	鄭玄(漢) 注	賈公彦(唐)
礼記	63	鄭玄(漢) 注	孔穎達(唐)
春秋左氏伝	60	杜預(とよ)(晋) 集解	孔穎達(唐)
春秋公羊伝	28	何休(漢) 解詁	徐彦(じょげん)(唐)
春秋穀梁伝	20	范寧(晋) 集解	楊士勛(ようしくん)(唐)
孝経	9	玄宗(唐) 注	邢昺(けいへい)(宋)
論語	20	何晏(かあん)(魏) 集解	邢昺(宋)
孟子	14	趙岐(漢) 注	孫奭(そんせき)(宋)
爾雅	11	郭璞(かくはく)(晋) 注	邢昺(宋)

【十二門】

十二門(平安京大内裏，外郭十二門)

		延喜式の名称	貞観式の名称
南面	東門	美福門(びふくもん)	壬生門(みぶもん)
	中門	朱雀門(すざくもん)	大伴門(おおともももん)
	西門	皇嘉門(こうかもん)	若犬養門(わかいぬかいもん)
西面	南門	談天門(だんてんもん)	玉手門(たまでもん)
	中門	藻壁門(そうへきもん)	佐伯門(さえきもん)
	北門	殷富門(いんぷもん)	伊福部門(いふくべもん)
北面	西門	安嘉門(あんかもん)	海犬養門(あまいぬかいもん)
	中門	偉鑒門(いかんもん)	猪使門(いかいもん)
	東門	達智門(たっちもん)	丹治比門(たじひもん)
東面	北門	陽明門(ようめいもん)	山門(やまもん)
	中門	待賢門(たいけんもん)	建部門(たけべもん)
	南門	郁芳門(いくほうもん)	的門(いくはもん)

【十三仏】

十三仏

仏事	仏・菩薩
初七日	不動明王
二七日	釈迦如来
三七日	文殊菩薩
四七日	普賢菩薩
五七日	地蔵菩薩
六七日	弥勒菩薩
七七日	薬師如来
百ヵ日	観世音菩薩
一周忌	勢至菩薩
三回忌	阿弥陀如来
七回忌	阿閦如来
十三回忌	大日如来
三十三回忌	虚空蔵菩薩

【十二神将】

十二神将

夜叉大将	本地仏	刻神
1 宮毘羅(くびら)	弥勒	子
2 伐折羅(ばざら)	勢至	丑
3 迷企羅(めきら)	弥陀	寅
4 安底羅(あんちら)	観音	卯
5 頞儞羅(あにら)	如意輪	辰
6 珊底羅(さんちら)	虚空蔵	巳
7 因達羅(いんだら)	地蔵	午
8 波夷羅(はいら)	文殊	未
9 摩虎羅(まこら)	大威徳	申
10 真達羅(しんだら)	普賢	酉
11 招杜羅(しょうとら)	大日	戌
12 毘羯羅(びから)	釈迦	亥

【十二律】

十二律

中国	日本			洋楽の近似音名
	雅楽	義太夫節	その他	
黄鐘(こうしょう)	壱越(いちこつ)	一本	六本	ニ
大呂(たいりょ)	断金(たんぎん)	二本	七本	嬰ニ(変ホ)
太簇(たいそう)	平調(ひょうじょう)	三本	八本	ホ
夾鐘(きょうしょう)	勝絶(しょうぜつ)	四本	九本	ヘ
姑洗(こせん)	下無(しもむ)	五本	十本	嬰ヘ(変ト)
仲呂(ちゅうりょ)	双調(そうじょう)	六本	十一本	ト
蕤賓(すいひん)	鳧鐘(ふしょう)	七本	十二本	嬰ト(変イ)
林鐘(りんしょう)	黄鐘(おうしき)	八本	一本	イ
夷則(いそく)	鸞鏡(らんけい)	九本	二本	嬰イ(変ロ)
南呂(なんりょ)	盤渉(ばんしき)	十本	三本	ロ
無射(ぶえき)	神仙(しんせん)	十一本	四本	ハ
応鐘(おうしょう)	上無(かみむ)	十二本	五本	嬰ハ(変ニ)

【十八檀林】

十八檀林

旧国・地域名	寺院名
相模・鎌倉	光明寺
武蔵・鴻巣	勝願寺
常陸・瓜連	常福寺
江戸・芝	増上寺
下総・飯沼	弘経寺
下総・小金	東漸寺
下総・生実	大厳寺
武蔵・川越	蓮馨寺
武蔵・滝山	大善寺
武蔵・岩槻	浄国寺
常陸・江戸崎	大念寺
上野・館林	善導寺
下総・結城	弘経寺
江戸・本所	霊山寺
江戸・下谷	幡随院
江戸・小石川	伝通院
上野・新田	大光院
江戸・深川	霊巌寺

【植物帯】

植物帯(本州中部太平洋岸の垂直分布)

高度(m)	植物帯	代表的な植物
	高山草原(高山帯)	ヒゲハリスゲ ハイマツ
2300〜2500		
	針葉樹林帯(亜高山帯)	コメツガ トウヒ シラビソ
1500〜1700		
	夏緑樹林帯(山地帯)	ブナ・ミズナラ クリ・コナラ
500〜700		
	照葉樹林帯(低山帯・丘陵帯)	カシ シイ・タブ
0		

【植物ホルモン】

主な植物ホルモンと作用

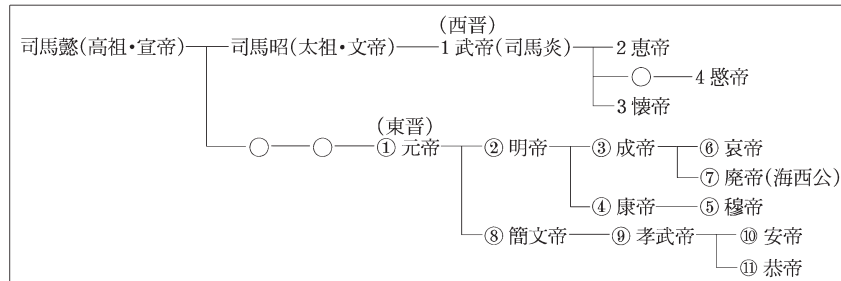
	茎	葉	根	花	芽	果実	休眠	老化
オーキシン(インドール酢酸)	伸長	落葉抑制	発根. 伸長	花芽形成促進	側芽成長抑制	結実. 落果抑制		−
ジベレリン	伸長	成長	伸長	開花促進		結実	−	−
サイトカイニン(カイネチン)	成長	成長			発芽促進	成長	−	−
アブシジン酸		落葉	成長阻害		発芽抑制		+	+
エチレン	肥大	落葉	肥大. 不定根形成			成熟		+
ブラシノリド	伸長							

【諸子百家】

諸　子　百　家

学派	主な学者・思想家または書名
儒家	孔子・曾子・子思・孟子・荀子
道家	老子・列子・荘子・関尹子
墨家	墨子・胡非子・随巣子
法家	申不害・商鞅・慎到・韓非
名家	公孫竜・恵施・尹文子・鄧析(とうせき)
農家	「神農」「野老」「宰氏」
縦横家	蘇秦・張儀
陰陽家	騶衍(鄒衍)(すうえん)・公孫発
兵家	孫武(孫子)・孫臏・呉起(呉子)
小説家	鬻子(いくし)・青史子・師曠(しこう)
雑家	呂不韋・淮南王安・東方朔

【晋】

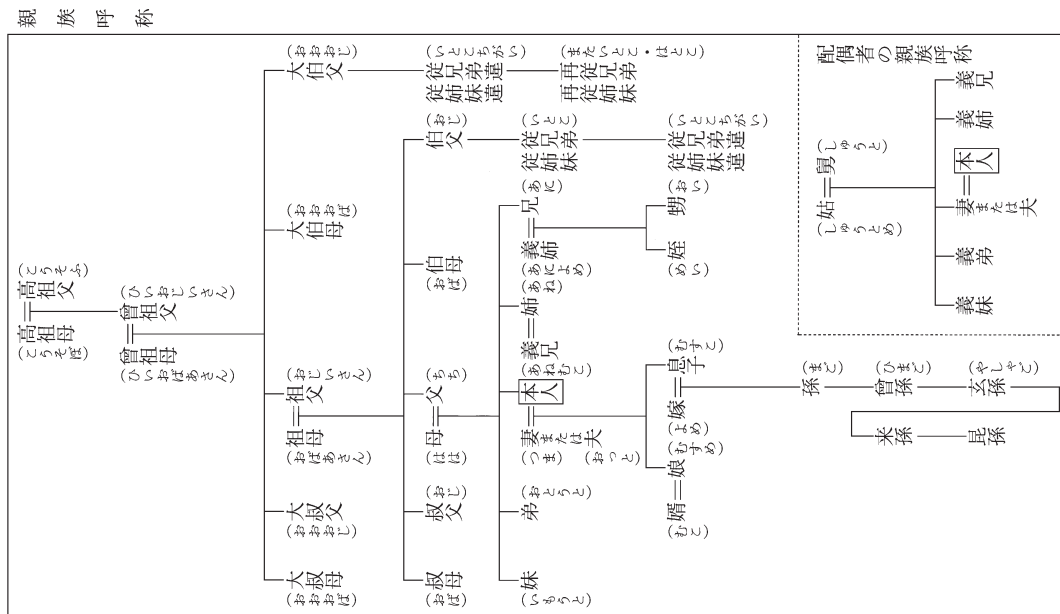
晋2(歴代世系)

【清】

清（歴代世系）

【親族】

親族呼称

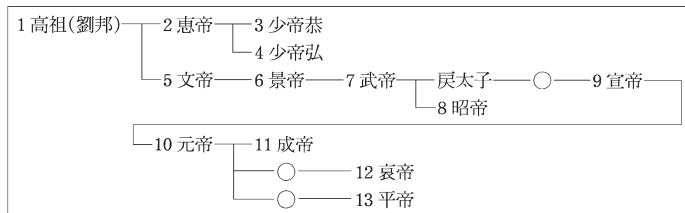
配偶者の親族呼称
舅（しゅうと）＝姑（しゅうとめ）
義兄
義姉
本人
妻または夫
義弟
義妹

高祖父（こうそふ）＝高祖母（こうそぼ）
曾祖父（ひいおじいさん）＝曾祖母（ひいおばあさん）
大伯父（おおおじ）
大伯母（おおおば）
祖父（おじいさん）＝祖母（おばあさん）
大叔父（おおおじ）
大叔母（おおおば）
従兄弟違（いとこちがい）　従姉妹違
再従兄弟（またいとこ・はとこ）　再従姉妹
伯父（おじ）
伯母（おば）
父（ちち）＝母（はは）
叔父（おじ）
叔母（おば）
従兄弟（いとこ）　従姉妹
従兄弟違（いとこちがい）　従姉妹違
兄（あに）＝義姉（あによめ）
甥（おい）
姪（めい）
姉（あね）＝義兄（あねむこ）
本人＝妻（つま）または夫（おっと）
弟（おとうと）
妹（いもうと）
息子（むすこ）＝嫁（よめ）
娘（むすめ）＝婿（むこ）
孫（まご）
曾孫（ひまご）
玄孫（やしゃご）
来孫
昆孫

【震度階級】

気象庁震度階級関連解説表（一部）

震度階級	人　間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない．		
1	屋内にいる人の一部が，わずかな揺れを感じる．		
2	屋内にいる人の多くが，揺れを感じる．眠っている人の一部が，目を覚ます．	電灯などのつり下げ物が，わずかに揺れる．	
3	屋内にいる人のほとんどが，揺れを感じる．恐怖感を覚える人もいる．	棚にある食器類が，音を立てることがある．	電線が少し揺れる．
4	かなりの恐怖感があり，一部の人は，身の安全を図ろうとする．眠っている人のほとんどが，目を覚ます．	つり下げ物は大きく揺れ，棚にある食器類は音を立てる．座りの悪い置物が，倒れることがある．	電線が大きく揺れる．歩いている人も揺れを感じる．自動車を運転していて，揺れに気付く人がいる．
5弱	多くの人が，身の安全を図ろうとする．一部の人は，行動に支障を感じる．	つり下げ物は激しく揺れ，棚にある食器類，書棚の本が落ちることがある．座りの悪い置物の多くが倒れ，家具が移動することがある．	窓ガラスが割れて落ちることがある，電柱が揺れるのがわかる．補強されていないブロック塀が崩れることがある．道路に被害が生じることがある．
5強	非常な恐怖を感じる．多くの人が，行動に支障を感じる．	棚にある食器類，書棚の本の多くが落ちる．テレビが台から落ちることがある．タンスなど重い家具が倒れることがある．変形によりドアが開かなくなることがある．一部の戸が外れる．	補強されていないブロック塀の多くが崩れる．据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある．多くの墓石が倒れる．自動車の運転が困難となり，停止する車が多い．
6弱	立っていることが困難になる．	固定していない重い家具の多くが移動，転倒する．開かなくなるドアが多い．	かなりの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する．
6強	立っていることができず，はわないと動くことができない．	固定していない重い家具のほとんどが移動，転倒する．戸が外れて飛ぶことがある．	多くの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する．補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる．
7	揺れにほんろうされ，自分の意志で行動できない．	ほとんどの家具が大きく移動し，飛ぶものもある．	ほとんどの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する．補強されているブロック塀も破損するものがある．

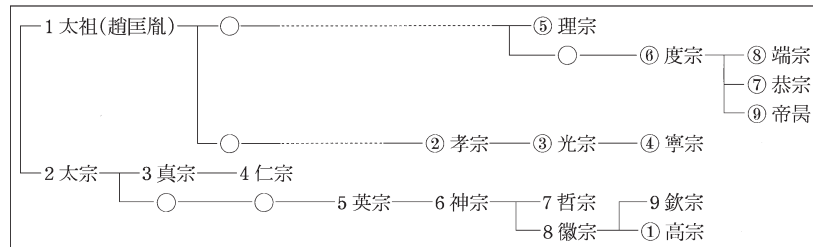
【前漢】

前漢(歴代世系)

【染色体】

生物の染色体数(核相:$2n$)

ヒト	46	ハツカネズミ	40	サツマイモ	90
チンパンジー	48	カンガルー	16	ジャガイモ	48
キリン	30	ニワトリ(♂)	78	アサガオ	30
ウシ・ヤギ	60	ヒキガエル	22	ホウレンソウ	12
トナカイ	70	イモリ	24	タマネギ	16
インドサイ	84	コイ	104	エンドウ	14
ゾウ	56	メダカ	48	ムラサキツユクサ	24
オットセイ	36	アメリカザリガニ	200	イネ	24
ネコ・トラ	38	カイコ	56	オオムギ	14
イヌ・コヨーテ	78	ショウジョウバエ	8	パンコムギ	42
キツネ	36	アカイエカ	6	アカマツ	24
タヌキ	42	ヒドラ	32	イチョウ	24
ナガスクジラ	44	ウマノカイチュウ	2	ゼンマイ	44
ウサギ	44	スイレン	112	コンブ・ワカメ	44
モルモット	64	オシロイバナ	58	クロカビ	4

【宋】

宋(歴代世系)

丸中数字は南宋の歴代

【奏法記号】

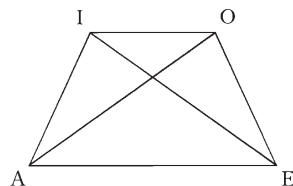
奏法記号の例

記　号	標　　語		意　　味
⌇など	アルペッジョ	arpeggio	和音を分散和音として順々に奏する
gliss.	グリッサンド	glissando	広い音域を急速にすべるように奏する
	コン-ソルディーノ	con sordino	弱音器を使用する
・	スタッカート	staccato	一音一音を切り離して奏する
	ソステヌート	sostenuto	音の長さを十分に保って(速度標語と組合せて)
—　ten.	テヌート	tenuto	ある一個の音の長さを十分に保って
𝅘𝅥𝅮など	トレモロ	tremolo	一音または二音を急速に反復して
pizz.	ピッチカート	pizzicato	指で弦を弾いて奏する
𝄐	フェルマータ	fermata	その音符・休止符を任意の長さで奏する
∨	ブレス	breath	息つぎをする
	ポルタメント	portamento	次の音へ音程をずらせながら移動する
marc.	マルカート	marcato	一音一音はっきりと奏する
	レガート	legato	滑らかに
⌒	スラー	slur	レガートの記号(弦楽器ではひと弓で奏する指示)

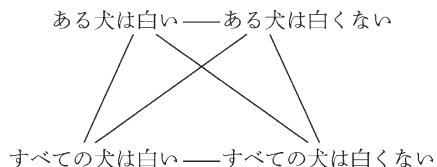
【速度標語】

速 度 標 語 の 例

標　　語		意　　味
ラルゴ	largo	ゆっくりと，豊かに
ラルゲット	larghetto	ゆっくりと(ラルゴよりやや速く)
レント	lento	遅く，ゆっくりと
アダージョ	adagio	ゆるやかに
アンダンテ	andante	歩くくらいの速さで，ゆるやかに
モデラート	moderato	中くらいの速さで
アレグロ	allegro	速く
ヴィヴァーチェ	vivace	生き生きと，きわめて速く
プレスト	presto	急速に
リタルダンド	ritardando(rit.)	次第に遅く
ラレンタンド	rallentando(rall.)	次第に遅く
アッチェレランド	accelerando(accel.)	次第に速く
メノ-モッソ	meno mosso	(今までより)もっと遅く
ア-テンポ	a tempo	もとの速さで
テンポ-プリモ	tempo primo	初めの速さで
アッサイ	assai	十分に，非常に
モルト	molto	きわめて，はなはだ
ポコ	poco	すこし(poco a poco すこしずつ)
ノン-トロッポ	non troppo	あまり…すぎないように

【対当関係】

対当関係の図式

ＡＥ: 反対対当
ＩＯ: 小反対対当
ＡＩ，ＥＯ: 大小対当
ＡＯ，ＥＩ: 矛盾対当

ある犬は白い――ある犬は白くない
すべての犬は白い――すべての犬は白くない

対当関係の例

【大名】

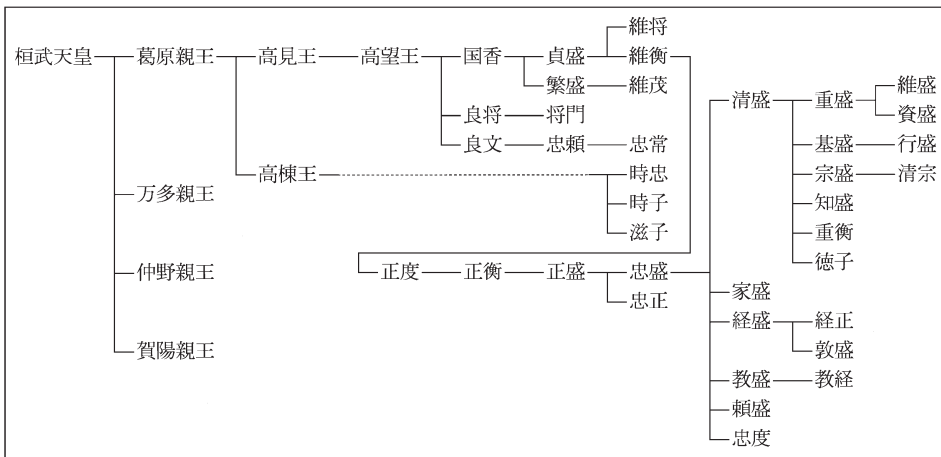
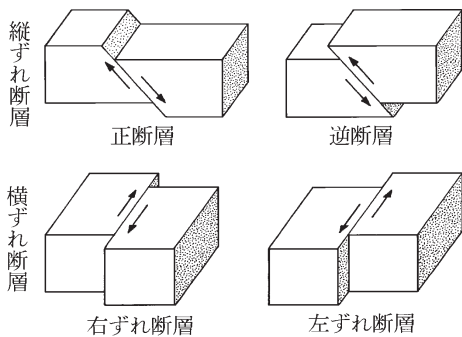
大名（近世大名の分類）

親　藩	三家（尾張・紀伊・水戸）・三卿（田安・一橋・清水）・家門（福井・松江・津山・高松・西条・浜田・会津などの松平と久松）	
譜代大名	井伊・酒井・本多・榊原・大久保・土井・水野・戸田・小笠原・牧野・内藤・稲葉・堀田・阿部・久世・間部・松平（家康以前の分流）ほか	
外様大名	旧族大名	伊達・島津・毛利・上杉・佐竹・鍋島・津軽・南部・松浦・大村・宗・相良ほか
	織豊大名	前田・細川・黒田・浅野・池田（岡山・鳥取）・山内・蜂須賀・藤堂・仙石・有馬ほか

【平】

平（桓武平氏略系図）
桓武天皇
葛原親王
万多親王
仲野親王
賀陽親王
高見王
高棟王
高望王
国香
良将
良文
貞盛
繁盛
将門
忠頼
維将
維衡
維茂
忠常
時忠
時子
滋子
正度
正衡
正盛
忠盛
忠正
清盛
家盛
経盛
教盛
頼盛
忠度
重盛
基盛
宗盛
知盛
重衡
徳子
維盛
資盛
行盛
清宗
経正
敦盛
教経

【断層】

縦ずれ断層
正断層
逆断層
横ずれ断層
右ずれ断層
左ずれ断層

【地質年代】

地　質　年　代

代	紀	世	年代
			現在
新生代	第四紀	完新世	1 万年前
		更新世	180 万年前
	第三紀	鮮新世	530 万年前
		中新世	2300 万年前
		漸新世	3400 万年前
		始新世	5300 万年前
		暁新世	6500 万年前
中生代	白亜紀		1.4 億年前
	ジュラ紀		2.0 億年前
	三畳紀		2.5 億年前
古生代	ペルム紀		2.9 億年前
	石炭紀		3.6 億年前
	デボン紀		4.1 億年前
	シルル紀		4.4 億年前
	オルドビス紀		5.0 億年前
	カンブリア紀		5.4 億年前
先カンブリア時代	原生代		25 億年前
	始生代		46 億年前

【秩父三十三所】

秩父三十三所

市・郡名	寺院名	市・郡名	寺院名
秩父市	1 妙音寺	秩父市	18 神門寺
	2 真福寺		19 竜石寺
	3 常泉寺		20 岩之上堂
	4 金昌寺		21 観音寺
秩父郡	5 長興寺		22 栄(永)福寺
	6 卜雲寺		23 音楽寺
	7 法長寺		24 法泉寺
	8 西善寺		25 久昌寺
	9 明智寺		26 円融寺
	10 大慈寺		27 大淵寺
秩父市	11 常楽寺		28 橋立寺
	12 野坂寺	秩父郡	29 長泉院
	13 慈眼寺		30 法雲寺
	14 今宮坊		31 観音院
	15 少林寺		32 法性寺
	16 西光寺		33 菊水寺
	17 定林寺		34 水潜寺

【天気記号】

天気記号(日本式)

天気記号	天　気	天気記号	天　気
○	快晴	●ニ	にわか雨
⦶	晴	◒	みぞれ
◎	曇	⊗	雪
⊚(∞)	煙霧	⊗ツ	雪強し
Ⓢ	ちり煙霧	⊗ニ	にわか雪
Ⓢ(横線)	砂じんあらし	△(丸囲み)	あられ
↑(丸囲み)	地ふぶき	▲(丸囲み)	ひょう
⊙	霧	◓	雷
●キ	霧雨	◓ツ	雷強し
●	雨	⊗	天気不明
●ツ	雨強し		

【中国】

中国(歴代王朝)

王朝名	初代	年代	王朝名	初代	年代
夏	禹	?	東晋	元帝(司馬睿)	317〜420
殷(商)	湯王	?〜紀元前 1100 頃	五胡十六国		304〜439
周	武王	前 1100 頃〜前 256	南北朝時代		439〜589
春秋時代		前 770〜前 403	隋	文帝(楊堅)	581〜619
戦国時代		前 403〜前 221	唐	高祖(李淵)	618〜907
秦	始皇帝	前 221〜前 206	五代十国		907〜960(979)
前漢	高祖(劉邦)	前 202〜後 8	宋(北宋)	太祖(趙匡胤)	960〜1127
新	王莽	8〜23	南宋	高宗(趙構)	1127〜1279
後漢	光武帝(劉秀)	25〜220	遼	太祖(耶律阿保機)	916〜1125
三国時代(魏・呉・蜀)	曹丕・孫権・劉備	220〜265(280)	金	太祖(阿骨打)	1115〜1234
		(蜀は 221〜263)	元	世祖(フビライ)	1271〜1368
		(呉は 222〜280)	明	太祖(朱元璋)	1368〜1644
晋(西晋)	武帝(司馬炎)	265〜316	清	太祖(ヌルハチ)	1616〜1912

【天皇】

天　皇

1 神武(じんむ)天皇
2 綏靖(すいぜい)天皇
3 安寧(あんねい)天皇
4 懿徳(いとく)天皇
5 孝昭(こうしょう)天皇
6 孝安(こうあん)天皇
7 孝霊(こうれい)天皇
8 孝元(こうげん)天皇
9 開化(かいか)天皇
10 崇神(すじん)天皇
11 垂仁(すいにん)天皇
12 景行(けいこう)天皇
13 成務(せいむ)天皇
14 仲哀(ちゅうあい)天皇
15 応神(おうじん)天皇
16 仁徳(にんとく)天皇
17 履中(りちゅう)天皇
18 反正(はんぜい)天皇
19 允恭(いんぎょう)天皇
20 安康(あんこう)天皇
21 雄略(ゆうりゃく)天皇
22 清寧(せいねい)天皇
23 顕宗(けんぞう)天皇
24 仁賢(にんけん)天皇
25 武烈(ぶれつ)天皇
26 継体(けいたい)天皇
27 安閑(あんかん)天皇
28 宣化(せんか)天皇
29 欽明(きんめい)天皇
30 敏達(びだつ)天皇
31 用明(ようめい)天皇
32 崇峻(すしゅん)天皇
33 推古(すいこ)天皇
34 舒明(じょめい)天皇
35 皇極(こうぎょく)天皇
36 孝徳(こうとく)天皇
37 斉明(さいめい)天皇
38 天智(てんじ)天皇
39 弘文(こうぶん)天皇
40 天武(てんむ)天皇
41 持統(じとう)天皇
42 文武(もんむ)天皇
43 元明(げんめい)天皇
44 元正(げんしょう)天皇
45 聖武(しょうむ)天皇
46 孝謙(こうけん)天皇
47 淳仁(じゅんにん)天皇
48 称徳(しょうとく)天皇
49 光仁(こうにん)天皇
50 桓武(かんむ)天皇
51 平城(へいぜい)天皇
52 嵯峨(さが)天皇
53 淳和(じゅんな)天皇
54 仁明(にんみょう)天皇
55 文徳(もんとく)天皇
56 清和(せいわ)天皇
57 陽成(ようぜい)天皇
58 光孝(こうこう)天皇
59 宇多(うだ)天皇
60 醍醐(だいご)天皇
61 朱雀(すざく)天皇
62 村上(むらかみ)天皇
63 冷泉(れいぜい)天皇
64 円融(えんゆう)天皇
65 花山(かざん)天皇
66 一条(いちじょう)天皇
67 三条(さんじょう)天皇
68 後一条(ごいちじょう)天皇
69 後朱雀(ごすざく)天皇
70 後冷泉(ごれいぜい)天皇
71 後三条(ごさんじょう)天皇
72 白河(しらかわ)天皇
73 堀河(ほりかわ)天皇
74 鳥羽(とば)天皇
75 崇徳(すとく)天皇
76 近衛(このえ)天皇
77 後白河(ごしらかわ)天皇
78 二条(にじょう)天皇
79 六条(ろくじょう)天皇
80 高倉(たかくら)天皇
81 安徳(あんとく)天皇
82 後鳥羽(ごとば)天皇
83 土御門(つちみかど)天皇
84 順徳(じゅんとく)天皇
85 仲恭(ちゅうきょう)天皇
86 後堀河(ごほりかわ)天皇
87 四条(しじょう)天皇
88 後嵯峨(ごさが)天皇
89 後深草(ごふかくさ)天皇
90 亀山(かめやま)天皇
91 後宇多(ごうだ)天皇
92 伏見(ふしみ)天皇
93 後伏見(ごふしみ)天皇
94 後二条(ごにじょう)天皇
95 花園(はなぞの)天皇
96 後醍醐(ごだいご)天皇(南朝1)
光厳(こうごん)天皇(北朝1)
光明(こうみょう)天皇(北朝2)
崇光(すこう)天皇(北朝3)
後光厳(ごこうごん)天皇(北朝4)
後円融(ごえんゆう)天皇(北朝5)
97 後村上(ごむらかみ)天皇(南朝2)
98 長慶(ちょうけい)天皇(南朝3)
99 後亀山(ごかめやま)天皇(南朝4)
100 後小松(ごこまつ)天皇
101 称光(しょうこう)天皇
102 後花園(ごはなぞの)天皇
103 後土御門(ごつちみかど)天皇
104 後柏原(ごかしわばら)天皇
105 後奈良(ごなら)天皇
106 正親町(おおぎまち)天皇
107 後陽成(ごようぜい)天皇
108 後水尾(ごみずのお)天皇
109 明正(めいしょう)天皇
110 後光明(ごこうみょう)天皇
111 後西(ごさい)天皇
112 霊元(れいげん)天皇
113 東山(ひがしやま)天皇
114 中御門(なかみかど)天皇
115 桜町(さくらまち)天皇
116 桃園(ももぞの)天皇
117 後桜町(ごさくらまち)天皇
118 後桃園(ごももぞの)天皇
119 光格(こうかく)天皇
120 仁孝(にんこう)天皇
121 孝明(こうめい)天皇
122 明治天皇
123 大正天皇
124 昭和天皇
125 今上天皇

【唐】

【同位角】

【東海道五十三次】

【徳川】

徳川(略系図)

数字は将軍の代数

【南北朝時代】

南北朝時代 1

南　朝

宋(420～479) → 斉(479～502) → 梁(502～557) → 陳(557～589)

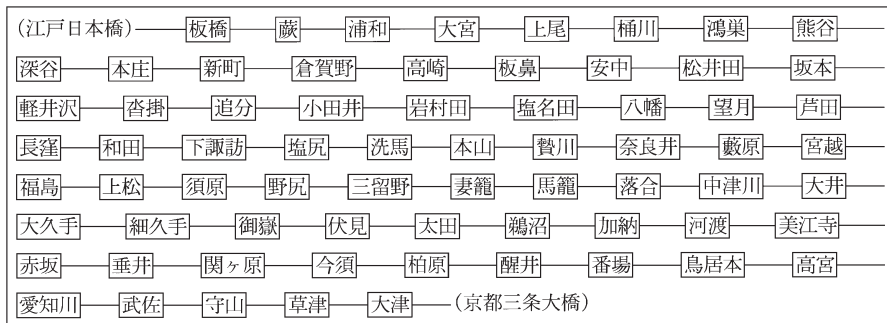
北　朝

北魏(386～534) → 東魏(534～550) → 北斉(550～577)

　　　　　　　　→ 西魏(534～556) → 北周(556～581)

( )内は興亡の年代

【中山道・中仙道】

中山道(宿駅一覧)

【二十四史】

二十四史(正史)一覧

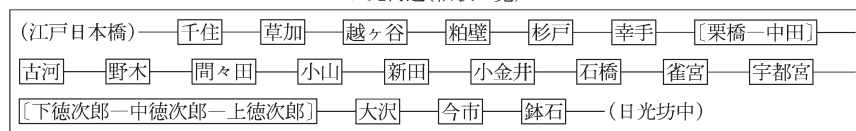
書名	巻数	編著者	成立年代	書名	巻数	編著者	成立年代
史記	130	司馬遷	前漢　前91年頃	南史	80	李延寿	唐　659
漢書	100	班固	後漢　後82年頃	北史	100	李延寿	唐　659
後漢書	120	范曄	南朝宋　432年頃	旧唐書	200	劉昫ほか	後晋　945
三国志	65	陳寿	西晋　3世紀末	新唐書	225	欧陽修ほか	宋　1060
晋書	130	房玄齢ほか	唐　648	旧五代史	150	薛居正ほか	宋　974
宋書	100	沈約	南斉　488	新五代史	74	欧陽修	宋　1053
南斉書	59	蕭子顕	梁　6世紀前半	宋史	496	脱脱ほか	元　1345
梁書	56	姚思廉	唐　636	遼史	116	脱脱ほか	元　1345
陳書	36	姚思廉	唐　636	金史	135	脱脱ほか	元　1345
魏書	130	魏収	北斉　554	元史	210	宋濂ほか	明　1370
北斉書	50	李百薬ほか	唐　636	明史	332	張廷玉ほか	清　1739
周書	50	令狐徳棻ほか	唐　636	新元史	257	柯劭忞	民国　1919
隋書	85	魏徴ほか	唐　636・656				

【二十四節気】

二 十 四 節 気

季節	名称	概略日付	季節	名称	概略日付
春	立春	2月 4日	秋	立秋	8月 8日
	雨水	2月19日		処暑	8月24日
	啓蟄	3月 6日		白露	9月 8日
	春分	3月21日		秋分	9月23日
	清明	4月 5日		寒露	10月 9日
	穀雨	4月20日		霜降	10月24日
夏	立夏	5月 6日	冬	立冬	11月 8日
	小満	5月21日		小雪	11月23日
	芒種	6月 6日		大雪	12月 8日
	夏至	6月22日		冬至	12月22日
	小暑	7月 8日		小寒	1月 6日
	大暑	7月23日		大寒	1月20日

【日光街道】

日光街道(宿駅一覧)

〔 〕内は交代継立ての宿

【能楽】

能 楽 の 流 派

分類		流派名
立方	シテ方	観世(かんぜ) 宝生(ほうしょう) 金春(こんぱる) 金剛(こんごう) 喜多(きた)
	ワキ方	福王(ふくおう) 高安(たかやす) 宝生(下掛り宝生)〔春藤〕(しゅんどう)〔進藤〕(しんどう)
	狂言方	大蔵(おおくら) 和泉(いずみ)〔鷺〕(さぎ)
囃子方	笛方	一噌(いっそう) 森田 藤田〔春日〕(しゅんにち)〔平岩〕
	小鼓方	幸(こう) 幸清(こうせい) 大倉 観世
	大鼓方	葛野(かどの) 高安 大倉 石井 観世(宝生錬三郎派)
	太鼓方	観世 金春

〔 〕は廃絶

【能面】

能面の主なもの

分類		名称		
翁面	尉面	白色尉(はくしきじょう) 肉色尉 父尉 黒色尉		
	冠者面	延命冠者(えんめいかじゃ)		
能面		常相	奇相	異相
	尉面(老体面)	小尉(小牛尉)・三光尉・朝倉尉・笑尉・舞尉	皺尉(しわじょう)・石王尉	悪尉(あくじょう)(大悪尉・小悪尉・鼻瘤悪尉など)
	男面	若男・中将・平太(へいだ)・邯鄲男・十六・敦盛・童子・喝食(かっしき)・慈童・猩々	怪士(あやかし)・三日月・鷹・筋男(すじおとこ)・痩男・蛙(かわず)・一角仙人	癋見(べしみ)(大癋見・小癋見・黒癋見など)・飛出(とびで)(大飛出・小飛出・釣眼(つりまなこ)・黒髭など)・顰(しかみ)・獅子口・天神
	女面	若女・小面(こおもて)・増(ぞう)(増女)・孫次郎・近江女・深井・曲見(しゃくみ)・老女・姥	泥眼(でいがん)・橋姫・増髪(ますかみ)・痩女・山姥(やまんば)	般若(はんにゃ)・生成(なまなり)・蛇(じゃ)

【発光生物】

主な発光生物

細　菌	発光バクテリア類(フォトバクテリウム・ビブリオなど)	節足動物	ウミホタル・発光ヤスデ・サクラエビ・ヒカリエビ・ホタルなど
真　菌	ツキヨタケ・ナラタケ(菌糸)・ヤコウタケなど	軟体動物	ホタルイカ・メヒカリイカ・カモメガイ・発光ウミウシなど
原生動物	ヤコウチュウ・ケラチウムなど	原索動物	ヒカリボヤ・ギボシムシなど
腔腸動物	ウミサボテン・タコクラゲ・ウミエラ・オワンクラゲなど	脊椎動物	マツカサウオ・ヒカリキンメダイ・ホウネンイワシ・ホウネンエソなど
紐形動物	ヒカリヒモムシ		
環形動物	ウロコムシ・ツバサゴカイ・ヒカリミミズなど		

【発酵】

主　な　発　酵

	作　用	発酵微生物
アルコール発酵	糖→エタノール, 二酸化炭素	コウボ
グリセロール発酵	糖→グリセロール	コウボ
乳酸発酵	糖→乳酸, 二酸化炭素	乳酸菌, ケカビ
メタン発酵	二酸化炭素, 蟻酸, 酢酸など→メタン	メタン細菌
酢酸発酵	エタノール→酢酸	酢酸菌
クエン酸発酵	糖, 炭水化物→クエン酸	クロカビ, アオカビなど
イタコン酸発酵	糖→クエン酸→イタコン酸	アスペルギリスなど
グルコン酸発酵	糖→グルコン酸	酢酸菌, クロカビなど
酪酸発酵	糖→酪酸, アセトン, ブタノールなど	クロストリディウム
アミノ酸発酵	糖など→グルタミン酸, リジン, トレオニンなど	コリネバクテリウム

【発想標語】

発　想　標　語

標　語		意　味
アニマート	animato	活発に，生き生きと
アパッショナート	appassionato	情熱的に
ヴィーヴォ	vivo	活発に
エスプレッシーヴォ	csprcssivo	表情ゆたかに
カンタービレ	cantabile	歌うように(なだらかに)
グラーヴェ	gravac	重々しく
グラツィオーソ	grazioso	優雅に
コン-ブリオ	con brio	生き生きと
コン-モート	con moto	元気よく
ジョコーソ	giocoso	嬉々として
センプリチェ	semplice	素朴に
トランクィッロ	tranquillo	静かに
ドルチェ	dolce	甘く，やわらかに
マエストーソ	maestoso	堂々と，荘厳に

【パラフィン】

直鎖パラフィン炭化水素

名　称	分子式	沸点(℃)
メタン(methane)	CH_4	−161.5
エタン(ethane)	C_2H_6	−89.0
プロパン(propane)	C_3H_8	−42.1
ブタン(butane)	C_4H_{10}	0.5
ペンタン(pentane)	C_5H_{12}	36.1
ヘキサン(hexane)	C_6H_{14}	68.7
ヘプタン(heptane)	C_7H_{16}	98.4
オクタン(octane)	C_8H_{18}	125.7
ノナン(nonane)	C_9H_{20}	150.8
デカン(decane)	$C_{10}H_{22}$	174.1

【ハロゲン】

ハロゲン族の単体

名称	分子式	状態	色	融点(℃)	沸点(℃)
弗素	F_2	気体	淡黄	−219.6	−188.1
塩素	Cl_2	気体	黄緑	−101.0	−34.1
臭素	Br_2	液体	赤褐	−7.2	58.8
沃素	I_2	固体	黒紫	113.5	184.4

【坂東三十三所】

坂東三十三所

都県名	寺院名	都県名	寺院名
神奈川県	1 杉本寺	栃木県	18 中禅寺
	2 岩殿寺		19 大谷寺
	3 安養院		20 西明寺
鎌倉	4 長谷寺	茨城県	21 日輪寺
	5 勝福寺		22 佐竹寺
厚木	6 長谷寺		23 観世音寺
	7 光明寺		24 楽法寺
	8 星谷寺		25 大御堂
埼玉県	9 慈光寺		26 清滝寺
	10 正法寺	千葉県	27 円福寺
	11 安楽寺		28 竜正院
	12 慈恩寺		29 千葉寺
東京都	13 浅草寺		30 高蔵寺
神奈川県	14 弘明寺		31 笠森寺
群馬県	15 長谷寺		32 清水寺
	16 水沢寺		33 那古寺
栃木県	17 満願寺		

【藩学】

主　な　藩　学

名　　称	藩主	所在地	創設年代	旧称・改称
稽古館(けいこかん)	津軽	弘前	1796	
作人館(さくじんかん)	南部	盛岡	1636	稽古所・明義堂
養賢堂(ようけんどう)	伊達	仙台	1736	学問所・明倫館
日新館(にっしんかん)	松平	会津	1678	
明徳館(めいとくかん)	佐竹	秋田	1789	明道館
興譲館(こうじょうかん)	上杉	米沢	1697	学校
道学堂(どうがくどう)	溝口	新発田	1772	
文武学校(ぶんぶがっこう)	真田	松代	1855	稽古所・学問所
弘道館(こうどうかん)	徳川	水戸	1841	
明倫堂(めいりんどう)	徳川	名古屋	1748	学問所
明倫堂(めいりんどう)	前田	金沢	1792	
成徳書院(せいとくしょいん)	堀田	佐倉	1792	
弘道館(こうどうかん)	井伊	彦根	1799	稽古館
立教館(りっきょうかん)	松平	白河・桑名	1791	学問所
学習館(がくしゅうかん)	徳川	和歌山	1713	講釈所
花畠教場(はなばたけきょうじょう)	池田	岡山	1641	仮学館・学校
誠之館(せいしかん)	阿部	福山	1786	弘道館
修道館(しゅうどうかん)	浅野	広島	1782	稽古屋敷・学問所
明教館(めいきょうかん)	松平	松江	1758	文明館・文武館
明倫館(めいりんかん)	毛利	萩	1719	
教授館(きょうじゅかん)	山内	高知	1760	教授場・致道館
明倫館(めいりんかん)	伊達	宇和島	1748	内徳館・敷教館
修猷館(しゅうゆうかん)	黒田	福岡	1784	
伝習館(でんしゅうかん)	立花	柳川	1824	
弘道館(こうどうかん)	鍋島	佐賀	1781	
時習館(じしゅうかん)	細川	熊本	1755	
造士館(ぞうしかん)	島津	鹿児島	1773	本学校

【病原体】

主 な 病 原 体

	特　徴	例
ウイルス	宿主細胞内でのみ増殖．化学療法剤が効かない	はしかウイルス, インフルエンザ-ウイルス, 日本脳炎ウイルス, 肝炎ウイルス, 風疹ウイルス, 黄熱ウイルス, ラッサ熱ウイルスなど
クラミジア	宿主細胞内でのみ増殖	トラコーマ-クラミジア, オウム病クラミジアなど
マイコプラズマ	細胞壁がない．最小の自律増殖生物	異型肝炎マイコプラスマ, 肺炎マイコプラスマなど
細菌	細胞壁をもち，自律的に増殖	ジフテリア菌, 肺炎双球菌, 淋菌, コレラ菌, 赤痢菌, 大腸菌, 破傷風菌, ボツリヌス菌, 結核菌など
スピロヘータ	同上	梅毒トレポネーマ, レプトスピラなど
リケッチア	宿主細胞内でのみ増殖	ツツガムシ病リケッチア, 発疹チフス-リケッチアなど
真菌	半ば寄生的に増殖	カンジダ， クリプトコッカス， 白癬菌など
原生動物(原虫)	宿主に寄生	マラリア原虫, トリパノソーマ, トキソプラスマ
寄生虫	同上	回虫, 十二指腸虫, 条虫, 住血吸虫, ジストマなど

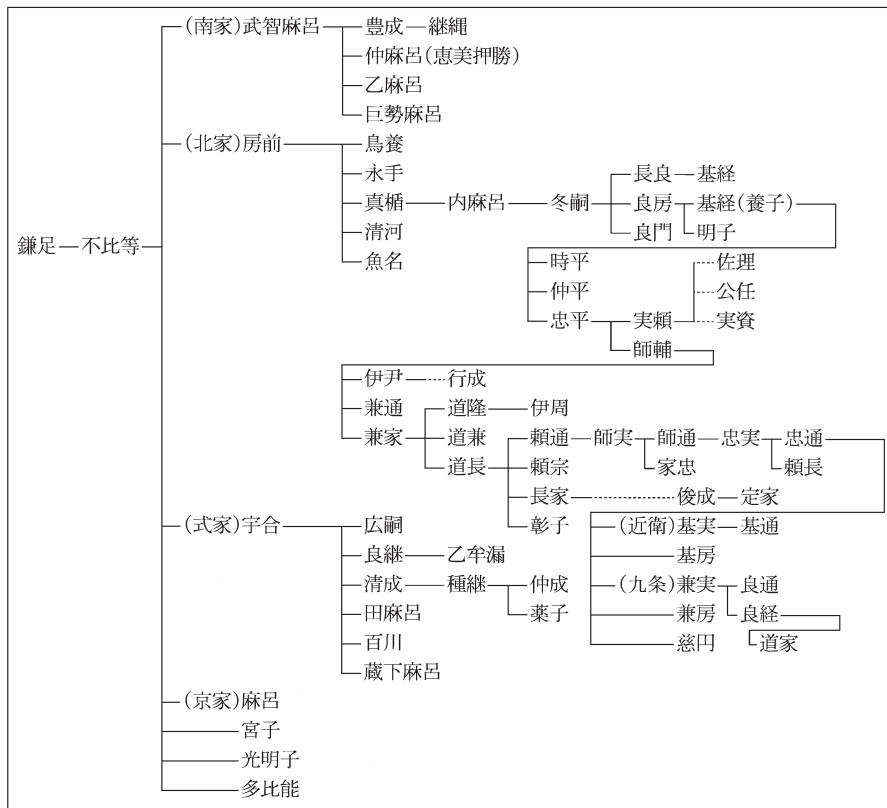
【舞曲】

舞曲(欧米の主な舞曲)

流行した時代	名　称		拍子	始まった国	流行した時代	名　称		拍子	始まった国
16〜17世紀	パヴァーヌ	pavane	4/4	イタリア		メヌエット	menuet	3/4	フランス
	ガイヤルド	gaillarde	3/2	イタリア	18〜19世紀	マズルカ	mazurka	3/4	ポーランド
	アルマンド	allemande	4/4	ドイツ	19世紀	ポロネーズ	polonaise	3/4	ポーランド
	シャコンヌ	chaconne	3/4	スペイン		ポルカ	polka	2/4	チェコ
	パッサカリア	passacaglia	3/4	スペイン		ボレロ	bolero	3/4	スペイン
	クーラント	courante	3/2	フランス・イタリア		ハバネラ	habanera	2/4	キューバ
17〜18世紀	サラバンド	saraband	3/4	スペイン		ギャロップ	galop	2/4	ドイツ
	ジーグ	gigue	6/8	イギリス	19〜20世紀	ワルツ	waltz	3/4	オーストリア
	ブーレ	bourrée	2	フランス	20世紀	チャルダシュ	czardas	2/4	ハンガリー
	ガヴォット	gavotte	4/4	フランス		タンゴ	tango	2/4	アルゼンチン

【藤原】

藤原（藤原氏略系図）

鎌足—不比等
（南家）武智麻呂
豊成—継縄
仲麻呂（恵美押勝）
乙麻呂
巨勢麻呂
（北家）房前
鳥養
永手
真楯—内麻呂—冬嗣
清河
魚名
長良—基経
良房
基経（養子）
良門
明子
時平
仲平
忠平
佐理
公任
実資
実頼
師輔
伊尹—行成
兼通
兼家
道隆—伊周
道兼
道長
頼通—師実
師通—忠実
忠通
頼長
家忠
頼宗
長家—俊成—定家
彰子
（近衛）基実—基通
基房
（九条）兼実
良通
良経
道家
兼房
慈円
（式家）宇合
広嗣
良継—乙牟漏
清成—種継
仲成
薬子
田麻呂
百川
蔵下麻呂
（京家）麻呂
宮子
光明子
多比能

【仏像】

主な仏像の種類

如来部	釈迦如来，薬師如来，阿弥陀如来，毘盧遮那如来，大日如来，五智如来
菩薩部	弥勒菩薩，観(世)音菩薩(聖観音・如意輪観音・十一面観音・千手観音・不空羂索観音・馬頭観音・准胝観音など)，勢至菩薩，日光菩薩，月光菩薩，文殊菩薩，普賢菩薩，普賢延命菩薩，虚空蔵菩薩，五大虚空蔵菩薩，地蔵菩薩，薬王菩薩，薬上菩薩，妙見菩薩
明王部	五大明王(不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王)，愛染明王，孔雀明王，大元帥明王，烏枢沙摩明王
天　部	四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天＝毘沙聞天)，梵天，帝釈天，吉祥天，弁財天，大黒天，歓喜天＝聖天，韋駄天，摩利支天，仁王，鬼子母神，八部衆，十二神将
その他	十大弟子，羅漢，祖師，大師など

【変体仮名】

変 体 仮 名

あ	阿	さ	佐	な	奈，那	ま	万，満	ら	羅，良
い	以	し	志	に	尓	み	美，三	り	里，利
う	宇	す	寿，須	ぬ	奴	む	無	る	留
え	江	せ	勢	ね	年，祢	め	免	れ	連
お	於	そ	楚，曽	の	能，乃	も	毛	ろ	呂，路
か	可，加	た	多	は	者	や	屋	わ	王，和
き	幾，起	ち	知	ひ	飛，比			ゐ	井
く	久，具	つ	徒，津	ふ	不，婦	ゆ	由，遊		
け	希	て	天	へ	遍			ゑ	恵
こ	古	と	止	ほ	保	よ	与	を	越

【フロン】

フ　ロ　ン

名称	分子式	沸点(℃)
F–11	$CFCl_3$	23.8
F–12	CF_2Cl_2	－29.8
F–22	CHF_2Cl	－40.8
F–113	$C_2F_3Cl_3$	47.6
F–114	$C_2F_4Cl_2$	3.8
F–115	C_2F_5Cl	－39.1

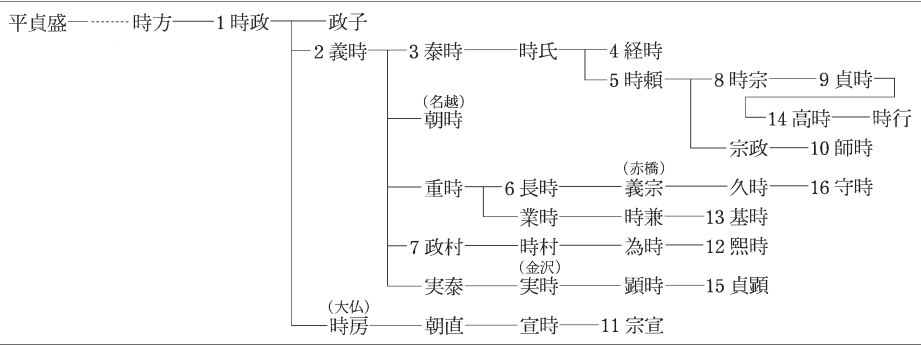
【分国法】

分　国　法

名　　称	別　　称	条文数	制定年代
朝倉孝景条々	朝倉敏景十七箇条	17	1471～81
大内氏掟書	大内家壁書	181	1439～1529
相良氏法度		41	1493～1555
今川仮名目録		33	1526
同　追加		21	1553
塵芥集		171	1536
甲州法度	甲州法度之次第 信玄家法	26*	1547
結城氏新法度		106	1556
新加制式		22	1558～70 頃
六角氏式目	義治式目	67	1567
長宗我部氏掟書	長宗我部元親百箇条	100	1597 頃

＊ のち 55 ヵ条に増補

【北条】

北条(略系図)

数字は執権の順序

【ボクシング】

ボクシングの階級と体重

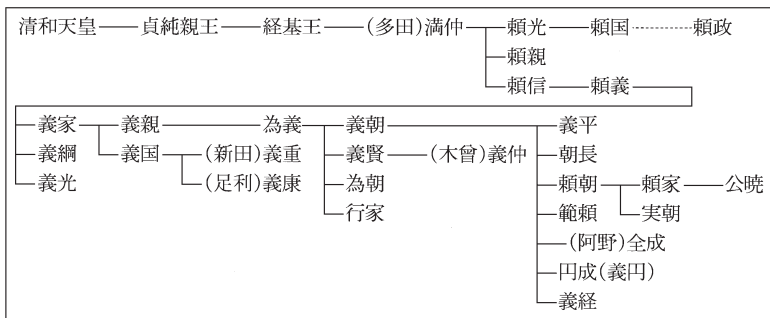
アマ		プロ	
階級	体重(kg)	階級	体重(ポンド)
ライト-フライ	48 以下	ストロー	105(約 47.6 kg)以下
フライ	～51 以下	ジュニア-フライ	～108(約 48.9 kg)以下
バンタム	～54 以下	フライ	～112(約 50.8 kg)以下
フェザー	～57 以下	ジュニア-バンタム	～115(約 52.1 kg)以下
ライト	～60 以下	バンタム	～118(約 53.5 kg)以下
ライト-ウェルター	～63.5 以下	ジュニア-フェザー	～122(約 55.3 kg)以下
ウェルター	～67 以下	フェザー	～126(約 57.1 kg)以下
ライト-ミドル	～71 以下	ジュニア-ライト	～130(約 58.9 kg)以下
ミドル	～75 以下	ライト	～135(約 61.2 kg)以下
ライト-ヘビー	～81 以下	ジュニア-ウェルター	～140(約 63.5 kg)以下
ヘビー	～91 以下	ウェルター	～147(約 66.6 kg)以下
スーパー-ヘビー	91 超過	ジュニア-ミドル	～154(約 69.8 kg)以下
		ミドル	～160(約 72.5 kg)以下
		ライト-ヘビー	～175(約 79.3 kg)以下
		ジュニア-ヘビー	～190(約 86.1 kg)以下
		ヘビー	190 超過

ジュニアにはモスキート級(45 kg 以下)がある.

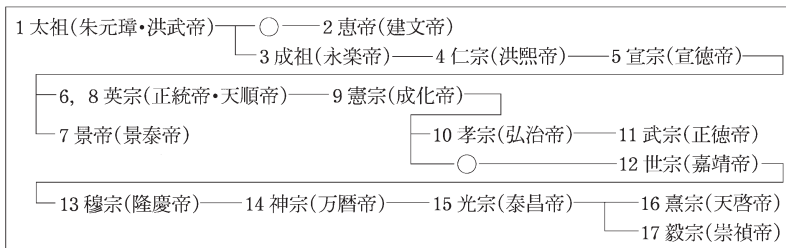
【源】

源(清和源氏略系図)

【室町幕府】

室町幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	足利尊氏	足利貞氏	上杉頼重娘清子	1338～1358	1358
2	足利義詮	足利尊氏	北条(赤橋)久時娘登子	1358～1367	1367
3	足利義満	足利義詮	善法寺通清娘紀良子	1368～1394	1408
4	足利義持	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1394～1423	1428
5	足利義量	足利義持	日野資康娘栄子	1423～1425	1425
6	足利義教	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1429～1441	1441
7	足利義勝	足利義教	日野重光娘重子	1442～1443	1443
8	足利義政	足利義教	日野重光娘重子	1449～1473	1490
9	足利義尚	足利義政	日野重政娘富子	1473～1489	1489
10	足利義稙	足利義視	日野重政娘(富子妹)	1490～1493	
				1508～1521	1523
11	足利義澄	足利政知	武者小路隆光娘	1494～1508	1511
12	足利義晴	足利義澄	阿与	1521～1546	1550
13	足利義輝	足利義晴	近衛尚通娘	1546～1565	1565
14	足利義栄	足利義維	大内介娘	1568	1568
15	足利義昭	足利義晴	近衛尚通娘	1568～1573	1597

【明】

明(歴代世系)

【命数法】

命　数　法

大　数	十，百，千，万，億，兆，京(けい)，垓(がい)，秭(し)，穣(じょう)，溝，澗(かん)，正(せい)，載，極，恒河沙(ごうがしゃ)，阿僧祇(あそうぎ)，那由他(なゆた)，不可思議，無量大数
小　数	分，厘，毫(=毛)，糸，忽(こつ)，微，繊，沙(しゃ)，塵，埃(あい)，渺(びょう)，漠，模糊(もこ)，逡巡，須臾(しゅゆ)，瞬息，弾指，刹那，六徳，虚空，清浄

【モンゴル帝国】

数字は大汗の代数

【紋所】

紋　所

分　類	素　材　と　名　称
模様・文字	鱗(三つ鱗)・唐花・亀甲(三つ亀甲)・七宝・蛇の目・菱(三つ菱・三蓋菱・花菱・松皮菱・割り菱・武田菱・大内菱)・巴(右巴・左巴・一つ巴・二つ巴・三つ巴)・卍(丸卍・左卍)・引両(一つ引両・二つ引両・三つ引両)・木瓜(丸に木瓜・庵木瓜・蔓木瓜)・目結(四目結)・輪(金輪・輪違い)・有文字・一文字・十文字・井の字・入山形
建築・器具	庵・錨・井桁・井筒(重井筒・角立井筒・平井筒)・石畳・糸巻・団扇(うちわ)(三本団扇)・扇(三つ扇・日の丸扇・扇車)・檜扇・笠(丸に笠・柳生笠・三蓋笠)・傘(三本傘)・舵・鐶・杏葉(ぎょうよう)・釘抜・くつわ・車(源氏車・風車)・剣・五徳・琴柱(ことじ)・駒・銭(六連銭・永楽通宝)・槌・鼓・羽根・分銅・枡・的・守(祇園守)・矢(矢車)・輪鼓(りゅうご)
植物	葵(葵巴・立葵・唐草葵)・総角(あげまき)・麻(麻の葉)・銀杏・稲(稲の丸・抱き稲)・梅(梅鉢・裏梅)・沢瀉(おもだか)(抱き沢瀉・立て沢瀉)・かきつばた・柏(抱き柏・違い柏・三つ柏・三葉柏)・梶(梶の葉)・かたばみ(草かたばみ・剣かたばみ)・桔梗(ききょう)(細桔梗・桔梗崩し)・菊(菊花・菊一文字・三つ割菊・裏菊・菊水・杏葉菊・乱菊)・桐(五三桐・五七桐・大内桐・太閤桐)・くるみ・河骨(こうほね)・桜(影桜)・大根・竹(竹の丸・竹に雀)・笹(おかめ笹・三枚笹・丸に九枚笹・根笹・雪持笹・上杉笹・仙台笹)・棕櫚(しゅろ)・杉(一本杉・並び杉・杉巴)・薄(すすき)(薄の丸)・橘(丸に橘・向う橘)・丁子・蔦(鬼蔦・中陰蔦・結蔦)・鉄線(光琳鉄線)・なずな(雪なずな)・なでしこ・ひいらぎ・藤(上り藤・下り藤・藤の丸)・葡萄・牡丹(近衛牡丹・伊達牡丹・鍋島牡丹・蟹牡丹・杏葉牡丹)・松(一つ松・櫛松・三蓋松・松葉・松笠)・茗荷(抱き茗荷)・桃・竜胆(笹竜胆)・餅(黒餅)
動物	鴛鴦(おし)・兎(花兎)・馬(繋ぎ馬)・雁(二つ雁金・結び雁金・雁金菱)・雀(雀の丸・ふくら雀)・鷹(鷹の羽)・鶴(鶴の丸・舞鶴)・蝶(揚羽蝶・胡蝶)・鳩
天文・気象	日(日の丸)・月(三日月)・星(三つ星・八曜・九曜)・稲妻(稲妻菱)・雲・雪(雪輪)・波

【ヤードポンド法】

長　さ

1インチ		2.54 cm
1フィート	12インチ	30.48 cm
1ヤード	3フィート	91.44 cm
1マイル	1,760ヤード	1.609 km

面　積

1エーカー	4,047 m²

体　積

1ガロン(英)	4.546 ℓ
1ガロン(米)	3.785 ℓ

質　量

1オンス		28.35 g
1ポンド	16オンス	453.6 g
1トン(英)	2,240ポンド	1.016 t
1トン(米)	2,000ポンド	0.9072 t

【養老律令】

養老令の編名

1 官位令(かんいりょう)	16 宮衛令(くうえりょう・くえりょう)
2 職員令(しきいんりょう)	17 軍防令(ぐんぼうりょう)
3 後宮職員令(ごくうしきいんりょう・こうきゅうしきいんりょう)	18 儀制令(ぎせいりょう)
4 東宮職員令(とうぐうしきいんりょう)	19 衣服令(えぶくりょう・いふくりょう)
5 家令職員令(けりょうしきいんりょう・かれいしきいんりょう)	20 営繕令(ようぜんりょう・えいぜんりょう)
6 神祇令(じんぎりょう)	21 公式令(くうじきりょう・くしきりょう)
7 僧尼令(そうにりょう)	22 倉庫令(そうこりょう)
8 戸令(こりょう)	23 厩牧令(くもくりょう・きゅうぼくりょう)
9 田令(でんりょう)	24 医疾令(いしちりょう・いしつりょう)
10 賦役令(ふやくりょう・ぶやくりょう)	25 仮寧令(けにょうりょう)
11 学令(がくりょう)	26 喪葬令(そうそうりょう)
12 選叙令(せんじょりょう)	27 関市令(げんしりょう)
13 継嗣令(けいしりょう)	28 捕亡令(ぶもうりょう)
14 考課令(こうかりょう)	29 獄令(ごくりょう)
15 禄令(ろくりょう)	30 雑令(ぞうりょう)

【六国史】

六　国　史

書　　名	巻数	収載歴代	完成年	主な編者
日本書紀	30	(神代)～持統	720	舎人親王
続日本紀	40	文武～桓武	797	藤原継縄・菅野真道
日本後紀	40	桓武・淳和	840	藤原冬嗣・藤原緒嗣
続日本後紀	20	仁明	869	藤原良房・春澄善縄
日本文徳天皇実録	10	文徳	879	藤原基経・都良香・菅原是善
日本三代実録	50	清和・陽成・光孝	901	藤原時平・大蔵善行

【令外官】

令外官の主なもの

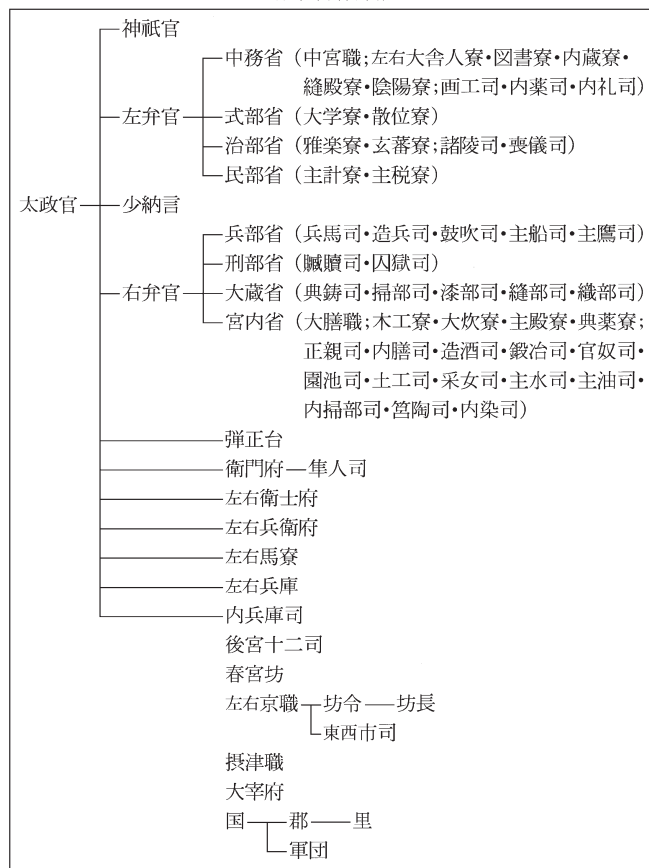
官　　名	初置年代
内大臣(ないだいじん)	669
参議(さんぎ)	702
知太政官事(ちだいじょうかんじ)	703
中納言(ちゅうなごん)	705
按察使(あぜち)	719
征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)	794
勘解由使(かげゆし)	797頃
観察使(かんさつし)	806
蔵人所(くろうどどころ)	810
検非違使(けびいし)	816頃
修理職(しゅりしき)	818

【暦法】

暦法(日本で行われた暦法)

暦　　名	作　製　者	施　行　年
元嘉暦(げんかれき)	何承天(南朝宋)	692(持統天皇6年)
儀鳳暦(ぎほうれき)	李淳風(唐)	697(文武天皇元年)
大衍暦(たいえんれき)	一行(唐)	764(天平宝字8年)
五紀暦(ごきれき)	郭献之(唐)	858(天安2年)
宣明暦(せんみょうれき)	徐昂(唐)	862(貞観4年)
貞享暦(じょうきょうれき)	渋川春海	1685(貞享2年)
宝暦暦(ほうれきれき)	安倍泰邦ほか	1755(宝暦5年)
寛政暦(かんせいれき)	高橋至時・間重富	1798(寛政10年)
天保暦(てんぽうれき)	渋川景佑ほか	1844(弘化元年)
グレゴリオ暦		1873(明治6年)

【律令制】

律令制(官制)

【ローマ字】

ロ ー マ 字

大文字	小文字	名　称	大文字	小文字	名　称
A	a	エー	N	n	エヌ
B	b	ビー	O	o	オー
C	c	シー	P	p	ピー
D	d	ディー	Q	q	キュー
E	e	イー	R	r	アール
F	f	エフ	S	s	エス
G	g	ジー	T	t	ティー
H	h	エッチ	U	u	ユー
I	i	アイ	V	v	ヴィー
J	j	ジェー	W	w	ダブリュー
K	k	ケー	X	x	エックス
L	l	エル	Y	y	ワイ
M	m	エム	Z	z	ゼット

【ローマ数字】

ローマ数字

算用数字	ローマ数字
1	I
2	II
3	III
4	IV
5	V
6	VI
7	VII
8	VIII
9	IX
10	X
50	L
100	C
500	D
1000	M

【ロシア文字】

ロ シ ア 文 字

大文字	小文字	名　称	大文字	小文字	名　称
А	а	アー	Р	р	エル
Б	б	ベー	С	с	エス
В	в	ヴェー	Т	т	テー
Г	г	ゲー	У	у	ウー
Д	д	デー	Ф	ф	エフ
Е	е	イェー	Х	х	ハー
Ё	ё	ヨー	Ц	ц	ツェー
Ж	ж	ジェー	Ч	ч	チェー
З	з	ゼー	Ш	ш	シャー
И	и	イー	Щ	щ	シチャー
Й	й	イー-クラートコエ		ь	硬音符
К	к	カー		ъ	ウイ
Л	л	エリ		ы	軟音符
М	м	エム	Э	э	エー
Н	н	エヌ	Ю	ю	ユー
О	о	オー	Я	я	ヤー
П	п	ベー			

【渡り鳥】

日本列島の主な渡り鳥

夏鳥(夏，日本に来て繁殖)		冬鳥(日本で越冬)	
種　名	越冬地	種　名	繁殖地
ホトトギス	←東南アジア*	ナベヅル	←ロシア沿海州アムール地方
カッコウ	←東南アジア	マナヅル	←ロシア沿海州アムール地方
ヨタカ	←東南アジア	オオハクチョウ	←シベリア-タイガ帯
ブッポウソウ	←東南アジア	コハクチョウ	←シベリア北極圏
アカショウビン	←東南アジア	マガン	←シベリア北極圏
ツバメ	←東南アジア	オナガガモ	←シベリア•北米北部
オオルリ	←東南アジア	コズガモ	←シベリア北東部
コルリ	←東南アジア	コミミズク	←シベリア
キビタキ	←東南アジア	ツグミ	←シベリア-タイガ帯
ノビタキ	←東南アジア	アトリ	←シベリア-タイガ帯
センダイムシクイ	←東南アジア	ジョウビタキ	←シベリア南東部•ロシア沿海州
クロツグミ	←東南アジア	ヒレンジャク	←ロシア沿海州アムール地方
オオヨシキリ	←東南アジア	ハマシギ	←シベリア•アラスカ北極圏
オオジシギ	←オーストラリア南東部	アビ	←シベリア北極圏
コアジサシ	←ニュー-ギニア•オーストラリア	ユリカモメ	←シベリア北東部•カムチャツカ
オオミズナギドリ	←フィリピン群島•オーストラリア北部	セグロカモメ	←シベリア北部

旅鳥(渡りの途中,日本を通過)		
種　名	越冬地	繁殖地
アカエリヒレアシシギ	フィリピン•ニュー-ギニア	↔シベリア北極圏
チュウシャクシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア東部
キョウジョシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア•アラスカ北極圏
キアシシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア東部
オオソリハシシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
エリマキシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
トウネン	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
ダイゼン	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
ムナグロ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア•アラスカ西部北極圏
メダイチドリ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア・カムチャツカ
トウゾクカモメ	オーストラリア•ニュー-ジーランド海域	↔シベリア北極圏
アジサシ	オーストラリア南部海域	↔シベリア東部
ハシボソミズナギドリ	北太平洋北部	↔オーストラリア南東部•タスマニア
エゾビタキ	東南アジア	↔シベリア南東部

越冬地・繁殖地は，日本列島に渡来する集団についてのものを示す.
* 東南アジアは，東アジア・南アジアをも含む.

学研　パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。

2 エ行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしたがったものもある。
（例）ボール・ペン　　ボウリング（スポーツ）

3 原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしたがった。
（例）ビレッジ　　イヴ・サンローラン

4 原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしたがった。
（例）ジレンマ　　ディレクトリー

5 語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。
（例）コンピューター

6 複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

1 配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。

2 長音符（ー）の読みと・は省略して、配列した。
（例）グリーンGDP（ぐりんじでぃぴ）

3 同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。

4 清音、濁音、半濁音の順番に配列した。

5 原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

1 原語は見出し語の直後に【　】にくくって入れた。

2 原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。

3 原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した。

4 ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。

5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。

6 漢字・平仮名とカタカナが混じったもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。
（例）ミサイル療法【missile ―】

7 原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。

8 商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

1 和製語のものは【　】内の原語の後に **和** を入れた。

2 原語が変化したものや省略されたものは、その語に「＜」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。
（例）ジルバ【<jitterbug】

3 漢字や仮名の混じった語は、**和** を入れていない。

4 複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。
（例）アルペン・スキー【Alpen ﾄﾞｲﾂ ＋ ski **和**】

5 原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

1 語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。

2 補注と記号

＊ 同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。

◇ 用例を示した。

◆ 語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。

➡ 参照語を示した。

➡ 解説: 見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。

➡ ⇔ 反対語、対語を示した。

〖 〗 原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。

3 分野表記

必要に応じて《 》でくくり、特定分野などの表示をした。

宇…宇宙 気…気象 経…経済・経営 航…航空
鉱…鉱物 社…社会学 宗…宗教 心…心理
生化…生化学 俗…俗語 地…地学 天…天文学
電…電気 電算…コンピューター 美…美術 服…服飾
理…物理 アメフト…アメリカン・フットボール
フィギュア…フィギュア・スケート 造語…造語成分
など

4 商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

学研 故事ことわざ辞典

故事ことわざ辞典編集要旨

■見出し語

配列 五十音順。

表記

1 現代かなづかい。

2 中国出典のものについてはなるべく原典を尊重した。

3 比較的長いもの、区切り方に注意を要するものについては積極的に読点「、」を入れた。

4 見出し語の表記とは別の読み方があるもの、また、表記の一部に異なった言い方があるものについては、注釈の中で解説した。

5 意味が同じで全体の表記や言い方に違いがある場合には、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は ➡ でその語が参照できるようにした。

■解説と記号

意味 意味

見出し語の意味を示した。

注釈 注釈

ことわざの背景、用語の解説、誤用に対する注意、異なる表記や言い方の違いなどの情報を記載した。

出典 出典

特に、中国出典のものについて書名または人名で示した。

例 例

特に、慣用的に使われる用法や古川柳を示した。

類句 類句

見出し語と類似のことわざ、関連のあることわざなどを示した。

反対句・対句 対句

反対の意味のことわざ、対句として用いられるものを示した。

英語のことわざ 英語

見出し語と似た意味のことわざ、発想が似ているもの、意味は反対だが場面が似ているなど、参考となるものを示した。

[ことわざ使用についてのご注意]

ことわざは、その成立過程から言って、その当時の社会通念を反映しており、きわめて差別的な意味を含んでいたり、蔑視的な表現であったりするものが少なくありません。
また、知らないことわざを調べるという辞典の性格上、古典にしか出現しないものも取り上げてあることをご理解ください。このようなことわざについては、人の心を傷つけ、人権を侵害することのないよう、使い方には十分注意してください。
参考として掲載した古川柳や英語のことわざにも同じ配慮をお願いします。

参考：「使用シーン/内容」別のタイトル一覧

使用シーン/内容	タイトル		
使用シーン	結婚式 入学/卒業式 誕生日/記念日	葬式 入社/退職 会議/朝礼	成人式 出産 歓送迎会
感情	喜び 不安/恐怖	悲しみ/絶望	怒り/憎悪
性格・行動	長所 行動	短所	思考
人生・生活	運命 成功/失敗 暮らし	生/老/死 チャンス 容姿	健康/病気 危険/困難 宗教
人間関係	家族 教育	恋愛/友情	道徳
自然・時	自然 数	時間 方向	色

学研　四字熟語辞典

四字熟語辞典編集要旨

■四字熟語とは何か

2字以上の漢字が結合して、ある意味を表す漢語のことを熟語といい、その熟語と他のもう1つの熟語が連結して四字で1つのまとまった意味を表すものを「四字熟語」という。

本辞典ではおもに中国の古典に典拠をもつ四字熟語を採録した。そのため、「左側通行」「経済成長」など、四字として特別な意味をもたない複合語・合成語は採録しなかった。また、日本で訓読するとき慣用的に「の」を補足して読んでいる語は、「之」の字を加えて四字熟語としたものもある。

■見出し語

配列　五十音順。

表記

見出し語の漢字が、偏(へん)や旁(つくり)の違いだけで、同音・同義の異体字である場合、また、国語審議会報告の『同音による書きかえ』資料などによって、書き替えることになっている漢字については、次のように示した。

(例) 意気消沈　(＝意気銷沈)

また、意味が同じで表記に違いのある場合には、原則として、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は ➡ で参照できるようにした。

読み

見出し語の読み方で、慣用上「の」を入れて読むこともある語については、それを示した。「の」を入れたり入れなかったりして読む場合は、別の見出し語をたてて示した。

(例) 君子三楽→くんしさんらく

　　君子三楽→くんしのさんらく

活用

見出し語が動詞として使われたり、状態表現として使われたりするものは、それを示した。

(例) 悪戦苦闘（スル）〈動詞〉　悪逆非道（ナ・ノ）〈状態表現〉

レベル表示

- ＊＊＊　みんなが当然使っている表現
- ＊＊　使って損はない表現
- ＊　知らねば損をする表現
- 〈無印〉知っていて損はない表現

■解説と記号

意味　[意味]

見出し語の意味を示した。

注釈　[注釈]

四字熟語の背景、用語の解説のほか、いろいろな情報を記載した。

出典と引用文　[出典]

中国出典・仏典のものについて書名または人名で示した。

例　[例]

文章作成やスピーチに役立つように、実際の使い方の文例を示した。

類句　[類句]

見出し語と類似の四字熟語、または関連のものを示した。

反対句・対句　[対句]

反対の意味、対句として用いられる四字熟語、および関連のものを示した。

参考　[参考]

英語のことわざ、だじゃれ、古川柳など、ことば遊びやちょっとした情報を示した。

学研　漢字辞典

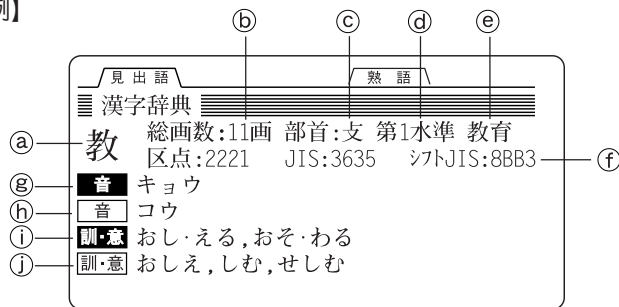
漢字辞典編集要旨

収録範囲

この漢字辞典では親字(見出し語になっている漢字)としてJIS第1水準、JIS第2水準で規定されている漢字6,355字すべてを収録しています。

見出し語情報

見出し語に関する情報は次のように表示されます。

【例】

ⓐ見出し漢字

ⓑ見出し漢字の総画数

ⓒ見出し漢字の部首

ⓓ ⓔ漢字の区別

区別には次のような分類があります。

第1水準：JIS第1水準

第2水準：JIS第2水準

教育　：教育漢字

常用　：常用漢字(教育漢字を除く)

人名用：人名用漢字

旧字体：旧字体

異体字：異体字(意味はまったく同じだが、標準の文字と字体の異なる文字)

常用外：常用漢字以外の漢字

ⓕ漢字コード：区点コード、JISコード、シフトJISコード

ⓖ常用漢字表の音読み　音

ⓗ常用漢字表以外の音読み　音

ⓘ常用漢字表の訓読み・漢字の意味など　訓·意

ⓙ常用漢字表以外の訓読み・漢字の意味など　訓·意

読みの“・”は読みと送りがなの区切りを示しています。

総画数

漢字の画数については特に規定されたものはありませんが、この辞典はJIS-X0208-1990の漢字表の字体にもとづいて、画数を決めています。

部首

部首は『康熙字典』に準じて分類されています。ただし、検索のしやすさを考慮し、便宜的に他の部首のところに分類しているものなどがあります。

【例】『腹』や『肩』などの漢字の部首は、本来「肉」(にく)ですが、検索のしやすさを考慮して「月」(つきへん)に収録されています。

熟語情報

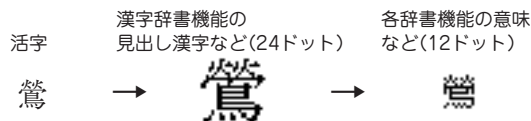
漢字検索の後、その漢字を使い、かつ必要性が高いと思われる熟語を表示させることができます。

学研監修 漢字辞典は電子版の辞書であり、書籍版は刊行されておりません。

参　考

字形について

- この製品に使われている漢字の字形はJIS-X-0208-1990の漢字表に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、JISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】

辞書の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各辞典の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書で引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

辞書の内容について

- この製品に収録されている各辞書の内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

参考にしてほしいこと

この製品は精密な電子機器です。長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。

電池交換のしかた

電池が消耗すると、音が鳴らなくなったり、電源が切れて入らなくなったりします。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用している電池

種　類	形　名	個　数
アルカリ乾電池 単４形	LR03	２本

※ 指定している電池以外は使用しないでください。

ご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

電池の交換時期

画面右上に“ ”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」と表示された場合は、速やかに電池を交換してください。

注）表示濃度が濃く調整されていると、表示されていない“ ”が表示されているように見えることがあります。表示濃度を少し淡くして確認してください(☞2ページ)。

メモ 電池について

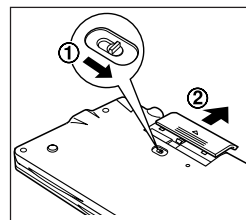
- 電池の使用時間は、約140時間です。（常温25℃で連続表示のとき）

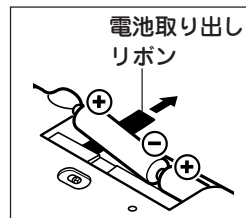
※使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

電池の交換手順

1 電源を切ります。

2 本体裏面の電池ぶたスイッチを“解除”側にします。

3 電池ぶたを矢印の方向に水平に引いて外します。

4 消耗した電池を取り出します。

リボンの先端を引き、2本とも取り出してください。

5 新しい電池を入れます。

2本とも新しい電池に交換してください。また、向きをまちがえないように入れてください。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

6 電池ぶたをもとどおり水平に差して取り付けます。

7 電池ぶたスイッチを“ロック”側にします。

8 本体を開き、入/切 を押して電源が入ることを確認してください。

電源が入らないときは本体裏側のリセットスイッチを押し、電源が入ったら N を押してください(☞108ページ)。それでも電源が入らないときは**2**〜**8**の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。

使用上のご注意とお手入れ

- **ズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えないでください。**
  大きな力が加わり、壊れることがあります。

- **日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。**
  高温により、変形や故障の原因になります。

- **表示部を強く押さないでください。割れることがあります。キーを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。**
  キーを傷めることがあります。

- **防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。**
  雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

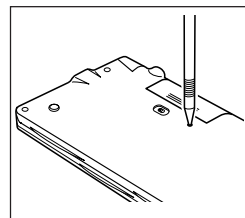
- **お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。**
  シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

- **ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。**
  傷がつくことがあります。

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに クリア も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。
初期化の確認画面が表示されます。
- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 N キーを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

3 表示が見にくい場合は、2ページに記載の表示濃度調整つまみを回して調整してください。

異常を知らせるメッセージが表示されたときは

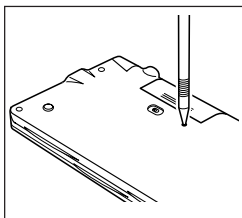
ご使用中や電源を入れたときなどに、

初期化されていないか
異常が発生しています
リセットを押してください

と表示される場合があります。このような場合は次の操作で、この製品を初期化してください。

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

初期化の確認画面が表示されます。

●リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 (Y) キーを押します。

画面に「初期化しました」と表示されます。

3 (検索/決定) を押します。

メインメニュー画面が表示されます。

4 表示が見にくい場合は、2ページに記載の表示濃度調整つまみを回して調整してください。

●この操作により、電卓のメモリーやしおりの内容が消去され、文字サイズや「各種設定」で設定した内容が初期の状態に戻ります。

ローマ字 → かな変換表

あ行	A	I	U	E	O
ぁ行	XA	XI	XU	XE	XO
か行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
っ行			XTU		
な行	NA	NI	NU	NE	NO
は行	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま行	MA	MI	MU	ME	MO
や行	YA		YU		YO
ゃ行	XYA		XYU		XYO
ら行	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ行	WA	WYI(ゐ)		WYE(ゑ)	WO(を)
ゎ行	XWA				
ん	N	NN	NX		

ゔ行			VU		
が行	GA	GI	GU	GE	GO
ざ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ行	DA	DI	DU	DE	DO
ば行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	PA	PI	PU	PE	PO

注）表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

いぇ行				YE	
うぁ行	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ行	QA KWA	QI KWI QWI	QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ行	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ行	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	THA	THI	THU	THE	THO
とぅ行			TWU		
にゃ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ行	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ行	FYA		FYU		FYO
みゃ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO
ゔぁ行	VA	VI		VE	VO
ゔゅ行			VYU		
ぎゃ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ行	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どぅ行			DWU		
びゃ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音(はつおん)の入力

"ん"の次に母音または"Y"がくるときや、"ん"で終わるときは"NN"と入力する。または"N"の後ろに"X"をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)
はんい → HANNI (HANXI)
ほん → HONN (HONX)

● 上記以外のとき

ほんき → HONKI

促音(そくおん)の入力

"N"以外の子音を重ねる。または"XTU"と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)
とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

変換できないローマ字のつづりを入れたときは

この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作		表示	
例1	Q W	→	qw	
	A	→	わ	(qが削除されwaを変換)
例2	K Y	→	ky	
	W	→	w	(kyが削除されwが残る)
	O	→	を	(woを変換)

仕　様

形　　名	PW-8200
品　　名	電子辞書
表　　示	320×159ドット液晶表示
収録語数	広辞苑・逆引き広辞苑機能：約230,000項目 英和辞書機能：約95,000語 和英辞書機能：約80,000語 カタカナ語辞書機能：約28,000語 故事ことわざ＆四字熟語辞書機能 　故事ことわざ：約 4,500項目 　四字熟語：約1,450項目 漢字辞書機能：6,355字（JIS第1/2水準）
電卓機能	計算桁数：12桁 計算機能：加減乗除、メモリー、パーセントなど
使用温度	0℃～40℃
電　　源	3V ⎓（DC）：アルカリ乾電池　単4形（LR03）2本
消費電力	0.13 W
使用時間	約140時間（使用温度25℃で、連続表示の場合） 約　90時間（使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分間、検索を5分間行った場合） ※ 使用環境や使用方法などにより変動があります。
質　　量	約 184g（電池を含む）
外形寸法	幅 145mm×奥行 85mm×厚さ 17.8mm（閉じているとき）
付 属 品	アルカリ乾電池 単4形2本、取扱説明書、 お客様ご相談窓口のご案内

アフターサービスについて

保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から１年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後の修理は…**
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電子辞書の補修用性能部品を製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。**ご自分での修理はしないでください。**
2. **アフターサービスについてわからないことは･･･**
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

よくあるご質問

ご質問内容	対応方法（回答）
電池マークが消えないが…	表示濃度が濃く調整されていると、表示されていないシンボルが表示されているように見えることがあります。表示濃度を淡くしてご使用ください（☞2ページ）。
表示が薄い（濃い）	本体右側（側面）にある表示濃度調整つまみで、表示を見やすい濃度に調整してください（☞2ページ）。
キータッチ音は消せますか	キータッチ音の「鳴る（入）／鳴らない（切）」を切り替えるときは、［メニュー］［0］と押して各種設定画面にし、［1］キーを押します（☞9ページ）。 キータッチ音が鳴るようになっているときは画面右に“♪”シンボルが表示されます。
初めて使うときリセット（初期化）は必要？	初めてお使いになるときは、製品の状態を一定に整えるため、初期化（リセット）をしてください。
リセットスイッチを押すとどうなるの？	製品の状態を一定の状態にします。このとき、電卓のメモリーや、しおりの内容が消去され、「各種設定」で設定した内容が初期の状態に戻されます。
調べたい語が出てこない	次のことを確認してみてください。 ●読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形で出てこないときは原形で調べてみてください。
読みのわからない漢字の調べかたは…	部品の読みや、部首画数、総画数で調べることができます（☞31ページ）。

ご質問内容	対応方法（回答）
“？”や“～”が使える機能は？	ワイルドカード“？”、ブランクワード“～”は、広辞苑、英和、和英、カタカナ語、故事ことわざ&四字熟語の各辞書機能で使えます。逆引き広辞苑など他の機能では使えません。
ローマ字で思うように入力できない	109～110ページをご参照いただいて入力してください。 広辞苑の読み入力などで、 A や S を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」方法になっていると思われます。 メニュー 0 と押して各種設定画面にし、 2 キーを押してかな入力方法を切り替えてみてください(☞10ページ)。
広辞苑で表や図を見ることはできますか	画面で表や図を見ることはできません。 説明の中に“➡表、図”とあるときは、取扱説明書の62～100ページに収録されている表や図の中から、調べた語に該当するものを参照してください。
国名などが変わっている 古いデータになっている	この製品は、書籍版の辞書(辞典)のデータを収録しておりますので、その辞書の記述に合わせております。

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。

2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
（イ）本書のご提示がない場合。
（ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
（ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
（ホ）火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
（ヘ）電池の液もれによる故障・損傷。
（ト）消耗品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
（チ）持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
（リ）離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールパック：文具店などでお求めいただけます）などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

故障かな?と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは112ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	● 電池が消耗していませんか(☞107ページ)。 ● 電池が正しい向きで取り付けられていますか(☞107ページ)。 ● 表示濃度の調整が淡くなりすぎていませんか(☞2ページ)。 ※ 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞108ページ「異常が発生したときの処理」)。
表示が淡い(濃い)	● 表示濃度が見やすい濃さに調整されていますか(☞2ページ)。
すべてのキーが働かない	● 本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞108ページ)。
キーを押したとき“ピッ”と鳴らない	● キータッチ音が「切」になっていませんか(☞9ページ)。
文字が入らない 正しく入らない	● かな入力方法が切り替わっていませんか。かな入力方法を切り替えてみてください(☞10ページ)。
自動的に電源が切れる	● この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。電源が切れるまでの時間は変更することができます。(☞10ページ)。
電源を入れると、オートデモ(商品紹介)の確認画面や、ことわざなどが表示される	● オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください。(☞11ページ)。

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター			
	東日本相談室	TEL **043-299-8021**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6794-8021**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

通信システム事業本部
モバイルシステム事業部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
02ESP(0LY85FR120021)
85-FR12-002187